

**令和5年度
江田島市市民満足度調査について**

令和5年9月

江田島市企画部企画振興課

目 次

第 1	アンケート調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査の実施方法	1
4	調査日程	1
5	アンケート回収状況	1
6	集計結果の表記	1
第 2	回答者の属性	2
1	性別	2
2	年齢階層	2
3	居住地	3
4	居住年数	3
5	職業等	4
6	世帯の人数（同居家族）	4
7	65 歳以上人員（同居家族）	5
8	乳児～小学生人員（同居家族）	5
第 3	江田島市や地域・地区の現状, 市の取組について	6
1	今後の重要度と現状の満足度	6
2	江田島市や地域・地区の現状, 市の取組の評価	10
第 4	自由意見	56

第1 アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

平成27年3月に策定された「第2次江田島市総合計画」では、「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」を将来像とし、それを実現するための戦略として「市民満足度の高いまちづくり」及び「未来を切り開くまちづくり」を掲げています。

本アンケート調査では、この戦略に基づく江田島市の取組（事務事業）が、実際にどのような効果があるかなどを、市民の皆様の目線で検証し、より実効性のある取組としていくため、毎年度、市民満足度調査を実施し、幅広く市民の意向などを把握することを目的とします。

2 調査対象

16歳以上の江田島市民のうちから、2,000人（無作為抽出）

3 調査の実施方法

前記対象者への無記名アンケート調査方式
郵送による、調査票の配布・回収

4 調査日程

郵送配布：令和5年6月9日（金）
回収締切：令和5年6月28日（水）

5 アンケート回収状況

回収数：801票
回収率：40.1%

今回のアンケートではノベルティとしてボールペンを同封しました。結果として、回収率が6.5%向上し、その効果が現れています。

表 旧町別回収数及び回収率

区 分	配布数（票）	回収数（票）	回収率（%）	参考：令和4年度 調査回収率（%）
江田島町	680	263	38.7	35.9
能美町	460	195	42.4	30.7
沖美町	280	107	38.2	35.2
大柿町	580	221	38.1	31.0
無回答	—	15	—	—
合 計	2,000	801	40.1	33.6

6 集計結果の表記

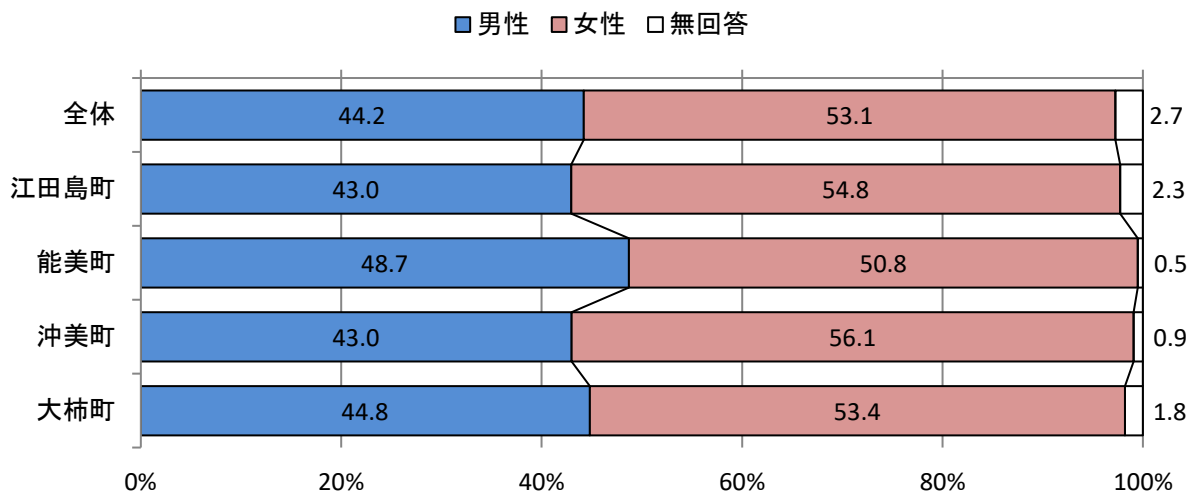
各回答の割合（%）は、少数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、端数処理の関係から、各回答の割合（%）の合計が100%にならない場合があります。

第2 回答者の属性

1 性別

回答者の性別は、全体では「女性」が53.1%となり、「男性」よりも多くなっています。居住地別にみると、他の町と比べて能美町では「男性」が48.7%と多くなっています。

図 性別



2 年齢階層

回答者の年齢階層は、全体では「70歳以上」が34.7%で最も多く、次いで「60歳代」が21.8%となり、60歳以上が全体の56.5%を占めています。これは、住民基本台帳（令和5年3月31日時点）の16歳以上人口に占める60歳以上の割合56.7%とほぼ同じになっています。

居住地別にみると、他の町と比べて沖美町では70歳以上が42.1%と多く、また能美町では60歳未満が44.6%とやや多くなっています。

図 年齢階層

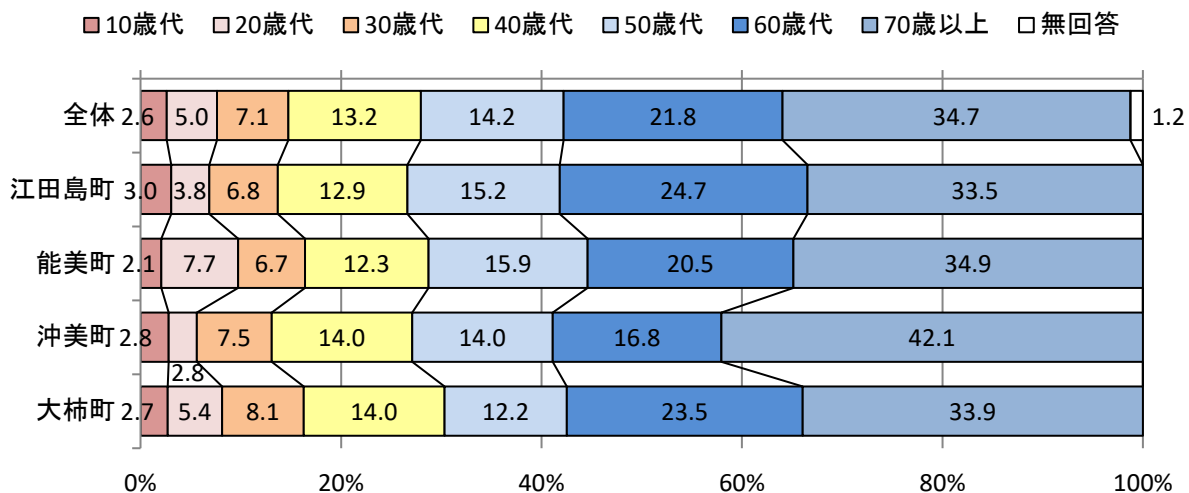


表 参考：江田島市の年齢構成(16歳以上人口)-令和5年3月31日住民基本台帳- 上段：人 下段：%

区分	総人口	16歳以上人口	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全市	20,955	19,278	509	1,439	1,698	2,258	2,441	2,996	7,937
	—	100.0	2.6	7.5	8.8	11.7	12.7	15.5	41.2

3 居住地

回答者の居住地は、「江田島町」が32.8%で最も多く、次いで「大柿町」が27.6%、「能美町」が24.3%、「沖美町」が13.4%となっています。

図 居住地

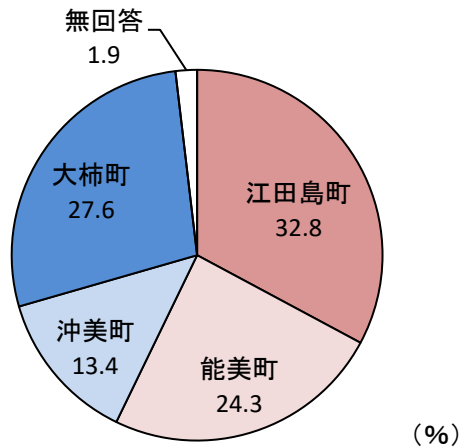


表 居住地

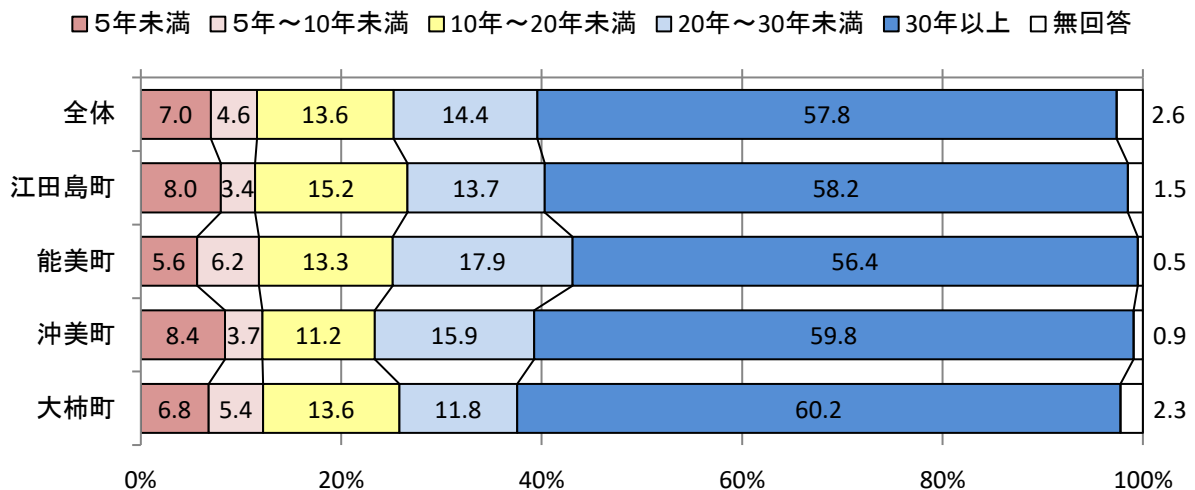
町名・地区別		回答者数 (人)	構成比 (%)
江田島町	中央 (術校含む)	47	5.9
	鷲部	35	4.4
	江南	16	2.0
	秋月	20	2.5
	小用	42	5.2
	切串	62	7.7
	幸ノ浦, 大須	8	1.0
	津久茂	11	1.4
	宮ノ原	22	2.7
小計		263	32.8
能美町	高田	35	4.4
	中町	86	10.7
	鹿川	74	9.2
小計		195	24.3
沖美町	三吉	41	5.1
	高祖	12	1.5
	美能	16	2.0
	岡大王	19	2.4
	畑	4	0.5
	是長	15	1.9
小計		107	13.4
大柿町	深江	19	2.4
	小古江	9	1.1
	大原	69	8.6
	大君	27	3.4
	柿浦	39	4.9
	飛渡瀬	58	7.2
小計		221	27.6
無回答		15	1.9
合計		801	100.0

4 居住年数

回答者の居住年数は、全体では「30年以上」が57.8%と非常に多くっており、回答者の年齢構成の60歳以上が56.5%であるのと関係性が伺えます。

居住地別にみると、他の町と比べて能美町では「30年以上」が56.4%と少なく、「20年～30年未満」が17.9%と多くなっています。

図 居住年数

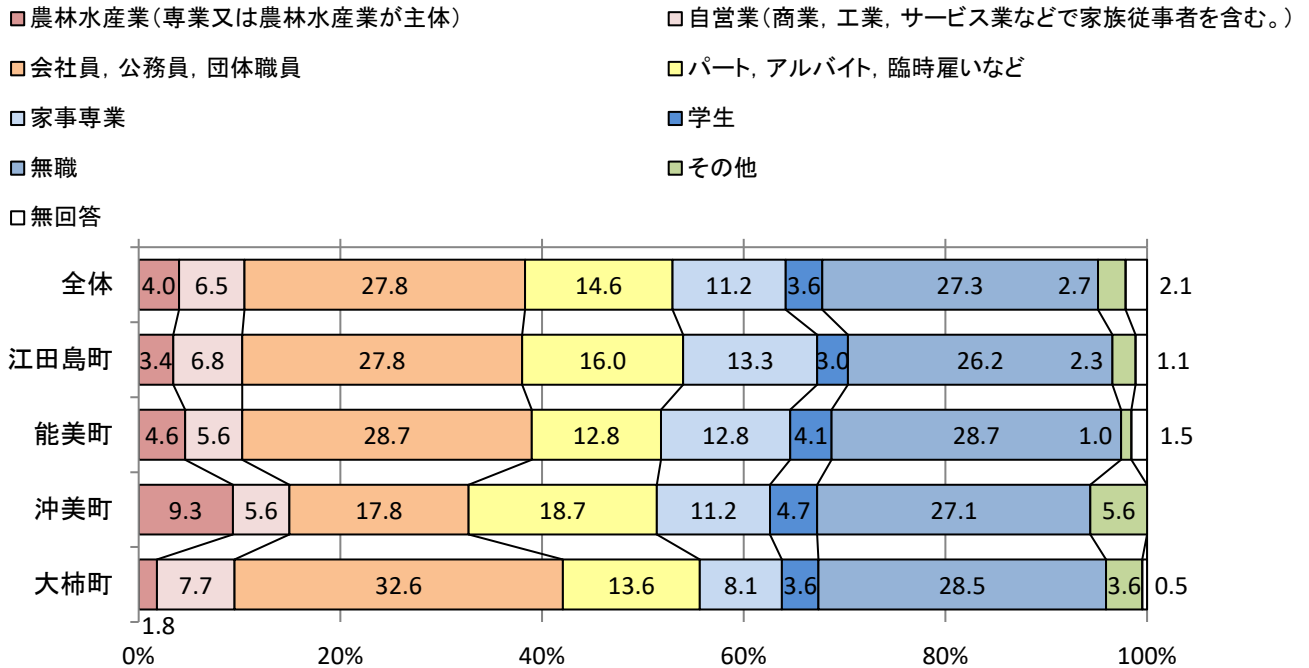


5 職業等

回答者の職業等は、全体では「会社員、公務員、団体職員」が27.8%で最も多く、次いで「無職」が27.3%、「パート、アルバイト、臨時雇いなど」が14.6%などとなっています。

居住地別にみると、他の町と比べて沖美町では「会社員、公務員、団体職員」が17.8%と少なく、「パート、アルバイト、臨時雇いなど」が18.7%、「農林水産業（専業又は農林水産業が主体）」が9.3%と多くなっています。

図 職業等

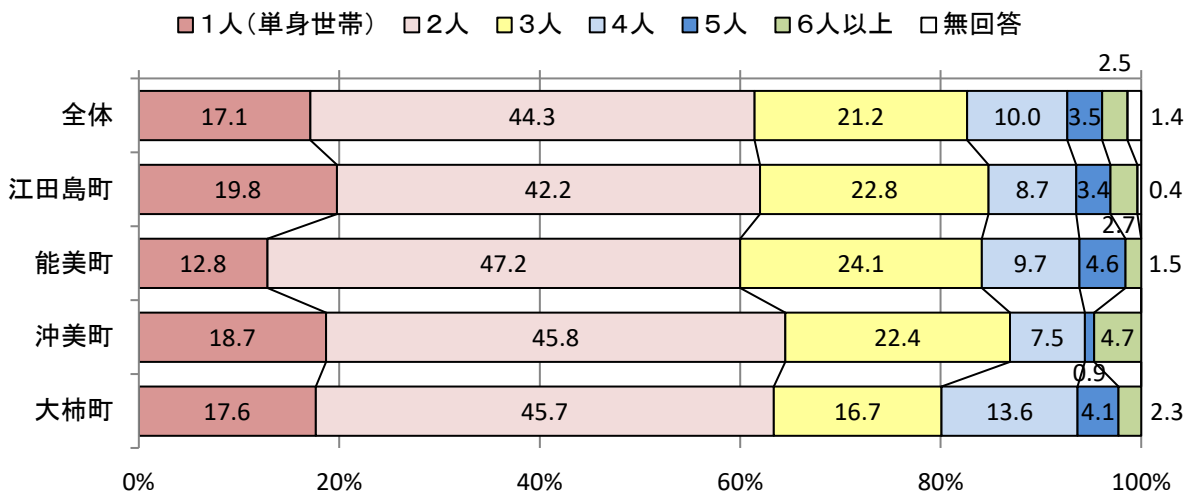


6 世帯の人数（同居家族）

回答者の家族構成は、全体では「2人」が44.3%で最も多く、次いで「3人」が21.2%、「1人（単身世帯）」が17.1%などとなっています。

居住地別にみると、他の町と比べて能美町では「1人（単身世帯）」が12.8%と少なくなっています。

図 世帯の人数

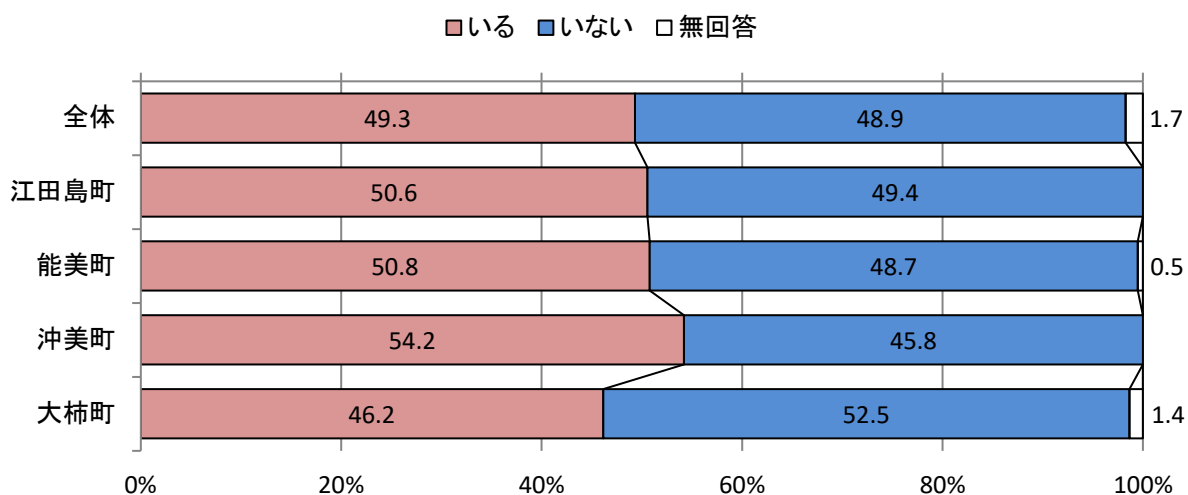


7 65歳以上人員（同居家族）

65歳以上の同居家族については、全体では「いる」が49.3%、「いない」が48.9%となり、ほぼ半数の方に同居家族がいます。

居住地別にみると、他の町と比べて大柿町では「いる」が46.2%と少なくなっています。

図 65歳以上人員（同居家族）の有無

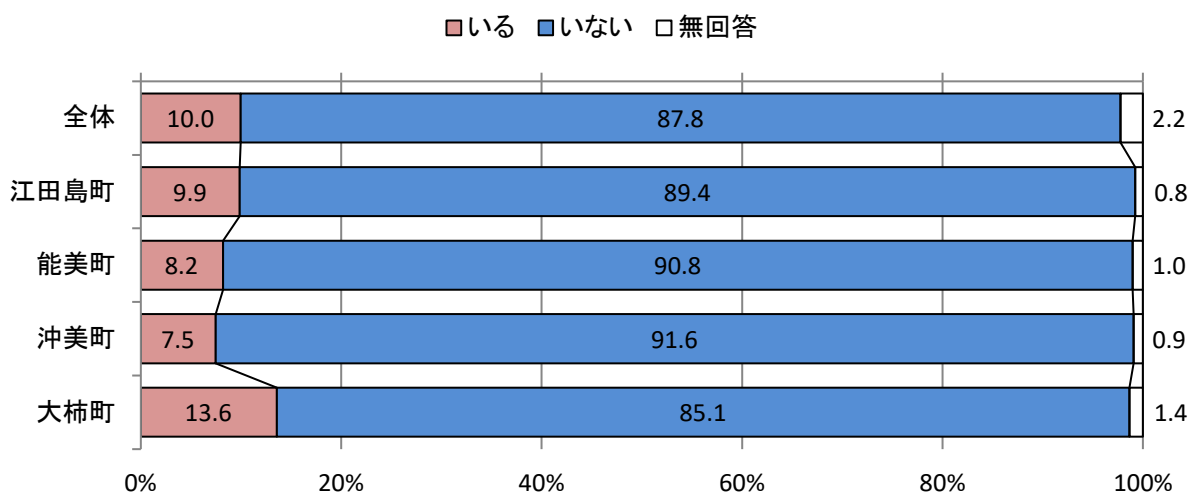


8 乳児～小学生人員（同居家族）

小学生未満の同居家族については、全体では「いる」が10.0%となっています。

居住地別にみると、他の町と比べて大柿町では「いる」が13.6%と多くなっています。

図 乳児～小学生人員（同居家族）の有無



第3 江田島市や地域・地区の現状, 市の取組について

1 今後の重要度と現状の満足度

問2 あなたは、江田島市が行っている主要な取組それぞれについて、今後の取組における重要度（重点度）と、現在の状況に対する満足度を、どのように思われますか。
(○印はそれぞれ1つ)

江田島市や地域・地区の現状、市の取組について、今後の重要度と現状の満足度の高い項目順にまとめました（7頁）。

今後の重要度（「特に重要」又は「重要」と答えた割合）が高い項目は、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」が80.9%となり、「医療機関の充実」が79.7%、「学校教育の内容（小中学校）」79.4%などとなっています。

その他で70%を超える項目は、「避難所などの整備」、「学校と地域・家庭との信頼関係」、「救急体制の充実・強化」、「介護サービスの充実」、「高齢者福祉・介護施設の整備」、「防災対策（河川・急傾斜地）」、「地域防災活動への支援」、「海上交通の確保」、「高齢者福祉サービスの充実」となっています。

一方で、重要度が低い項目は、「都市との交流の促進」が34.8%、「国際化・多文化共生の推進」が36.8%、「地域活動拠点の整備」が40.0%となっており、地域に関する部門で重要度が低くなっています。

現状に対する満足度（「とても満足」又は「満足」と答えた割合）が15%を超える項目は、「保育園・児童館などの整備」が18.8%、「学校施設の整備」が16.5%、「市役所・市民センターなどの窓口対応」が15.8%、「救急体制の充実・強化」が15.3%などとなっています。

一方で、満足度が低い項目は、「計画的な土地利用」が4.8%、「農林業の後継者・担い手の育成」が5.2%、「行財政改革への取組」が6.1%、「水産業の後継者・担い手の育成」が6.2%、「地場産業への支援」が6.4%などとなっています。

図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての今後の重要度 (特に重要+重要)

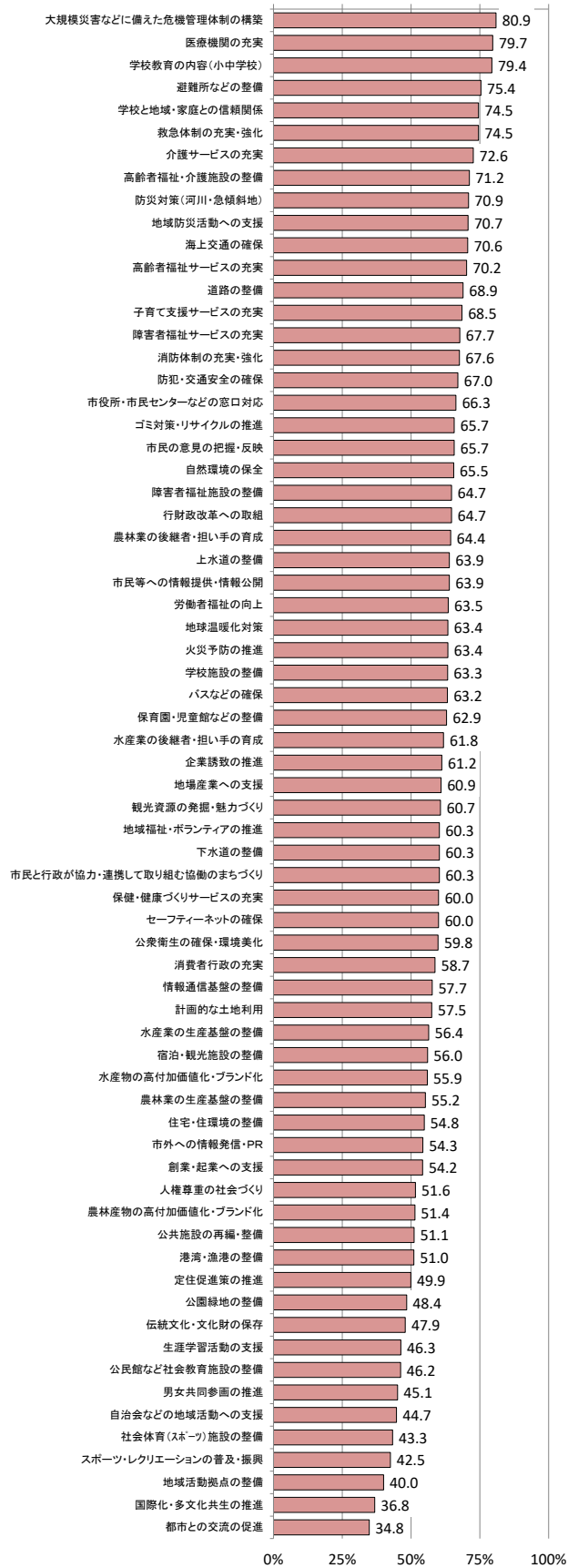
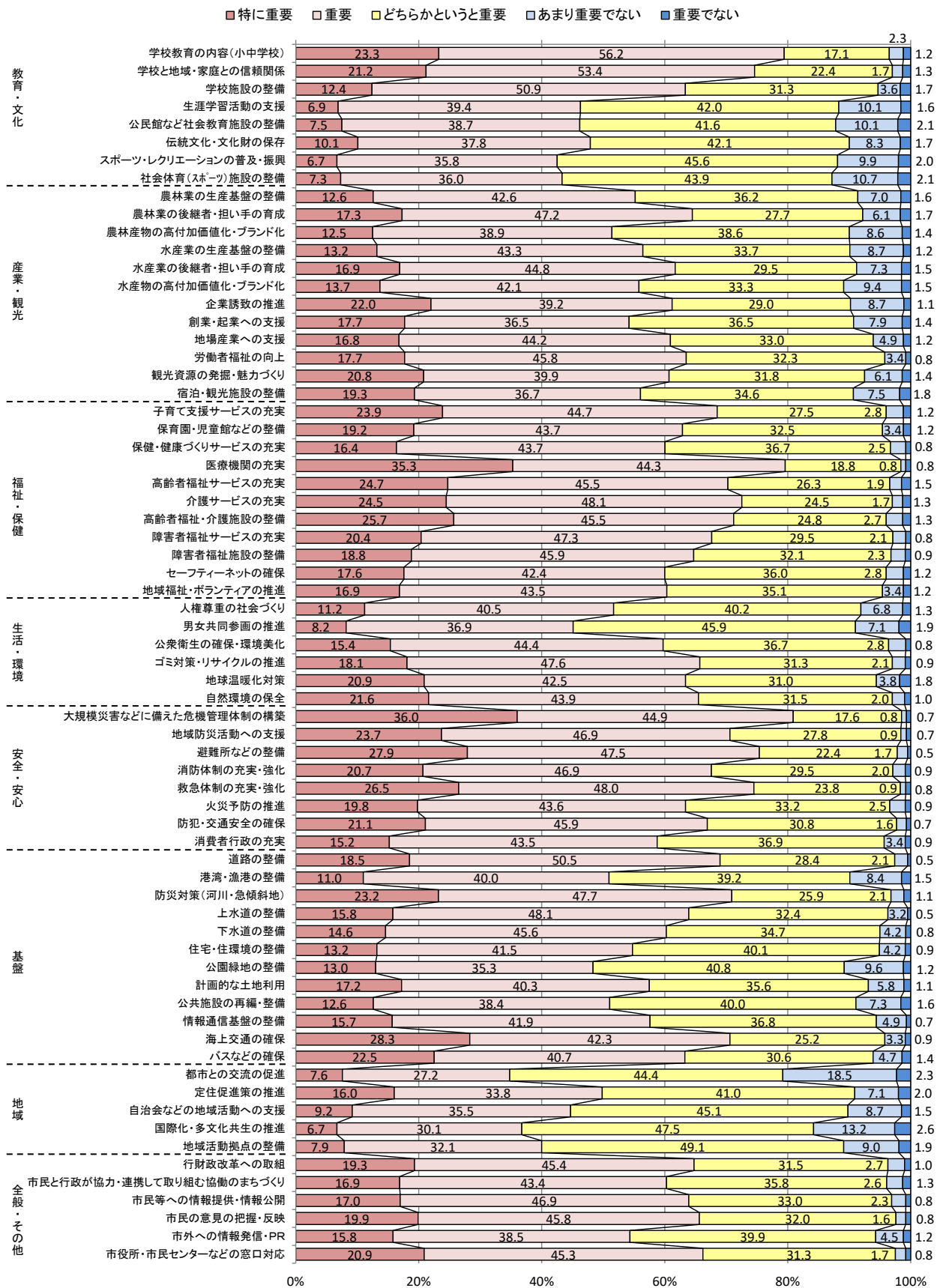


図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現状の満足度 (とても満足+満足)



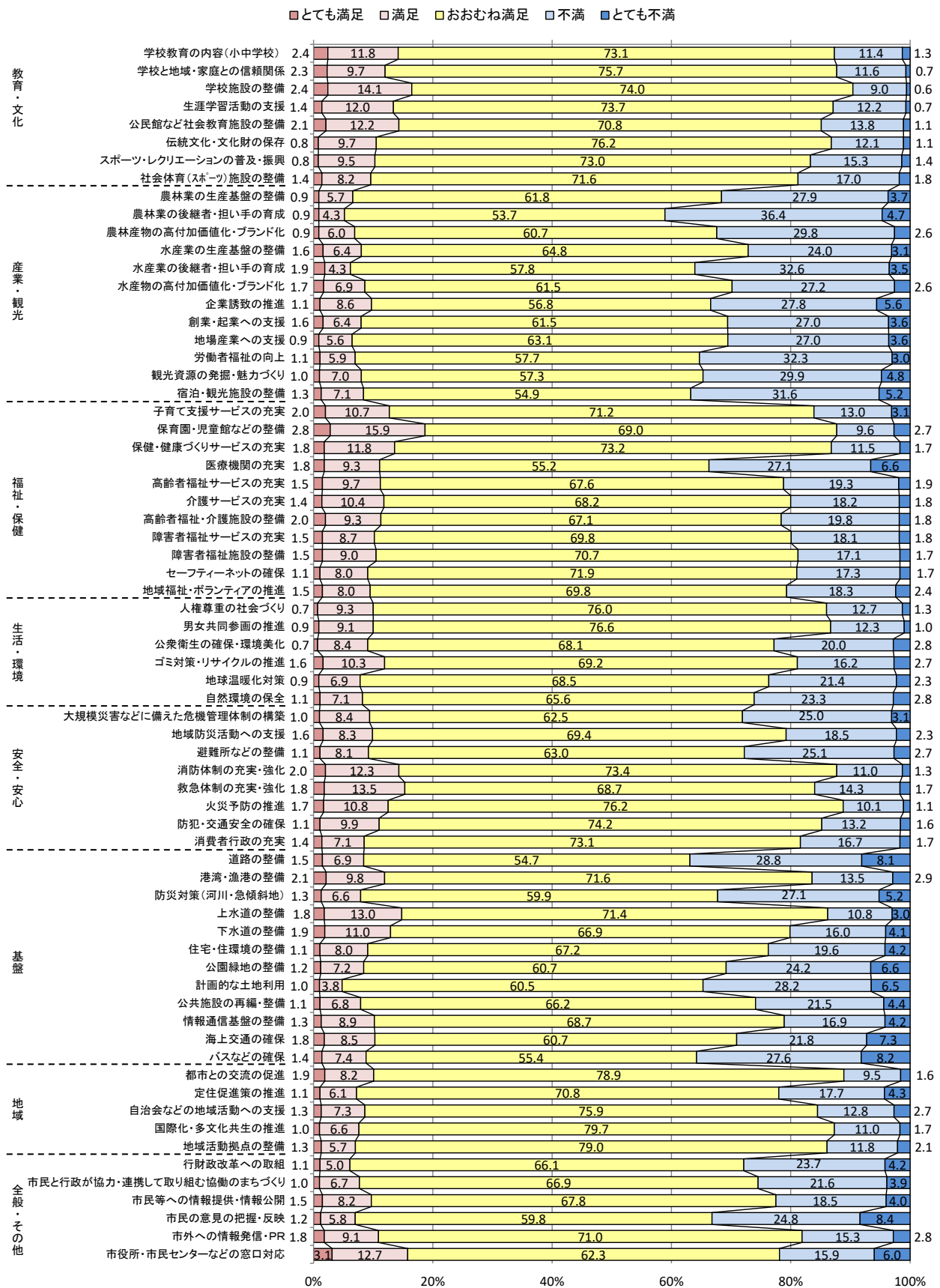
注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状, 市の取組についての今後の重要度・・・部門別



注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状, 市の取組についての現状の満足度・・・部門別



注：無回答を除く割合

2 江田島市や地域・地区の現状,市の取組の評価

ここでは、市民アンケート調査により、重要度（市民重要度）と満足度（市民満足度）について、測定可能な定量（数値：ポイント・点）を算出することで、部門別、項目別の評価を行います。

回答1件当たりに次のとおり配点し、その合計値÷有効回答数を「ポイント・点」とします。

注：無回答の調査票はポイント算出の対象としない

重要度ポイント (市民重要度)	特に重要	100点
	重要	80点
	どちらかという重要	60点
	あまり重要でない	40点
	重要でない	20点

満足度ポイント (市民満足度)	とても満足	100点
	満足	80点
	おおむね満足	60点
	不満	40点
	とても不満	20点

(1) 重要度ポイント,満足度ポイント

江田島市や地域・地区の現状,市の取組における重要度ポイントとしては、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」が83.0点と最も高くなっています。次いで「医療機関の充実」が82.5点、「避難所などの整備」が80.1点となり、これら3項目が80点を超えています。

一方で、「都市との交流の促進」が63.9点で最も低く、次いで「国際化・多文化共生の推進」が65.0点、「地域活動拠点の整備」が67.0点、「社会体育(スポーツ)施設の整備」、「スポーツ・レクリエーションの普及・振興」が67.1点、「公民館など社会教育施設の整備」が67.9点などとなっています。

江田島市や地域・地区の現状,市の取組における満足度ポイントとしては、「学校施設の整備」が61.8点と最も高くなっています。次いで「保育園・児童館などの整備」が61.3点、「学校教育の内容(小中学校)」、「消防体制の充実・強化」が60.5点、「火災予防の推進」が60.4点、「学校と地域・家庭との信頼関係」、「生涯学習活動の支援」が60.3点、「公民館など社会教育施設の整備」、「保健・健康づくりサービスの充実」が60.1点となり、これら9項目が60点を超えています。

一方で、「農林業の後継者・担い手の育成」が52.0点で最も低く、次いで「計画的な土地利用」が52.9点、「道路の整備」が53.0点、「バスなどの確保」が53.2点、「市民の意見の把握・反映」が53.3点、「宿泊・観光施設の整備」が53.5点などとなっています。

図 江田島市における重要度ポイント

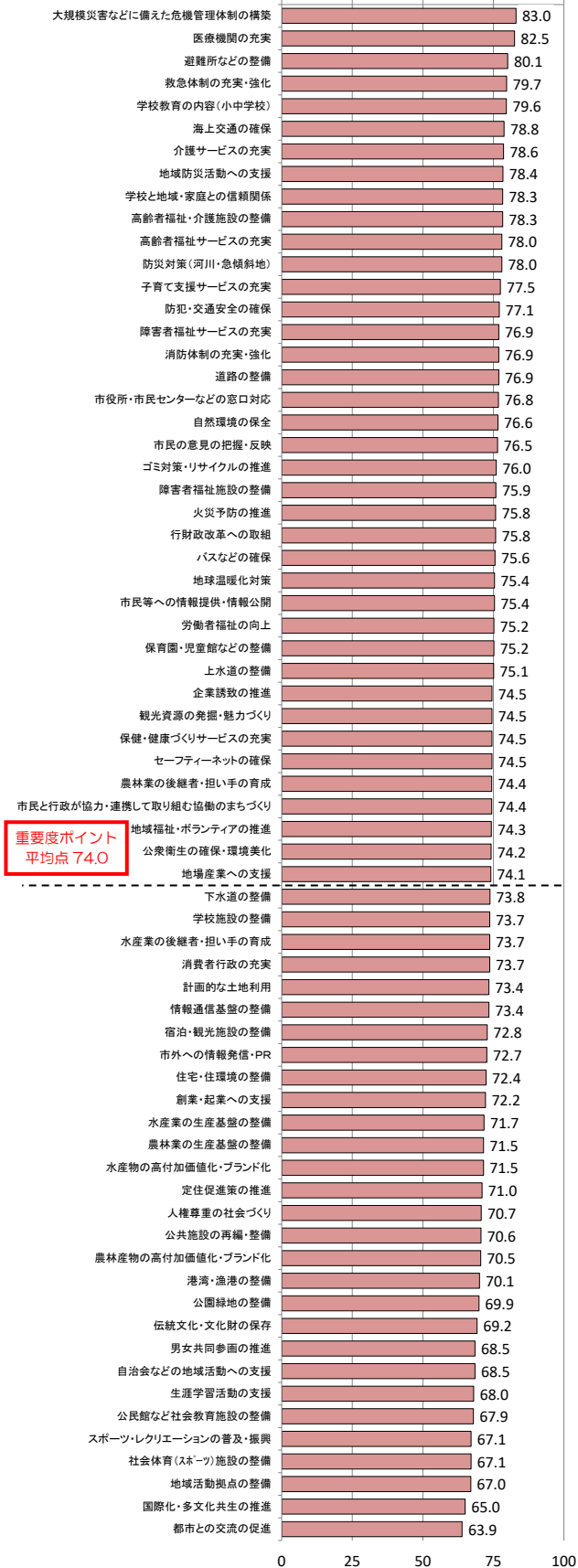
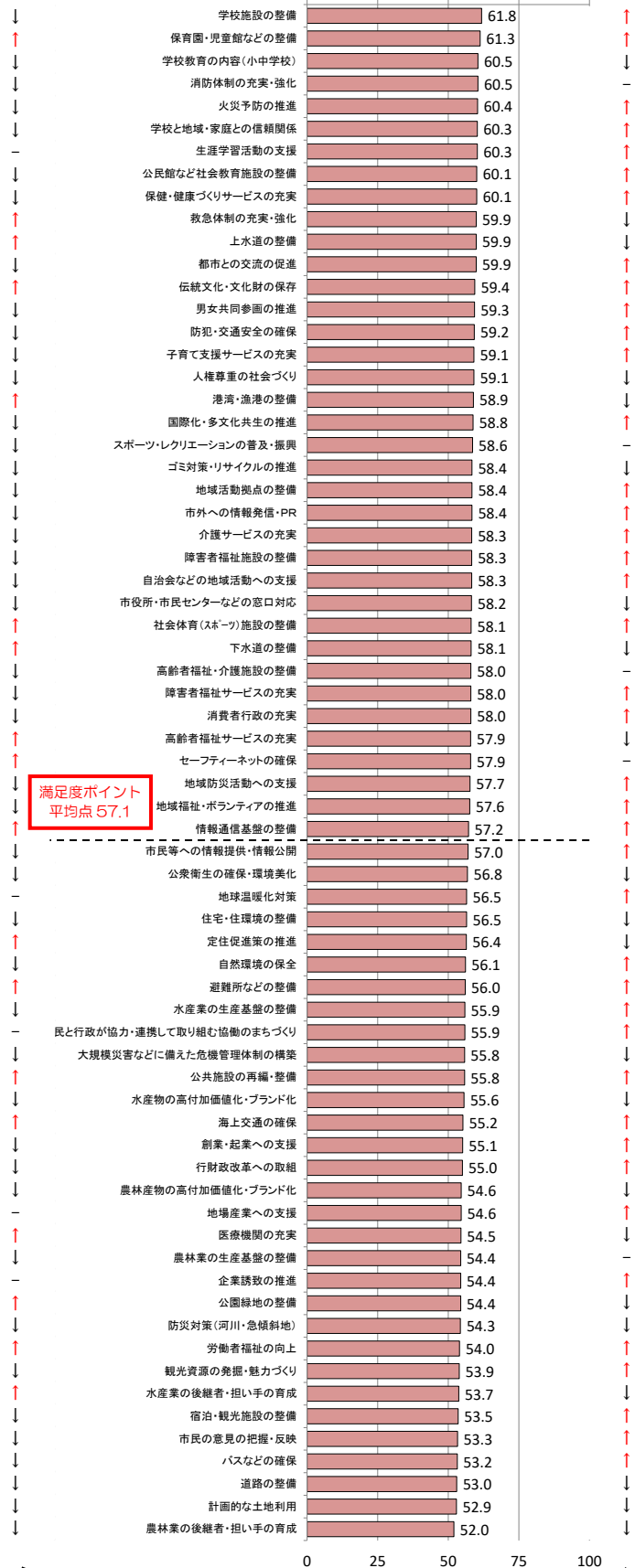
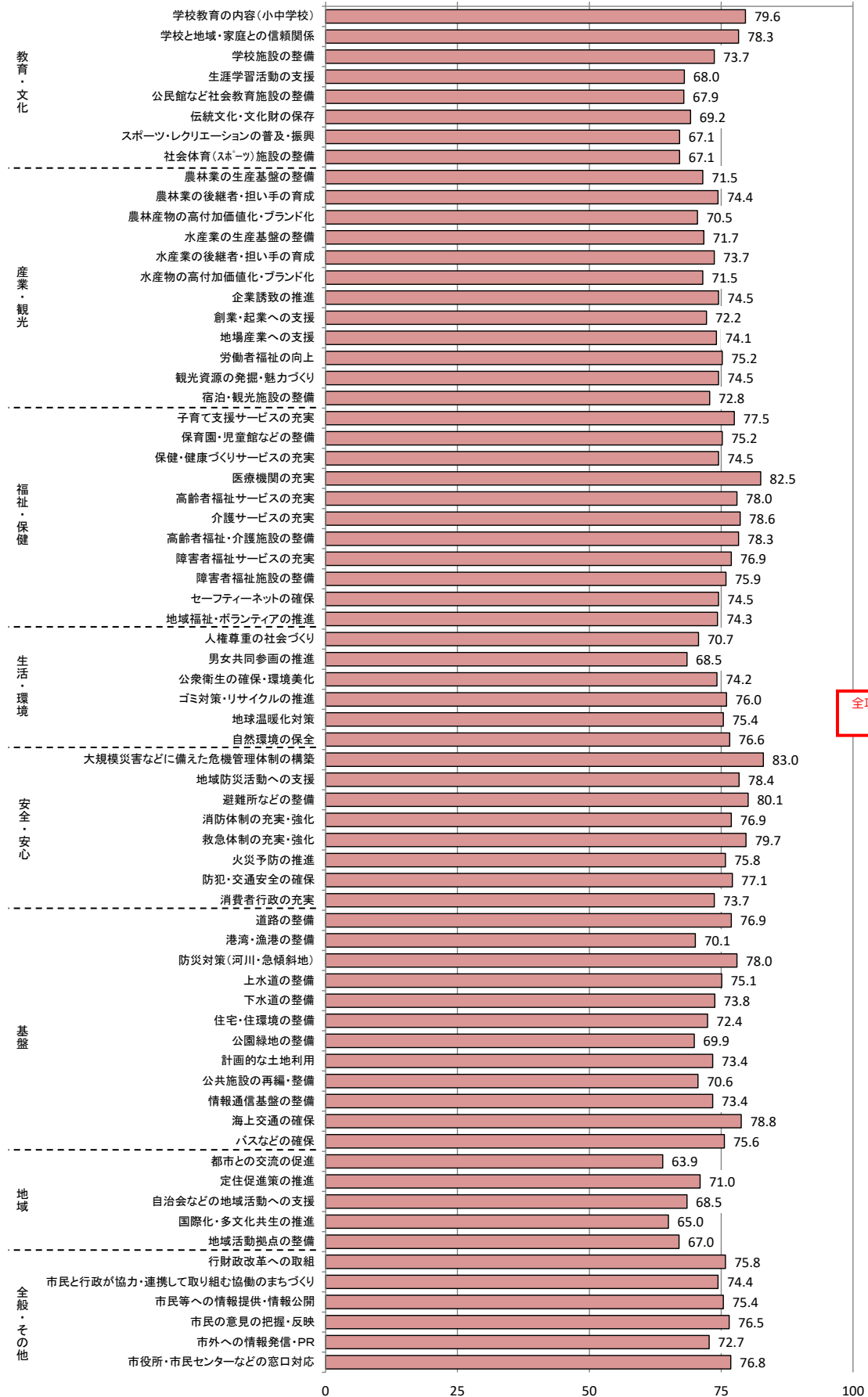


図 江田島市における満足度ポイント



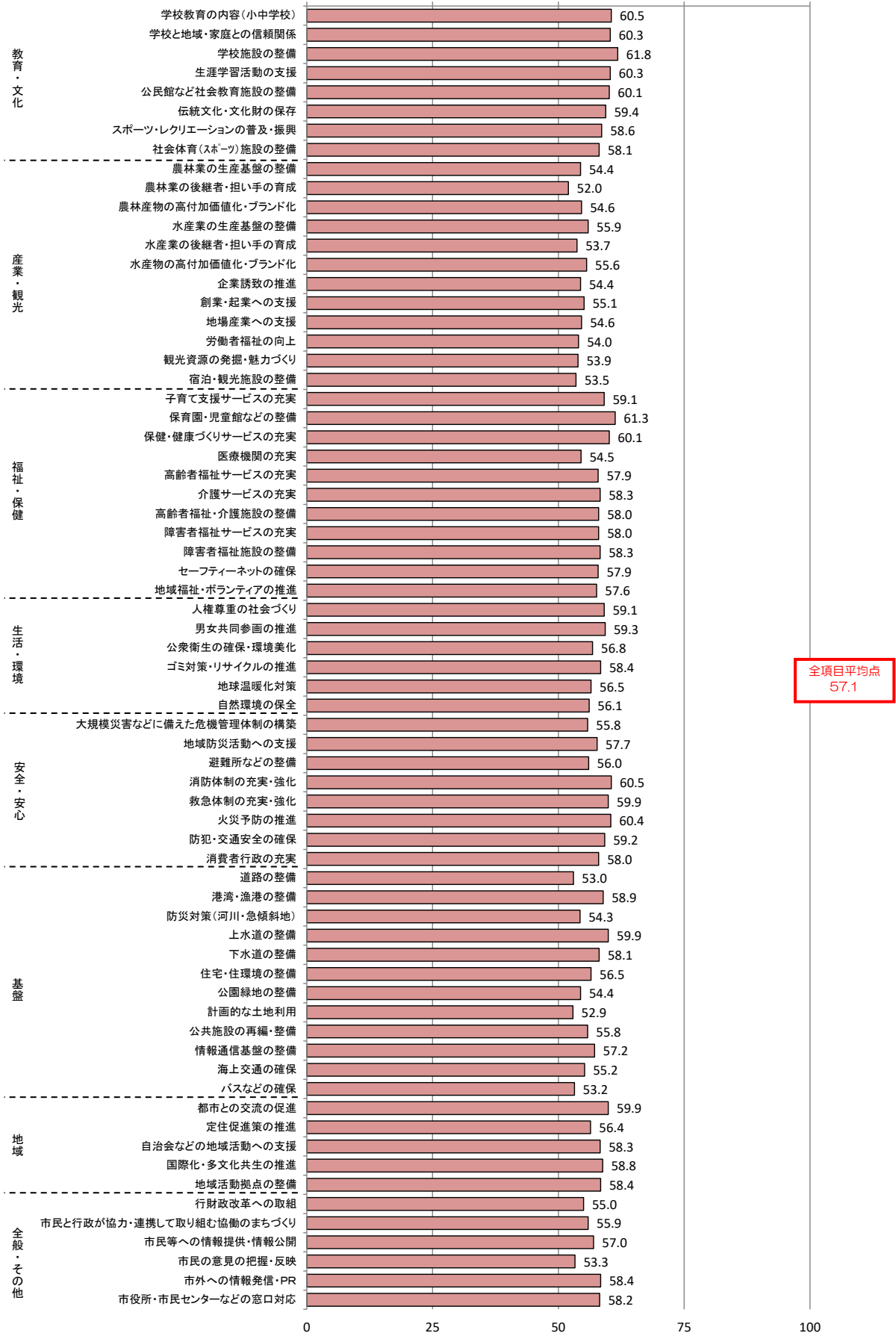
昨年度調査との比較(増減状況)

参考図 江田島市における重要度ポイント（市民重要度）・・・部門別



全項目平均点
74.0

参考図 江田島市における満足度ポイント（市民満足度）・・・部門別



重要度ポイント、満足度ポイントを前回調査（令和4年度）と比較すると、重要度ポイントが増加したものは、「公園緑地の整備」1.6点、「保育園・児童館などの整備」1.4点、「水産業の生産基盤の整備」，「子育て支援サービスの充実」，「計画的な土地利用」0.9点などとなっています。

一方で、重要度ポイントが減少したものは、「消防体制の充実・強化」▲1.8点，「救急体制の充実・強化」▲1.5点，「定住促進策の推進」，「バスなどの確保」▲1.4点などとなっています。

表 重要度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	令和4年	令和5年
1	基盤	公園緑地の整備	1.6	68.3	69.9
2	福祉・保健	保育園・児童館などの整備	1.4	73.8	75.2
3	産業・観光	水産業の生産基盤の整備	0.9	70.8	71.7
	福祉・保健	子育て支援サービスの充実	0.9	76.6	77.5
	基盤	計画的な土地利用	0.9	72.5	73.4
65	基盤	バスなどの確保	▲1.4	77.0	75.6
	地域	定住促進策の推進	▲1.4	72.4	71.0
67	安全・安心	救急体制の充実・強化	▲1.5	81.2	79.7
68	安全・安心	消防体制の充実・強化	▲1.8	78.7	76.9

満足度ポイントが増加したものは、「市外への情報発信・PR」2.3点，「企業誘致の推進」1.8点，「海上交通の確保」1.6点，「創業・起業への支援」1.3点などとなっています。

一方で、満足度ポイントが減少したものは、「公園緑地の整備」▲1.5点，「道路の整備」▲1.1点，「住宅・住環境の整備」▲1.0点，「下水道の整備」▲0.9点，「定住促進策の推進」▲0.8点などとなっています。

表 満足度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	令和4年	令和5年
1	全般・その他	市外への情報発信・PR	2.3	56.1	58.4
2	産業・観光	企業誘致の推進	1.8	52.6	54.4
3	基盤	海上交通の確保	1.6	53.6	55.2
4	産業・観光	創業・起業への支援	1.3	53.8	55.1
64	地域	定住促進策の推進	▲0.8	57.2	56.4
65	基盤	下水道の整備	▲0.9	59.0	58.1
66	基盤	住宅・住環境の整備	▲1.0	57.5	56.5
67	基盤	道路の整備	▲1.1	54.1	53.0
68	基盤	公園緑地の整備	▲1.5	55.9	54.4

表 市民満足度調査（令和4年度、令和5年度）による重要度ポイント、満足度ポイントの変化状況

部門	項目（設問）	令和4年度 重要度 ポイント	令和5年度 重要度 ポイント	変化量	令和4年度 満足度 ポイント	令和5年度 満足度 ポイント	変化量
教育・文化	問2-1 学校教育の内容(小中学校)	80.1	79.6	▲ 0.5	60.7	60.5	▲ 0.2
	問2-2 学校と地域・家庭との信頼関係	78.4	78.3	▲ 0.1	60.2	60.3	0.1
	問2-3 学校施設の整備	74.7	73.7	▲ 1.0	61.7	61.8	0.1
	問2-4 生涯学習活動の支援	67.9	68.0	0.1	59.7	60.3	0.6
	問2-5 公民館など社会教育施設の整備	68.0	67.9	▲ 0.1	59.0	60.1	1.1
	問2-6 伝統文化・文化財の保存	69.3	69.2	▲ 0.1	58.8	59.4	0.6
	問2-7 スポーツ・レクリエーションの普及・振興	67.8	67.1	▲ 0.7	58.6	58.6	0.0
	問2-8 社会体育(スポーツ)施設の整備	67.5	67.1	▲ 0.4	57.6	58.1	0.5
	問2-9 農林業の生産基盤の整備	71.7	71.5	▲ 0.2	54.4	54.4	0.0
産業・観光	問2-10 農林業の後継者・担い手の育成	74.9	74.4	▲ 0.5	52.4	52.0	▲ 0.4
	問2-11 農林産物の高付加価値化・ブランド化	70.9	70.5	▲ 0.4	54.9	54.6	▲ 0.3
	問2-12 水産業の生産基盤の整備	70.8	71.7	0.9	55.6	55.9	0.3
	問2-13 水産業の後継者・担い手の育成	73.4	73.7	0.3	54.1	53.7	▲ 0.4
	問2-14 水産物の高付加価値化・ブランド化	71.7	71.5	▲ 0.2	56.1	55.6	▲ 0.5
	問2-15 企業誘致の推進	74.8	74.5	▲ 0.3	52.6	54.4	1.8
	問2-16 創業・起業への支援	73.3	72.2	▲ 1.1	53.8	55.1	1.3
	問2-17 地場産業への支援	74.3	74.1	▲ 0.2	54.2	54.6	0.4
	問2-18 労働者福祉の向上	74.5	75.2	0.7	53.9	54.0	0.1
	問2-19 観光資源の発掘・魅力づくり	74.9	74.5	▲ 0.4	52.8	53.9	1.1
	問2-20 宿泊・観光施設の整備	72.8	72.8	0.0	53.1	53.5	0.4
福祉・保健	問2-21 子育て支援サービスの充実	76.6	77.5	0.9	58.9	59.1	0.2
	問2-22 保育園・児童館などの整備	73.8	75.2	1.4	61.0	61.3	0.3
	問2-23 保健・健康づくりサービスの充実	74.2	74.5	0.3	60.0	60.1	0.1
	問2-24 医療機関の充実	81.8	82.5	0.7	54.7	54.5	▲ 0.2
	問2-25 高齢者福祉サービスの充実	77.8	78.0	0.2	58.0	57.9	▲ 0.1
	問2-26 介護サービスの充実	78.6	78.6	0.0	58.0	58.3	0.3
	問2-27 高齢者福祉・介護施設の整備	77.8	78.3	0.5	58.0	58.0	0.0
	問2-28 障害者福祉サービスの充実	77.3	76.9	▲ 0.4	57.4	58.0	0.6
	問2-29 障害者福祉施設の整備	76.6	75.9	▲ 0.7	57.6	58.3	0.7
	問2-30 セーフティネットの確保	74.2	74.5	0.3	57.9	57.9	0.0
	問2-31 地域福祉・ボランティアの推進	73.6	74.3	0.7	57.5	57.6	0.1
生活・環境	問2-32 人権尊重の社会づくり	70.7	70.7	0.0	59.4	59.1	▲ 0.3
	問2-33 男女共同参画の推進	68.2	68.5	0.3	58.6	59.2	0.7
	問2-34 公衆衛生の確保・環境美化	74.3	74.2	▲ 0.1	57.5	56.8	▲ 0.7
	問2-35 ゴミ対策・リサイクルの推進	76.5	76.0	▲ 0.5	58.8	58.4	▲ 0.4
	問2-36 地球温暖化対策	76.1	75.4	▲ 0.7	56.0	56.5	0.5
	問2-37 自然環境の保全	77.9	76.6	▲ 1.3	55.8	56.1	0.3
	問2-38 大規模災害などに備えた危機管理体制の構築	84.2	83.0	▲ 1.2	55.9	55.8	▲ 0.1
安全・安心	問2-39 地域防災活動への支援	79.7	78.4	▲ 1.3	57.1	57.7	0.6
	問2-40 避難所などの整備	80.9	80.1	▲ 0.8	55.6	56.0	0.4
	問2-41 消防体制の充実・強化	78.7	76.9	▲ 1.8	60.5	60.5	0.0
	問2-42 救急体制の充実・強化	81.2	79.7	▲ 1.5	60.3	59.9	▲ 0.4
	問2-43 火災予防の推進	76.8	75.8	▲ 1.0	60.2	60.4	0.2
	問2-44 防犯・交通安全の確保	78.4	77.1	▲ 1.3	59.0	59.2	0.2
	問2-45 消費者行政の充実	74.8	73.7	▲ 1.1	57.7	58.0	0.3
基盤	問2-46 道路の整備	77.3	76.9	▲ 0.4	54.1	53.0	▲ 1.1
	問2-47 港湾・漁港の整備	70.1	70.1	0.0	59.1	58.9	▲ 0.2
	問2-48 防災対策(河川・急傾斜地)	79.0	78.0	▲ 1.0	54.6	54.3	▲ 0.3
	問2-49 上水道の整備	75.4	75.1	▲ 0.3	60.4	59.9	▲ 0.5
	問2-50 下水道の整備	73.8	73.8	0.0	59.0	58.1	▲ 0.9
	問2-51 住宅・住環境の整備	72.0	72.4	0.4	57.5	56.5	▲ 1.0
	問2-52 公園緑地の整備	68.3	69.9	1.6	55.9	54.4	▲ 1.5
	問2-53 計画的な土地利用	72.5	73.4	0.9	53.2	52.9	▲ 0.3
	問2-54 公共施設の再編・整備	70.3	70.6	0.3	55.6	55.8	0.2
	問2-55 情報通信基盤の整備	73.7	73.4	▲ 0.3	56.5	57.2	0.7
	問2-56 海上交通の確保	79.7	78.8	▲ 0.9	53.6	55.2	1.6
地域	問2-57 バスなどの確保	77.0	75.6	▲ 1.4	52.7	53.2	0.5
	問2-58 都市との交流の促進	64.6	63.9	▲ 0.7	59.4	59.9	0.5
	問2-59 定住促進策の推進	72.4	71.0	▲ 1.4	57.2	56.4	▲ 0.8
	問2-60 自治会などの地域活動への支援	68.7	68.5	▲ 0.2	58.1	58.3	0.2
	問2-61 国際化・多文化共生の推進	65.2	65.0	▲ 0.2	57.8	58.8	1.0
	問2-62 地域活動拠点の整備	67.2	67.0	▲ 0.2	57.9	58.4	0.5
全般・その他	問2-63 行財政改革への取組	76.6	75.8	▲ 0.8	54.3	55.0	0.7
	問2-64 市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり	74.8	74.4	▲ 0.4	55.3	55.9	0.6
	問2-65 市民等への情報提供・情報公開	76.2	75.4	▲ 0.8	56.0	57.0	1.0
	問2-66 市民の意見の把握・反映	76.7	76.5	▲ 0.2	52.6	53.3	0.7
	問2-67 市外への情報発信・PR	73.8	72.7	▲ 1.1	56.1	58.4	2.3
	問2-68 市役所・市民センターなどの窓口対応	76.6	76.8	0.2	58.4	58.2	▲ 0.2

(2) 部門ごとの重要度ポイント, 満足度ポイントの状況

重要度ポイントについて部門ごとにみると、「安全・安心」が78.1点で最も高く、次いで「福祉・保健」が76.9点、「全般・その他」が75.3点などとなっています。

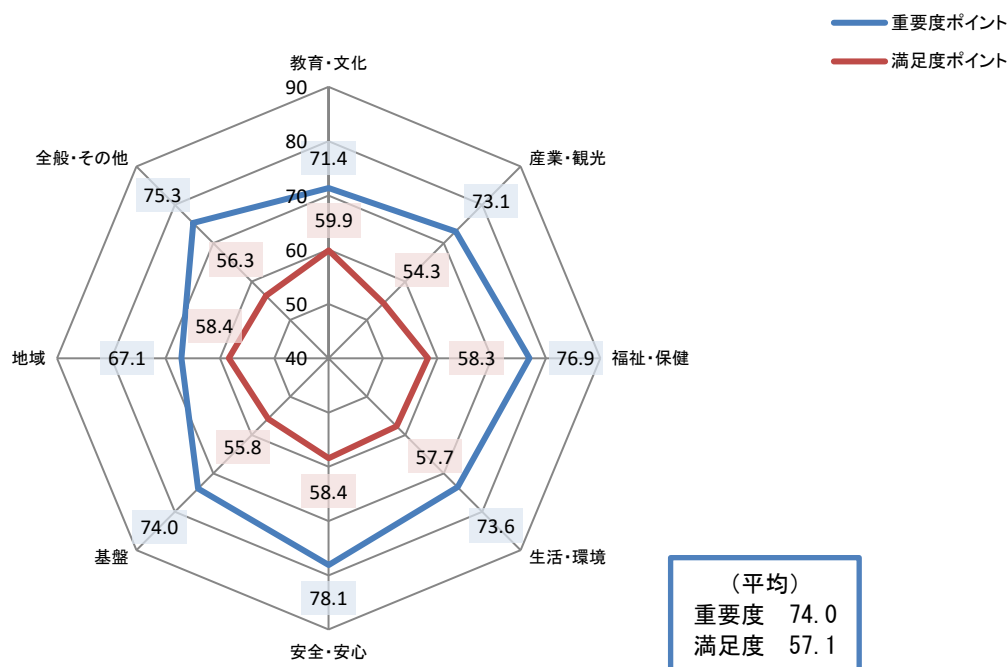
満足度ポイントについては、「教育・文化」が59.9点で最も高く、次いで「安全・安心」, 「地域」が58.4点, 「福祉・保健」が58.3点などとなっています。

重要度ポイントと満足度ポイントの両方が平均値を上回っている部門は, 「福祉・保健」, 「安全・安心」であり, 現状の満足度が高く, 今後においても市民が重要であると捉えているといえます。逆に両方が平均値を下回っている部門は, 「産業・観光」となっています。

一方で, 満足度ポイントが平均値より低く, 重要度ポイントが平均値より高い「全般・その他」については, 今後伸ばしていくべき部門として捉えられていると考えられます。

居住地別にみると, 沖美町では全体的に平均値より重要度ポイントが高くなっています。

図 部門別の重要度ポイント, 満足度ポイント



参考：居住地別部門別ポイント状況

図 江田島町

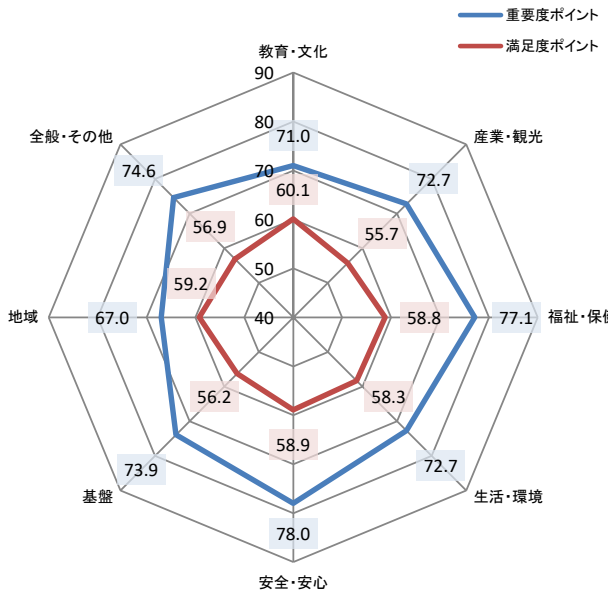


図 能美町

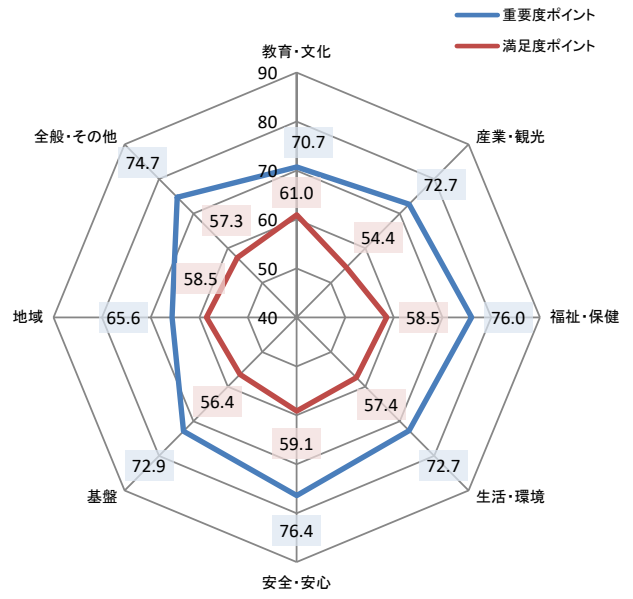


図 沖美町

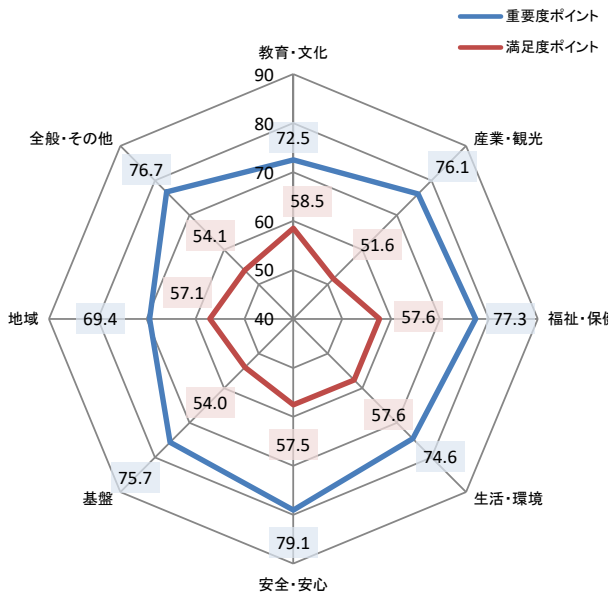
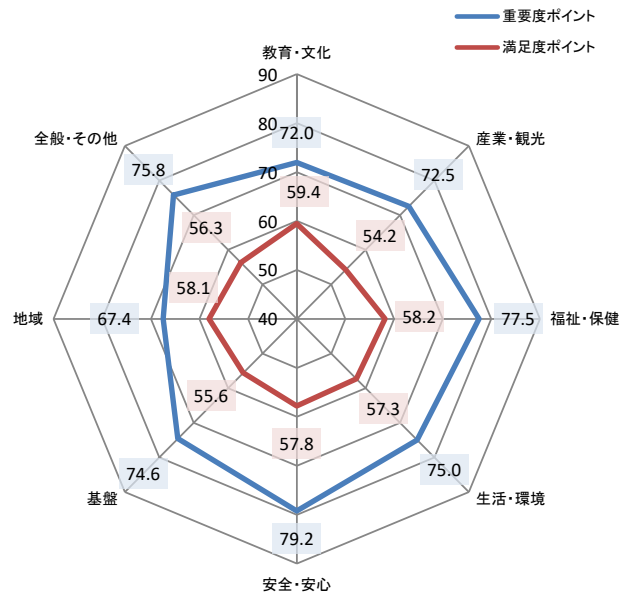


図 大柿町



(3) 部門別の重要度ポイント, 満足度ポイントの状況

ア 教育・文化

教育・文化部門を項目別にみると、全体的に満足度ポイントが高くなっています。特に「学校教育の内容(小中学校)」、「学校と地域・家庭との信頼関係」などの学校に関する項目では、重要度ポイントも高くなっており、今後も重要であると捉えられています。

図 教育・文化部門のポイント状況

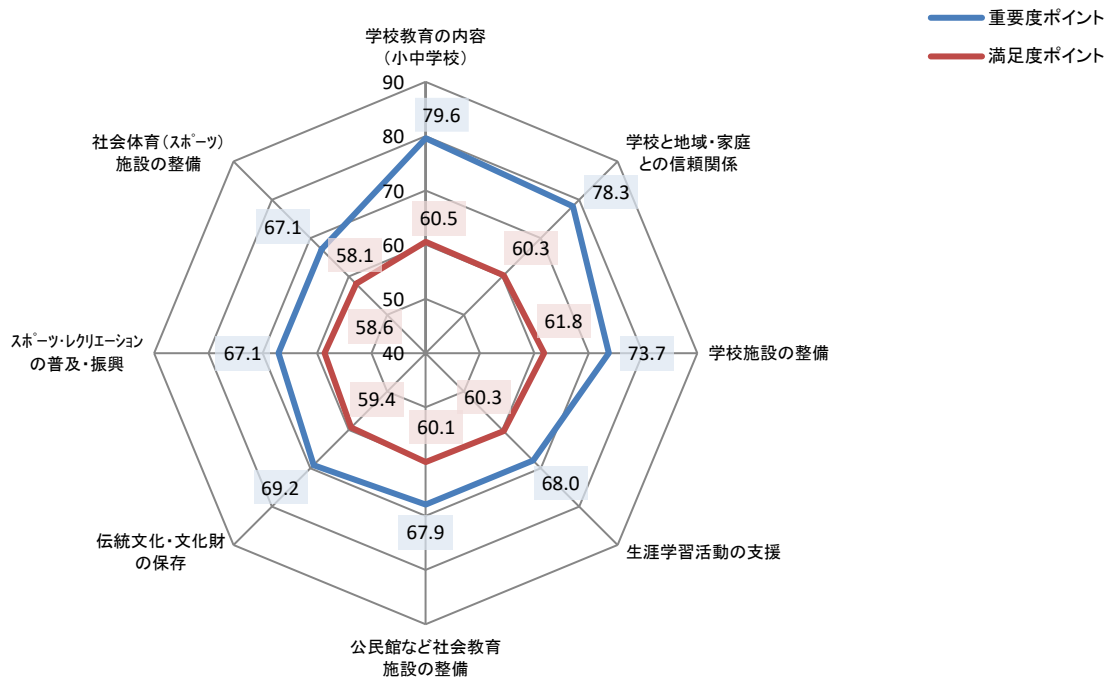


図 江田島町

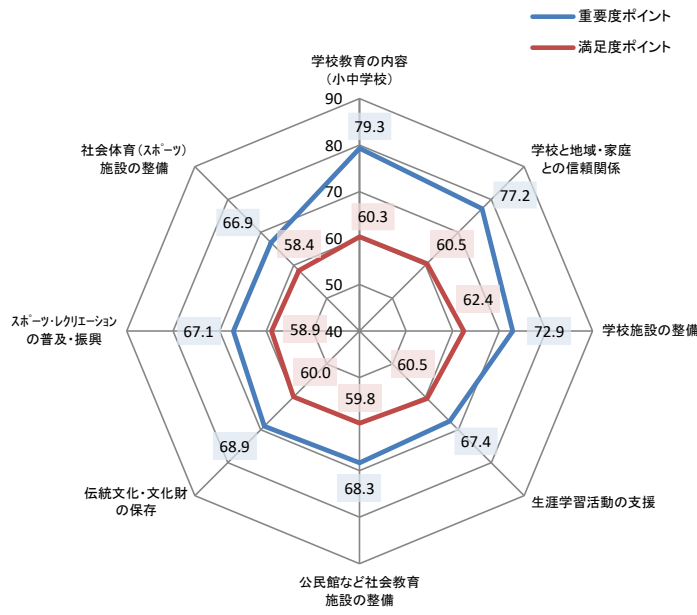


図 能美町

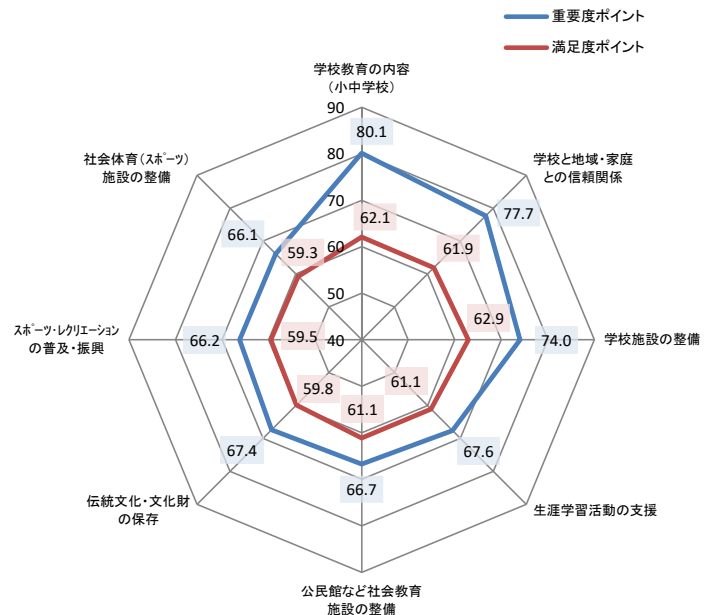


図 沖美町

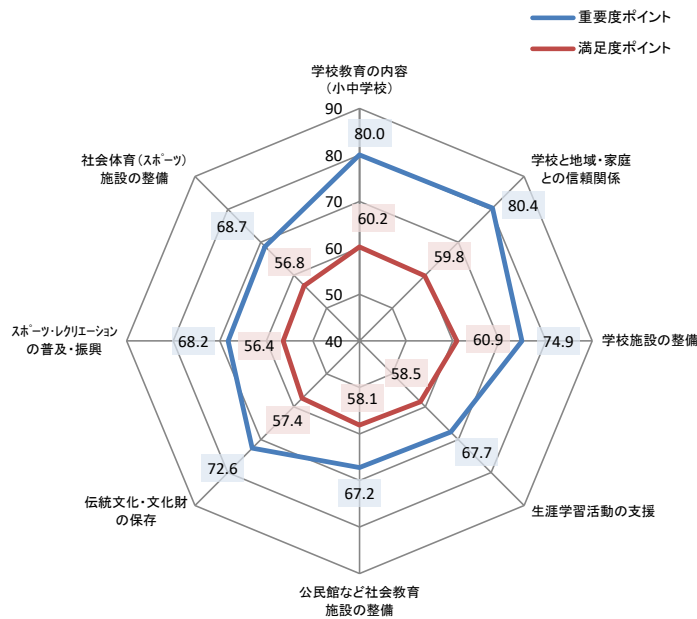
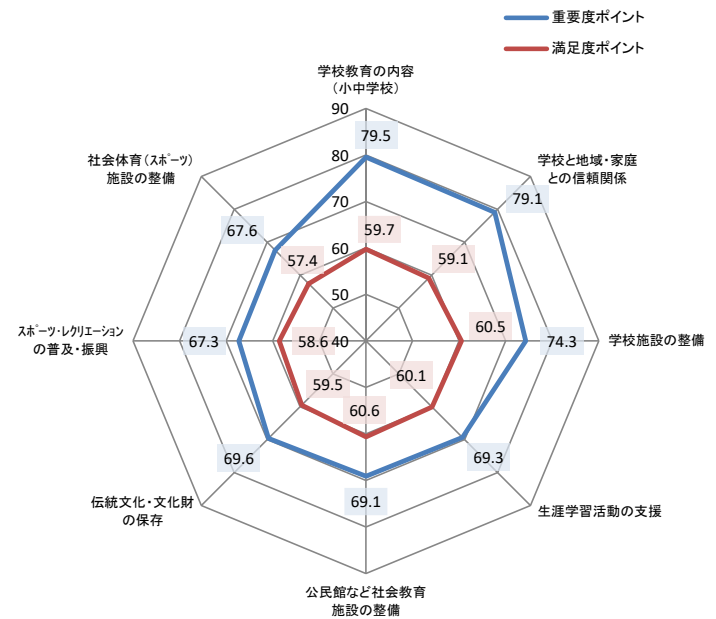


図 大柿町



イ 産業・観光

産業・観光部門を項目別にみると、全体的に満足度ポイントが低くなっています。その中で重要度との乖離度が20点を超える、「農林業の後継者・担い手の育成」、「企業誘致の推進」、「労働者福祉の向上」、「観光資源の発掘・魅力づくり」などは、市民が現状に対して重要な項目として考えていることが示されています。

図 産業・観光部門のポイント状況

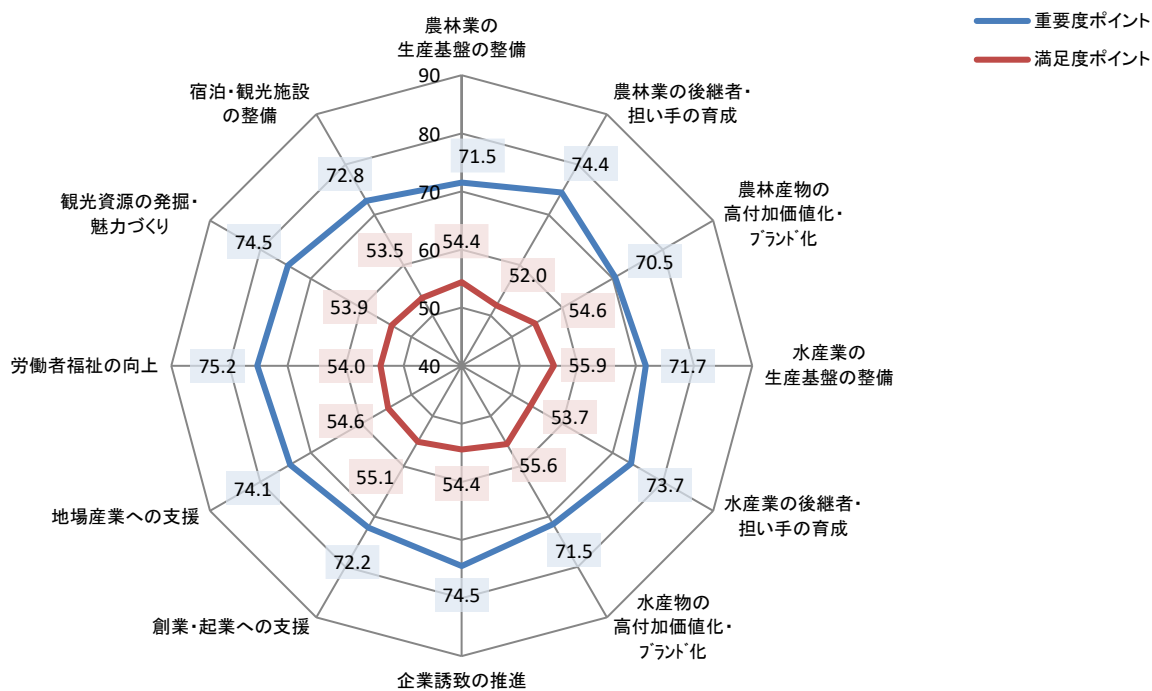


図 江田島町

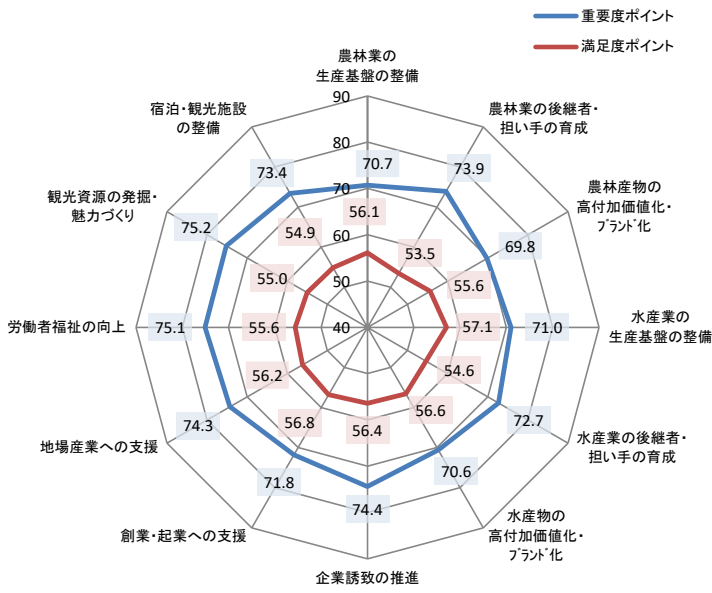


図 能美町

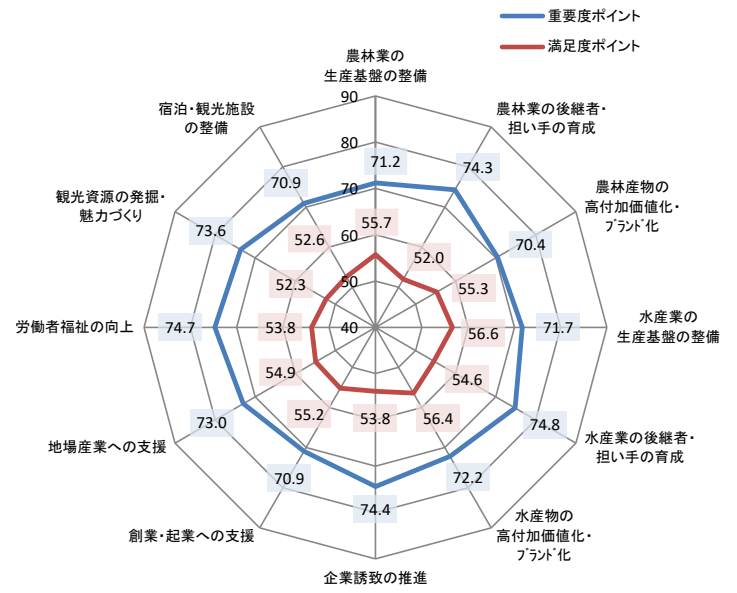


図 沖美町

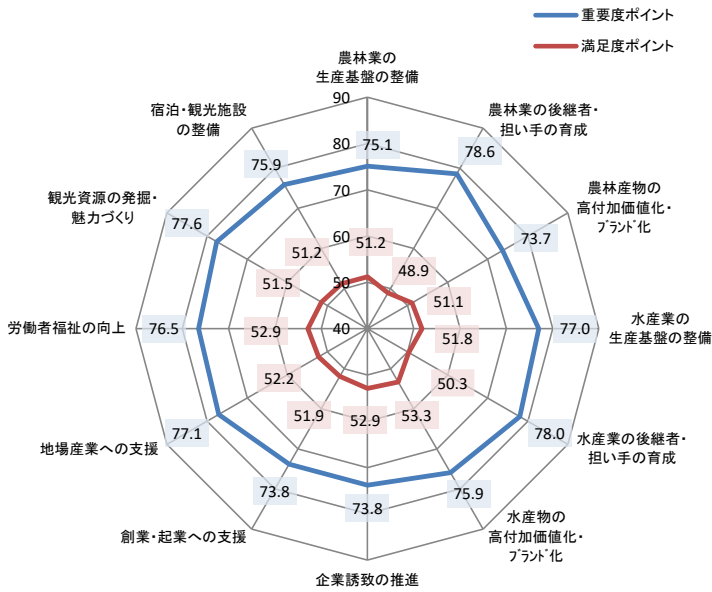
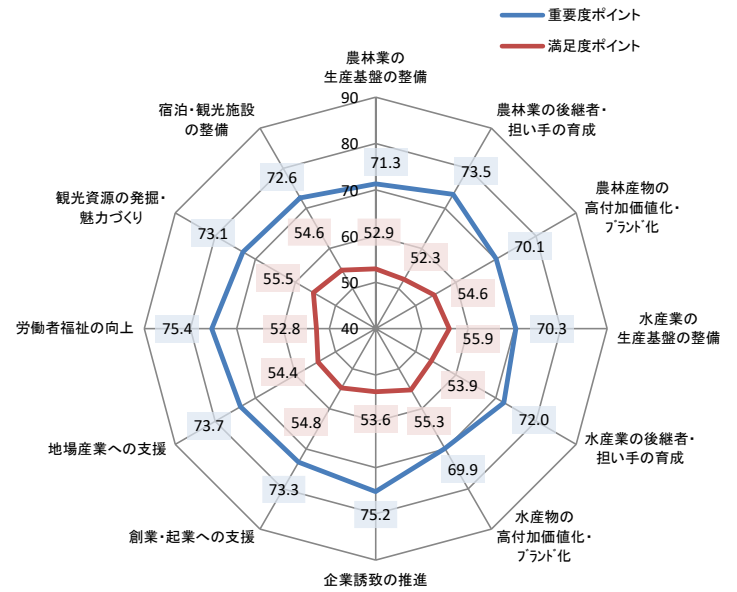


図 大柿町



ウ 福祉・保健

福祉・保健部門を項目別にみると、全体的に重要度ポイントが高くなっています。その中で「医療機関の充実」は82.5点と重要度ポイントが最も高く、満足度ポイントとの乖離も28.0点と大きくなっていることから、今後特に伸ばしていくべき項目として捉えられています。

図 福祉・保健部門のポイント状況

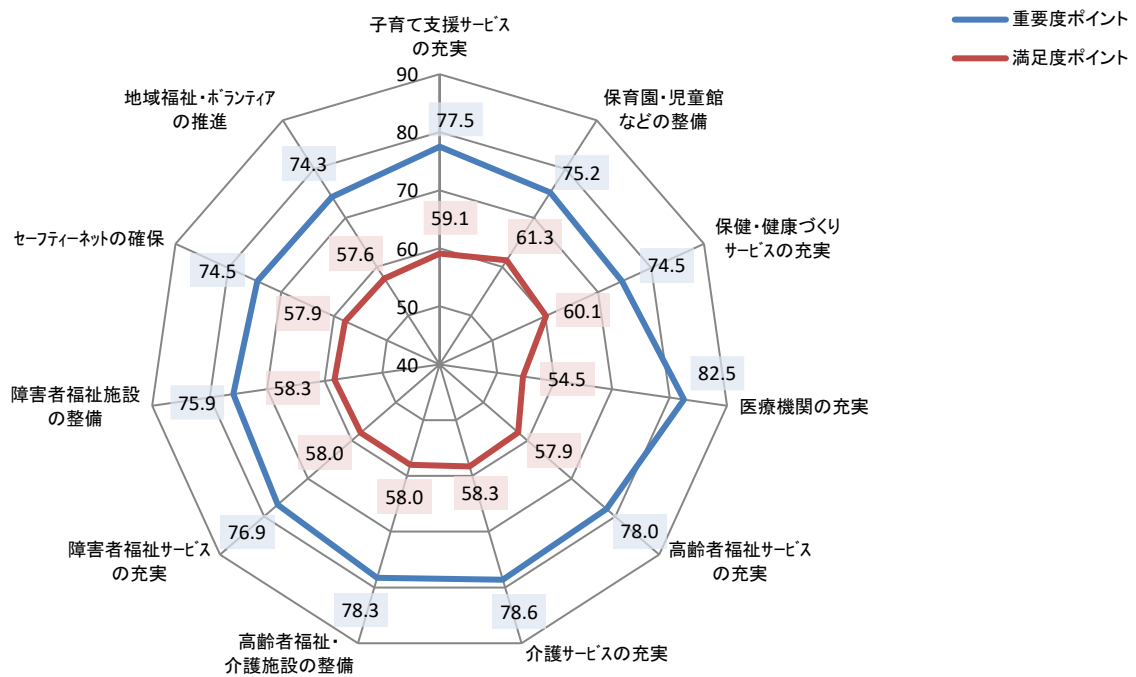


図 江田島町

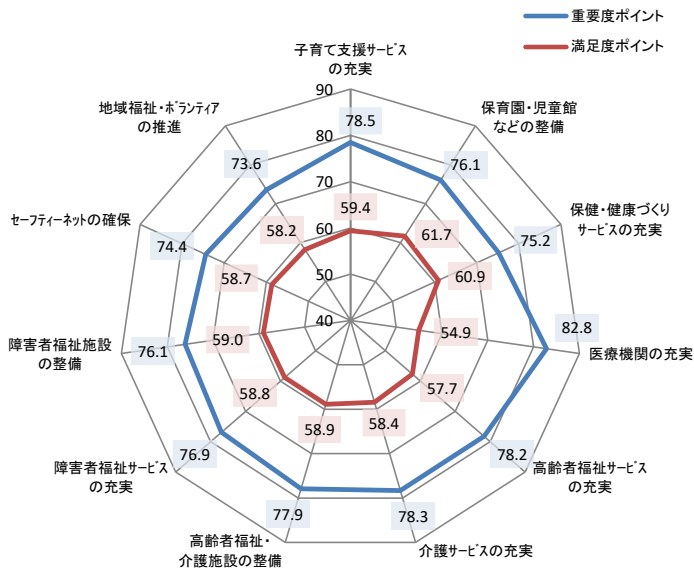


図 能美町

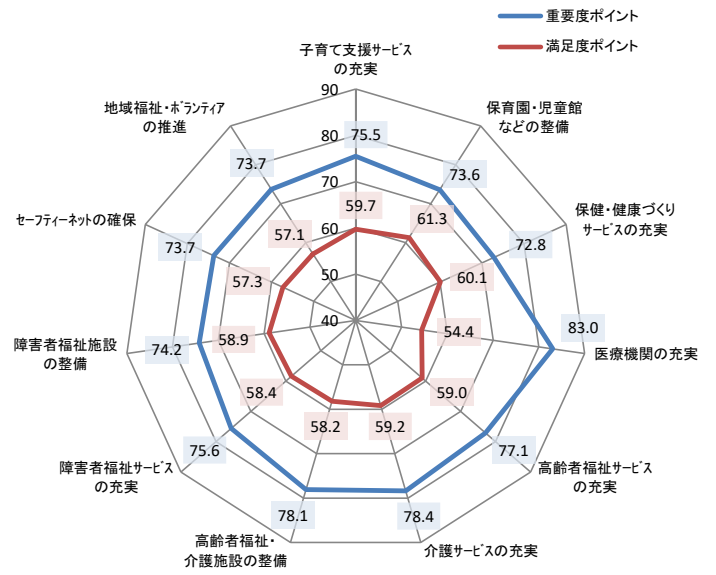


図 沖美町

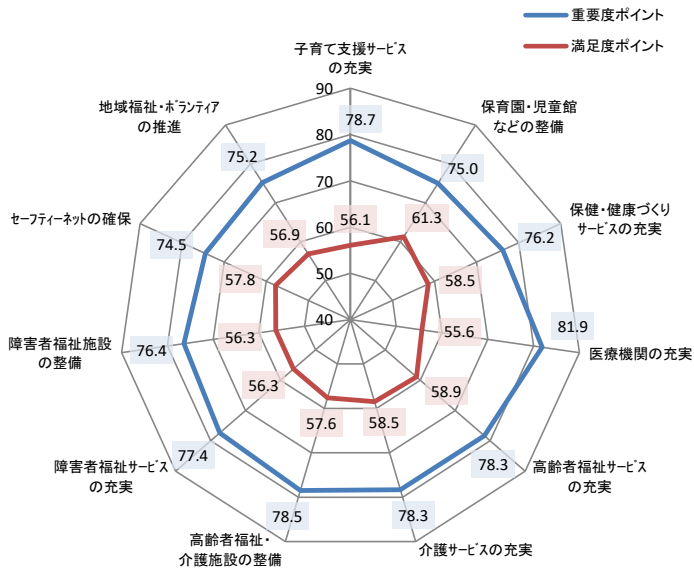
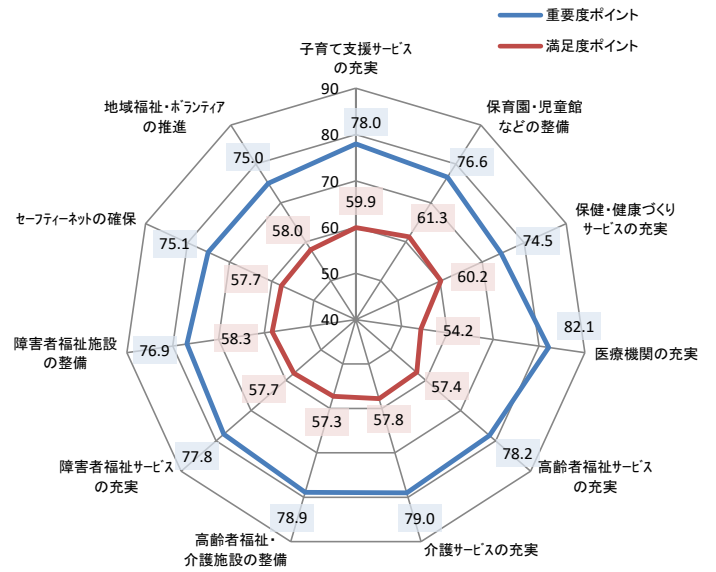


図 大柿町



エ 生活・環境

生活・環境部門を項目別にみると、「自然環境の保全」、「ゴミ対策・リサイクルの推進」、「地球温暖化対策」など環境に関する項目では、重要度ポイントが高くなっています。このうち「自然環境の保全」については、満足度ポイントとの乖離度が20点以上と大きく、市民が現状に対して重要な項目として考えていることが示されています。

一方で、「男女共同参画の推進」、「人権尊重の社会づくり」は重要度ポイントが低く、満足度ポイントとの乖離も小さくなっています。

環境と生活に関する項目の間で差が見られます。

図 生活・環境部門のポイント状況

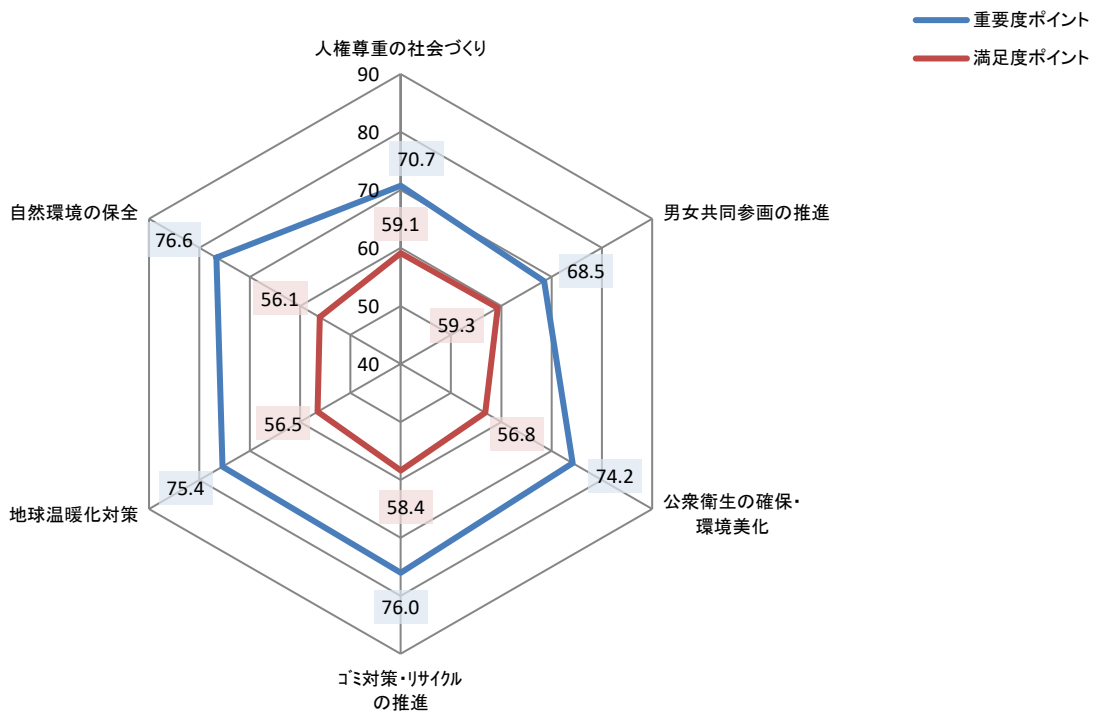


図 江田島町

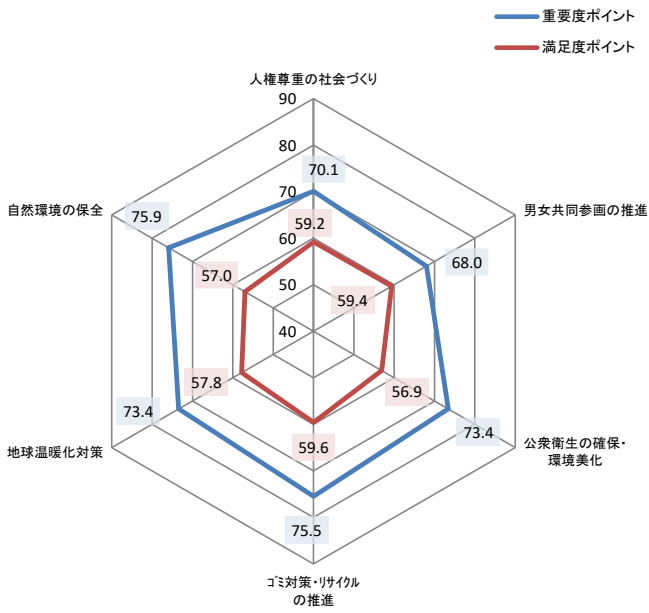


図 能美町

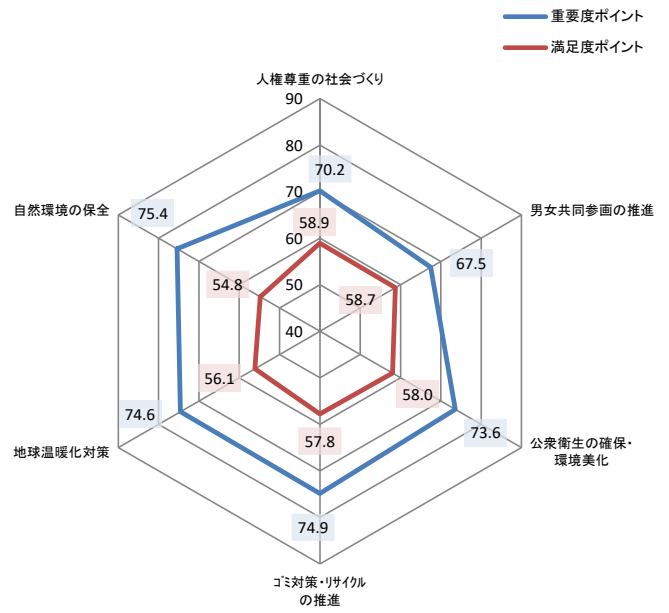


図 沖美町

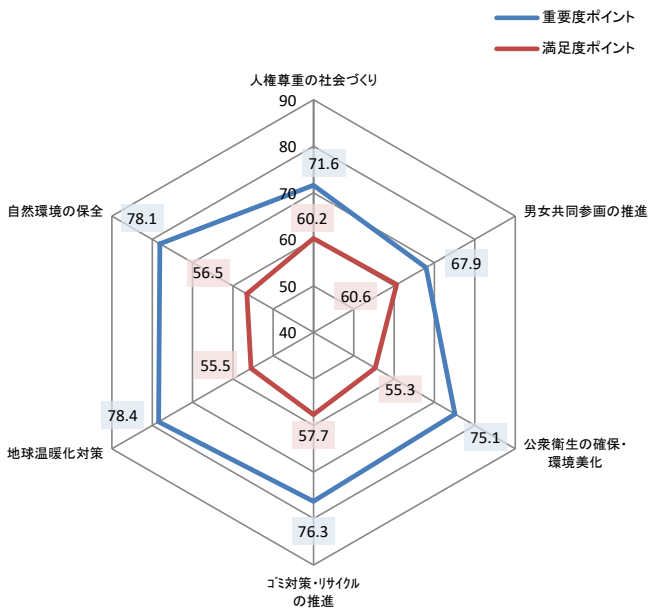
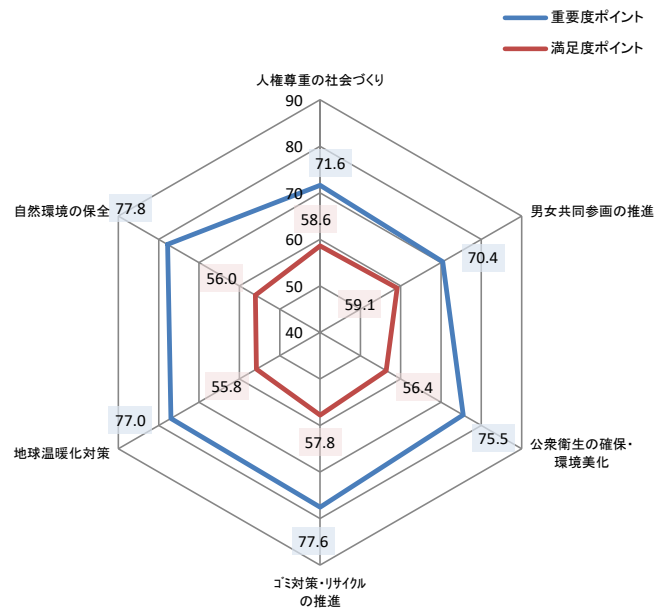


図 大柿町



オ 安全・安心

安全・安心部門を項目別にみると、全体的に重要度ポイントが高くなっています。その中で「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」、「避難所などの整備」は80点を超えています。また、満足度ポイントとの乖離が「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」27.2点、「避難所などの整備」24.1点と大きく、現状に対して災害への備えの必要性が指摘されています。

図 安全・安心部門のポイント状況

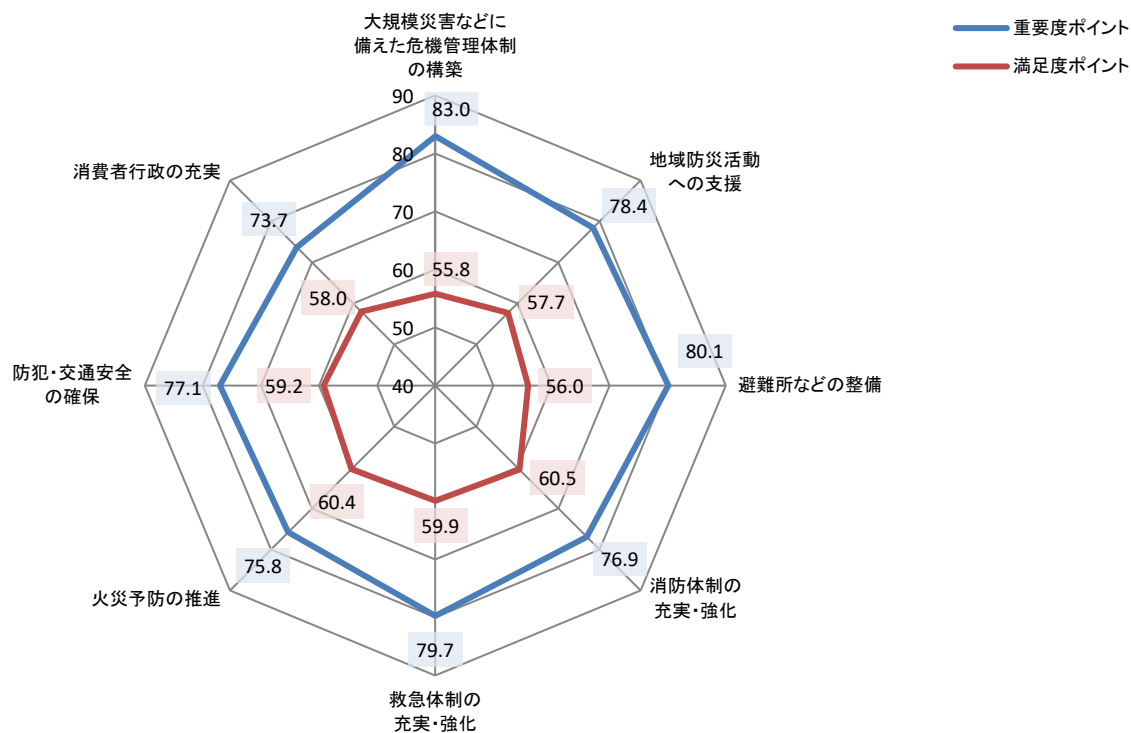


図 江田島町

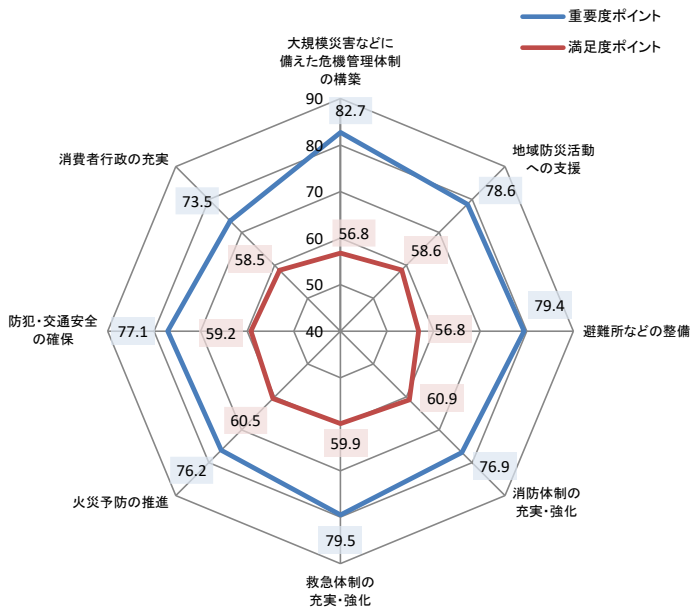


図 能美町

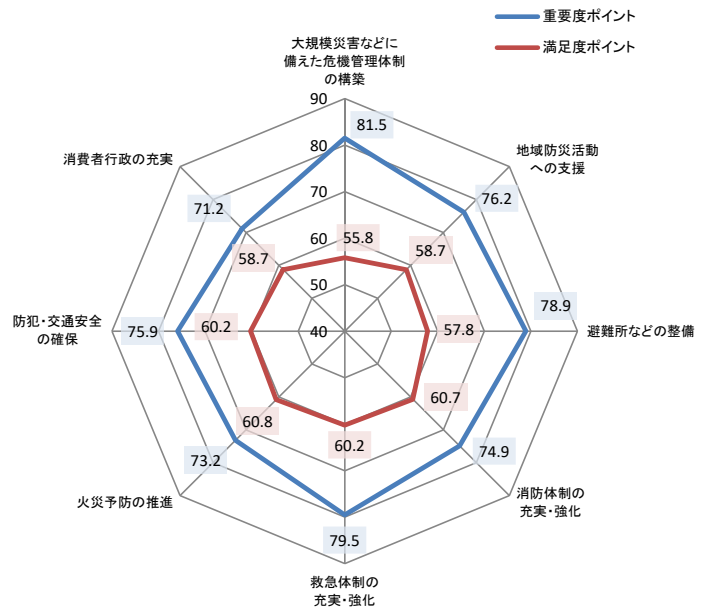


図 沖美町

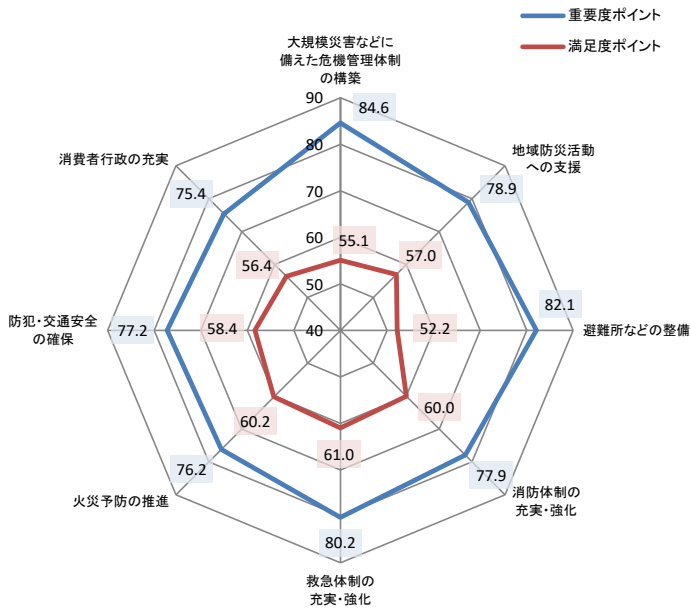
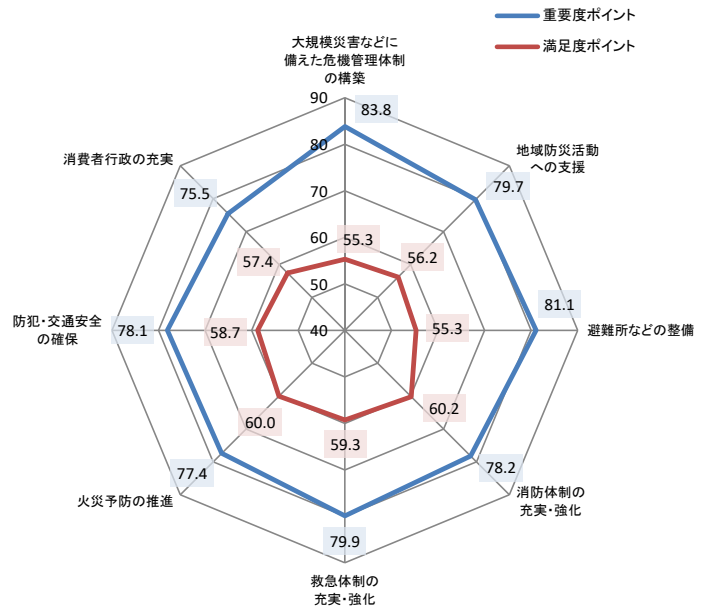


図 大柿町



カ 基盤

基盤部門を項目別にみると、「海上交通の確保」、「防災対策（河川・急傾斜地）」、「道路の整備」、「バスなどの確保」では、重要度ポイントが75点以上と高くなっています。

またこれらの項目はいずれも満足度ポイントとの乖離度が20点を超えており、市民が現状に対して重要な項目として捉えていることが示されています。

図 基盤部門のポイント状況

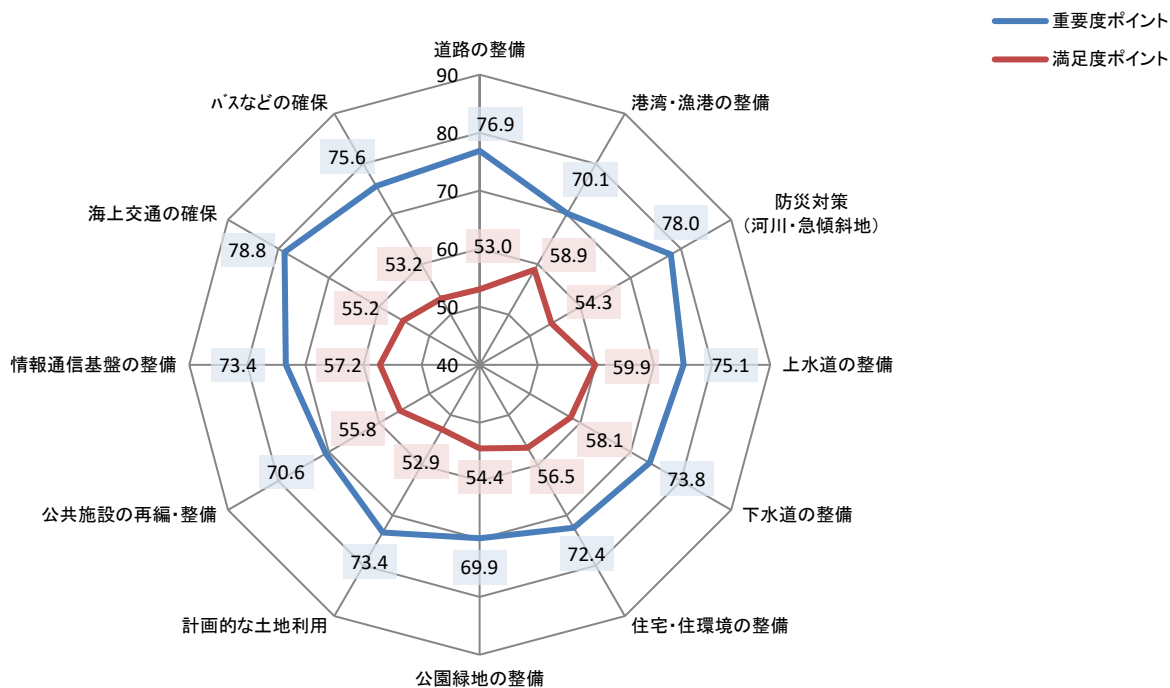


図 江田島町

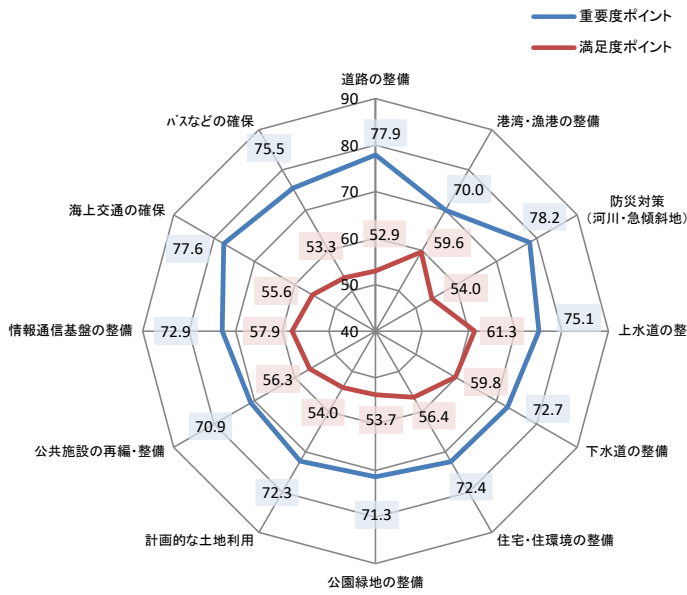


図 能美町

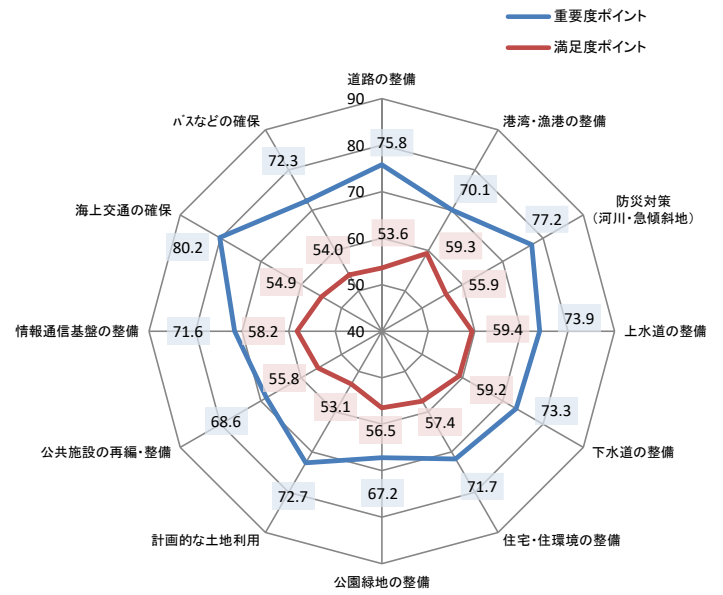


図 沖美町

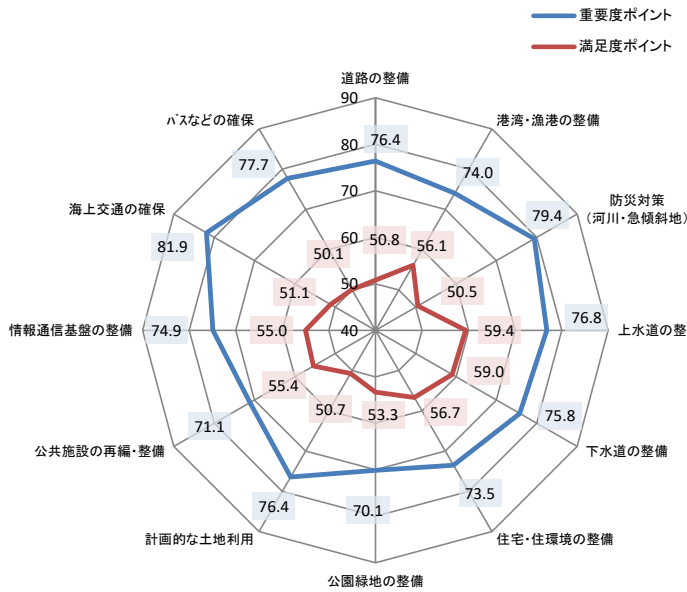
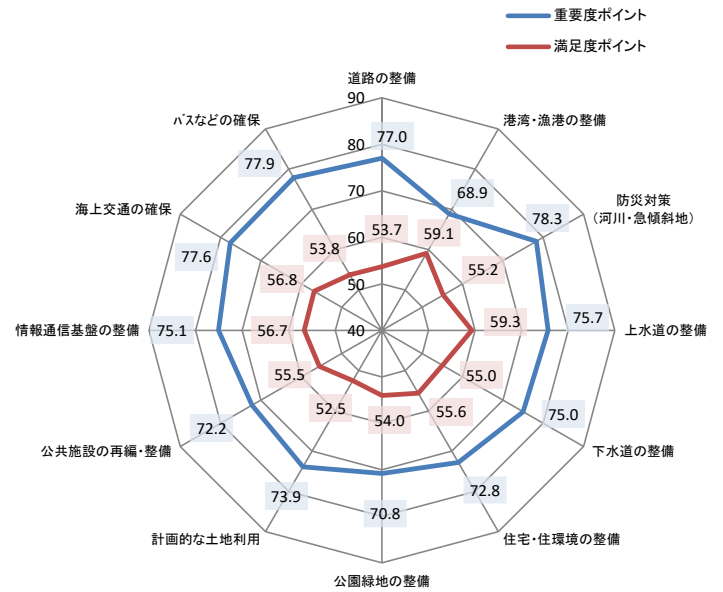


図 大柿町



キ 地域

地域部門を項目別にみると、全体的に重要度ポイントが低く、満足度ポイントが高くなっています。乖離度ポイントが低いことから、他の部門と比べて、市民が現状に対してそれほど推進すべき項目として捉えていないことがうかがえます。

図 地域部門のポイント状況

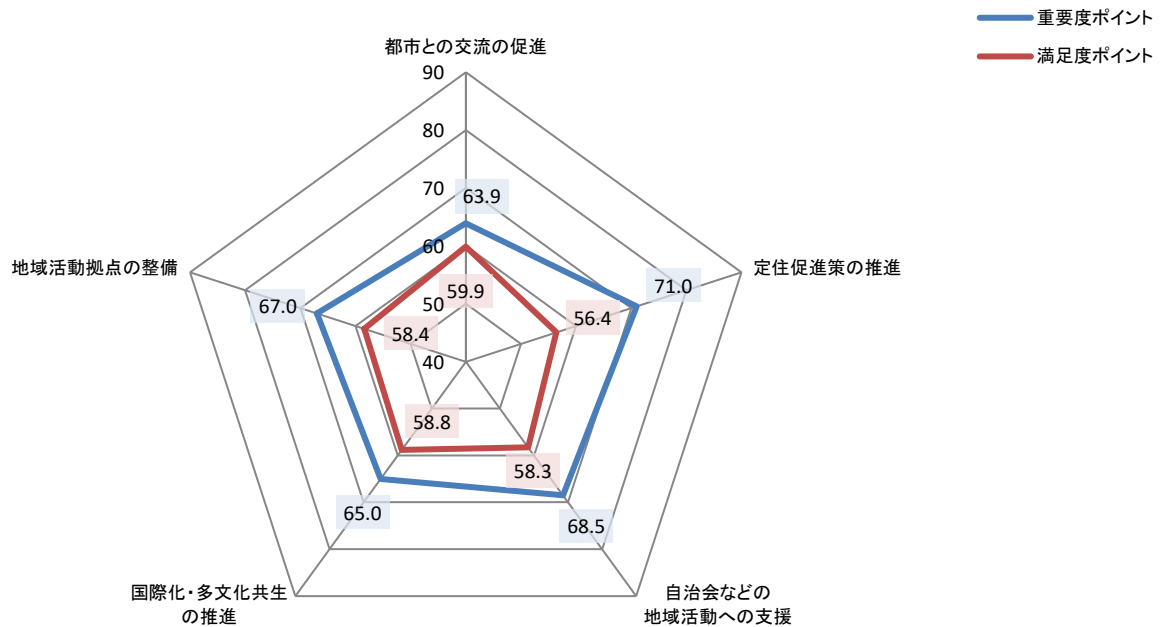


図 江田島町

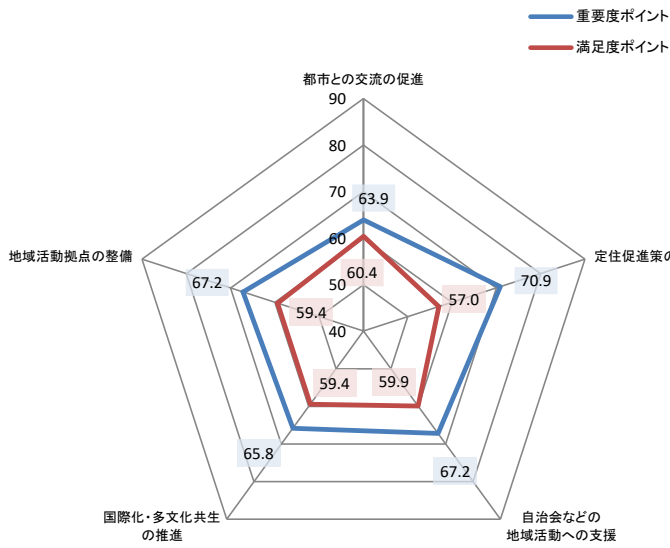


図 能美町

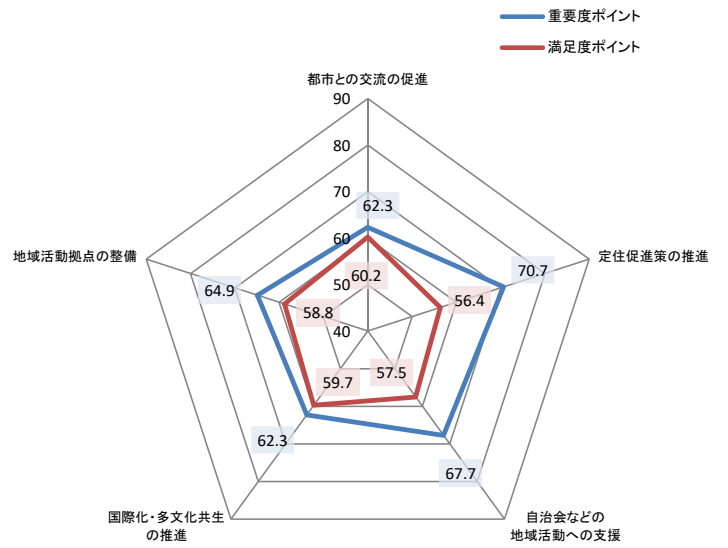


図 沖美町

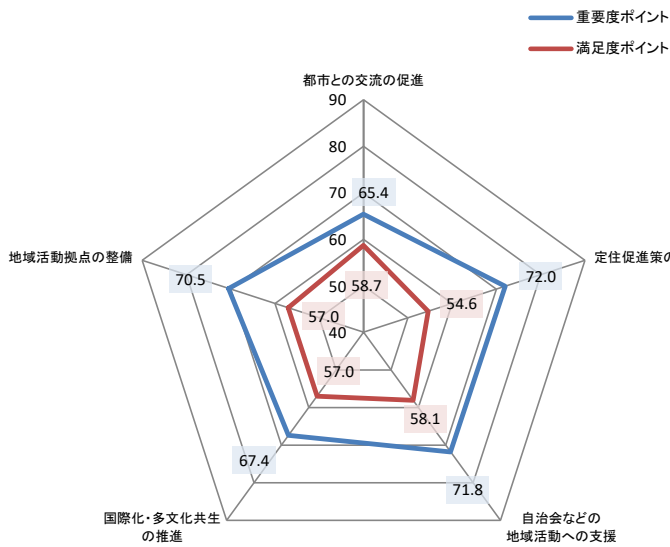
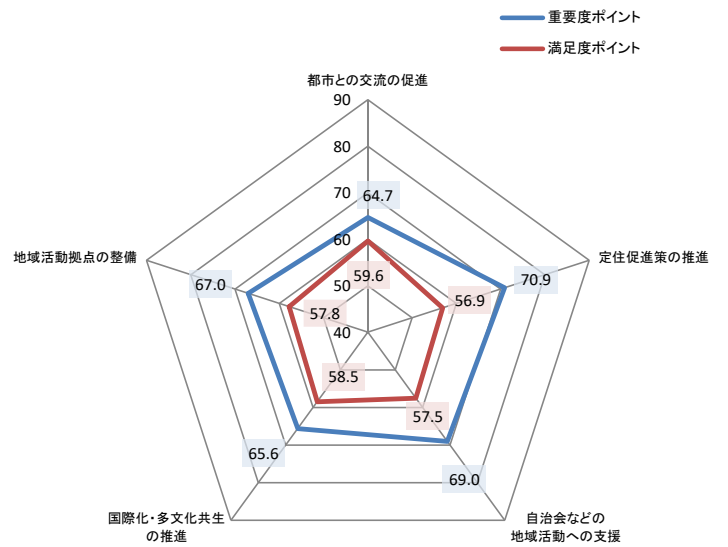


図 大柿町



ク 全般・その他

全般・その他部門を項目別にみると、「行財政改革の取組」と「市民の意見の把握・反映」の重要度が75点を超え、満足度との乖離度が20点を超えています。両項目は、市民が現状に対して推進すべき項目として捉えていることがうかがえます。

図 全般・その他部門のポイント状況

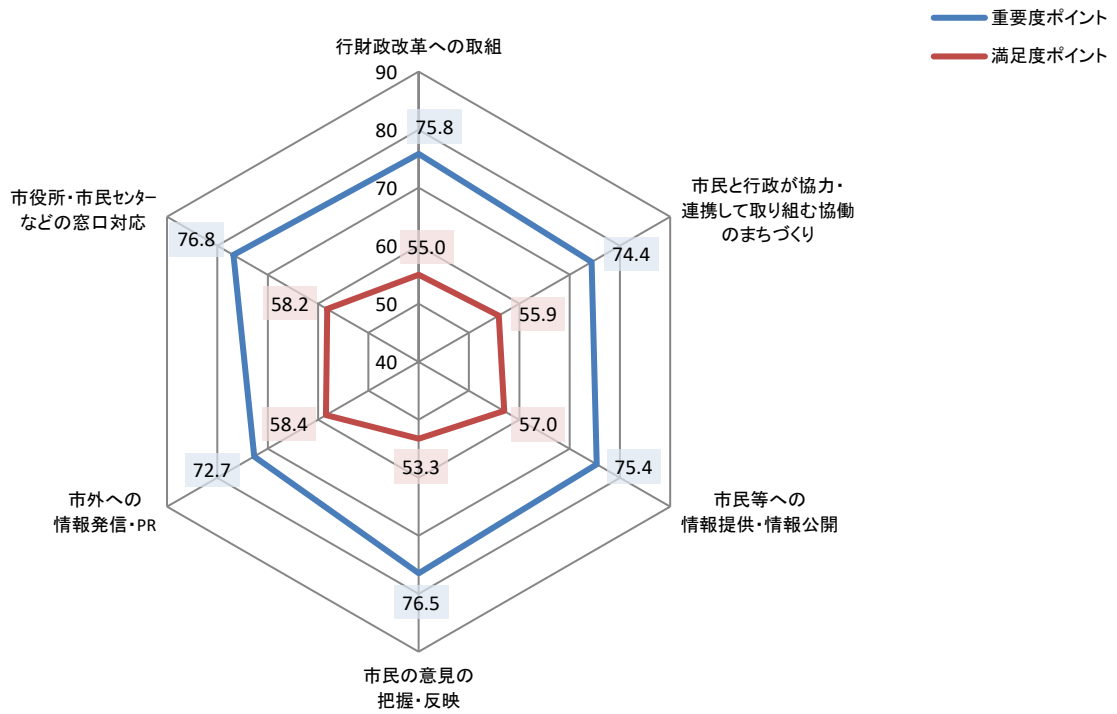


図 江田島町

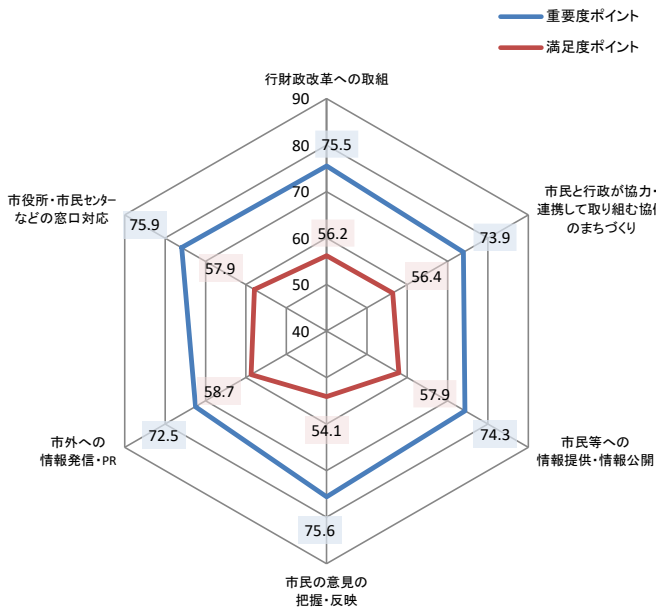


図 能美町

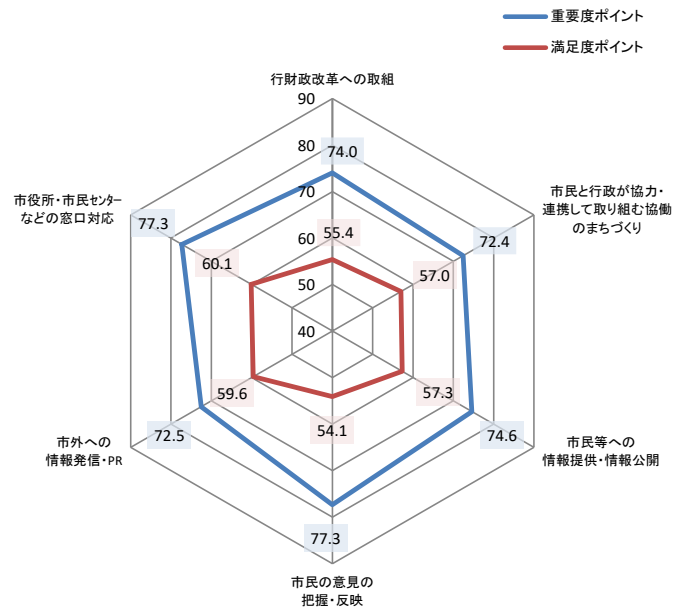


図 沖美町

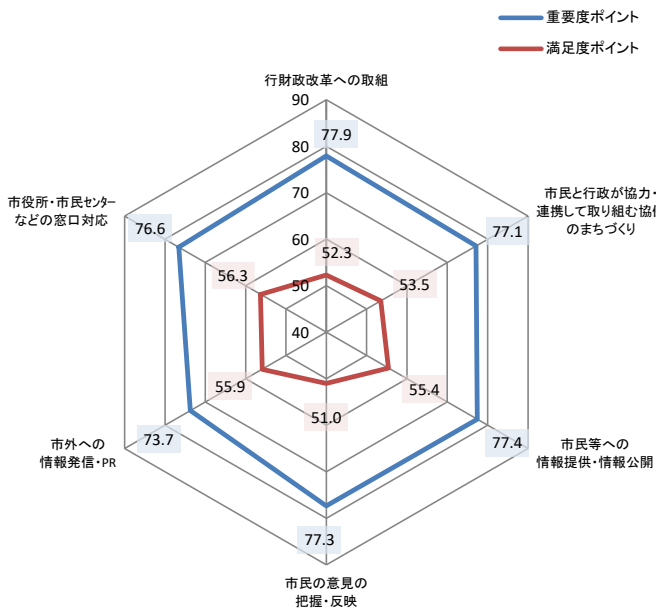
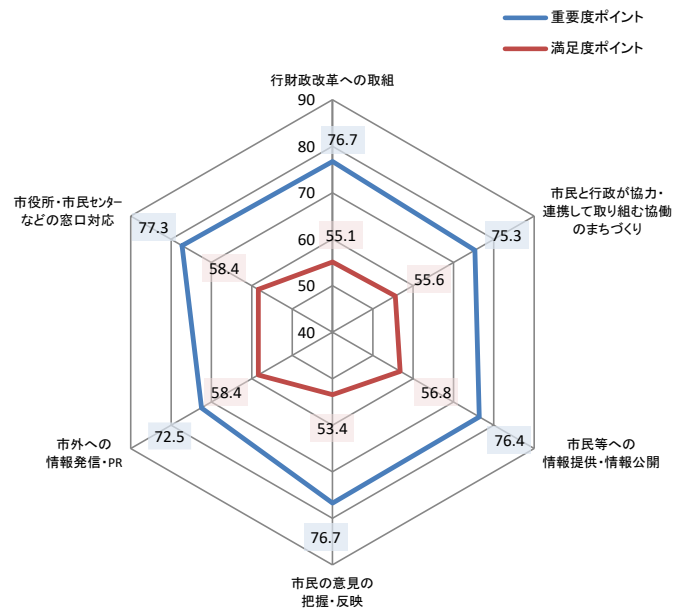
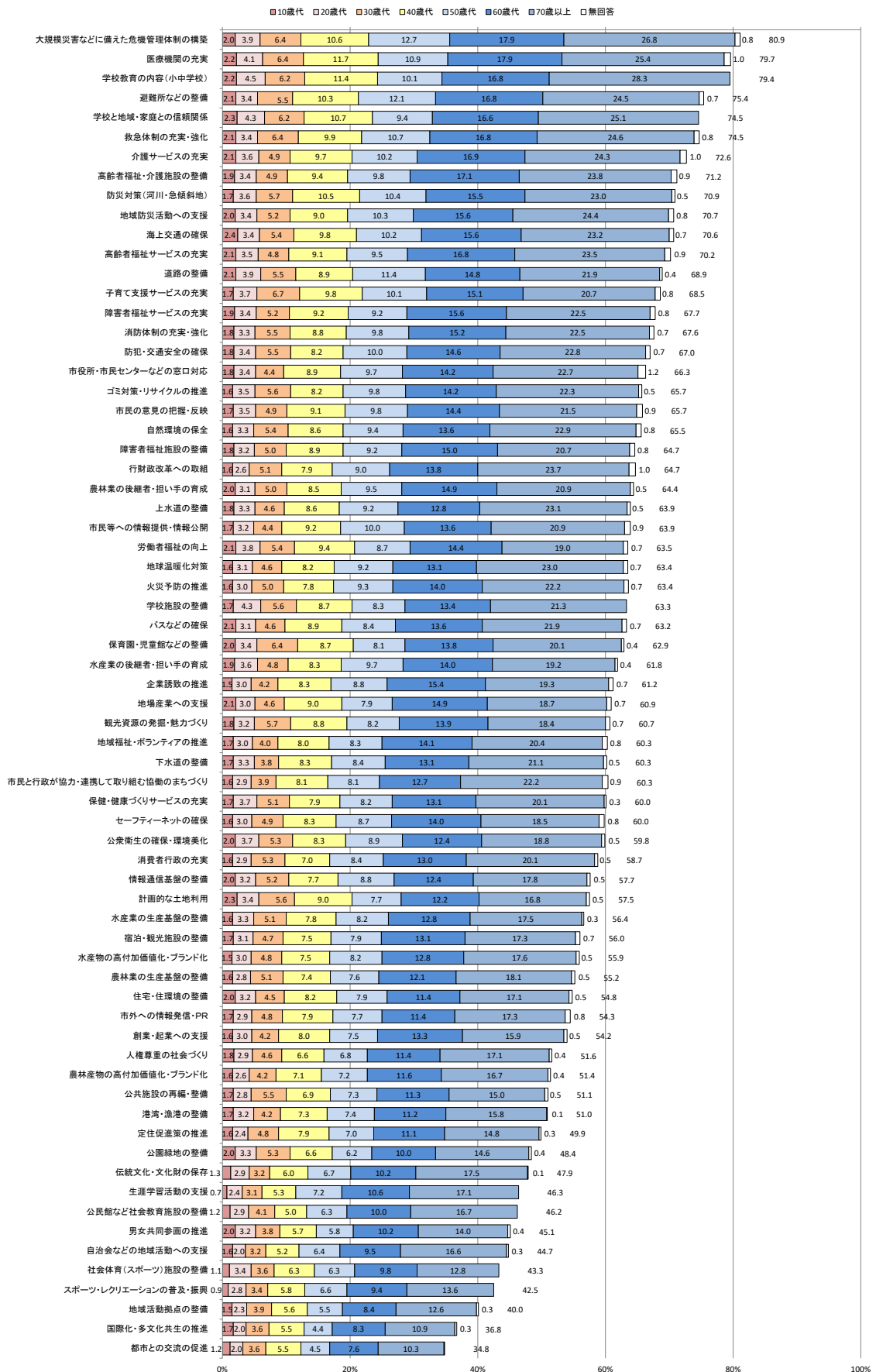


図 大柿町



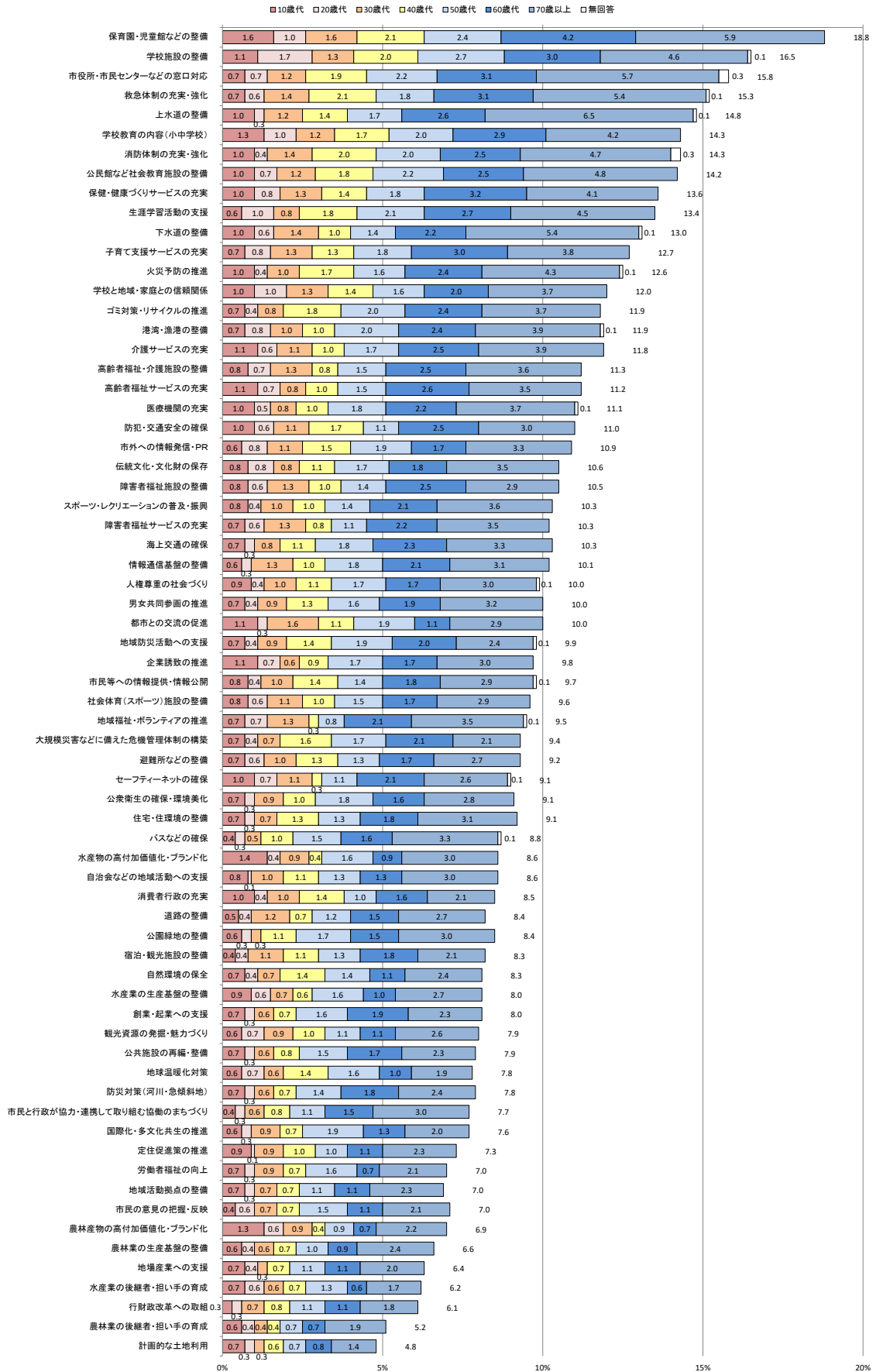
(4) 年齢ごとの今後の重要度と現状の満足度

図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての今後の重要度 (特に重要+重要)



※端数処理の都合上、市全体の合計(7頁)と年代別の合計とが一致しない場合があります。

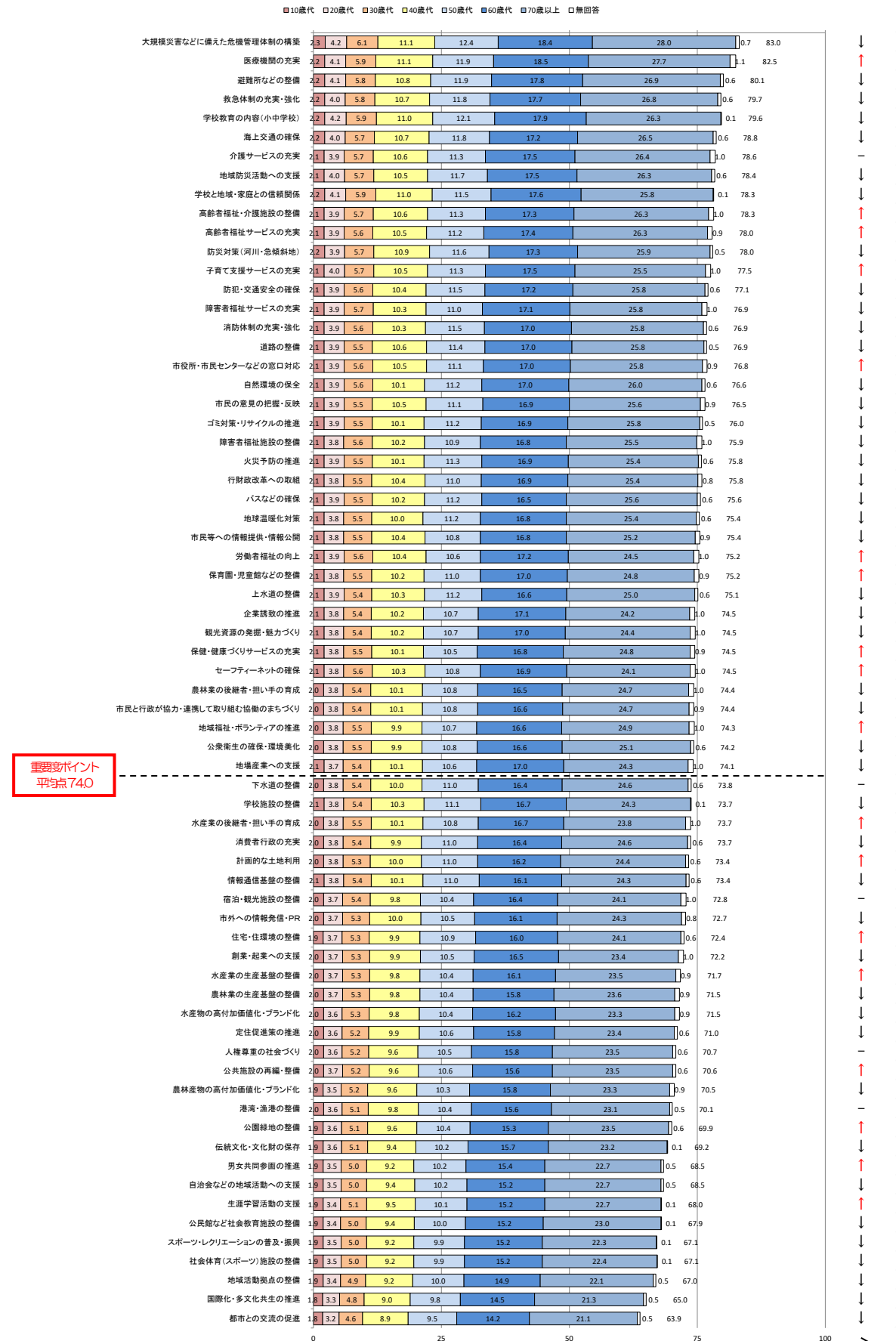
図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現状の満足度（とても満足+満足）



※端数処理の都合上、市全体の合計（7頁）と年代別の合計とが一致しない場合があります。

(5) 年齢ごとの重要度ポイント・満足度ポイント

図 江田島市における重要度ポイント

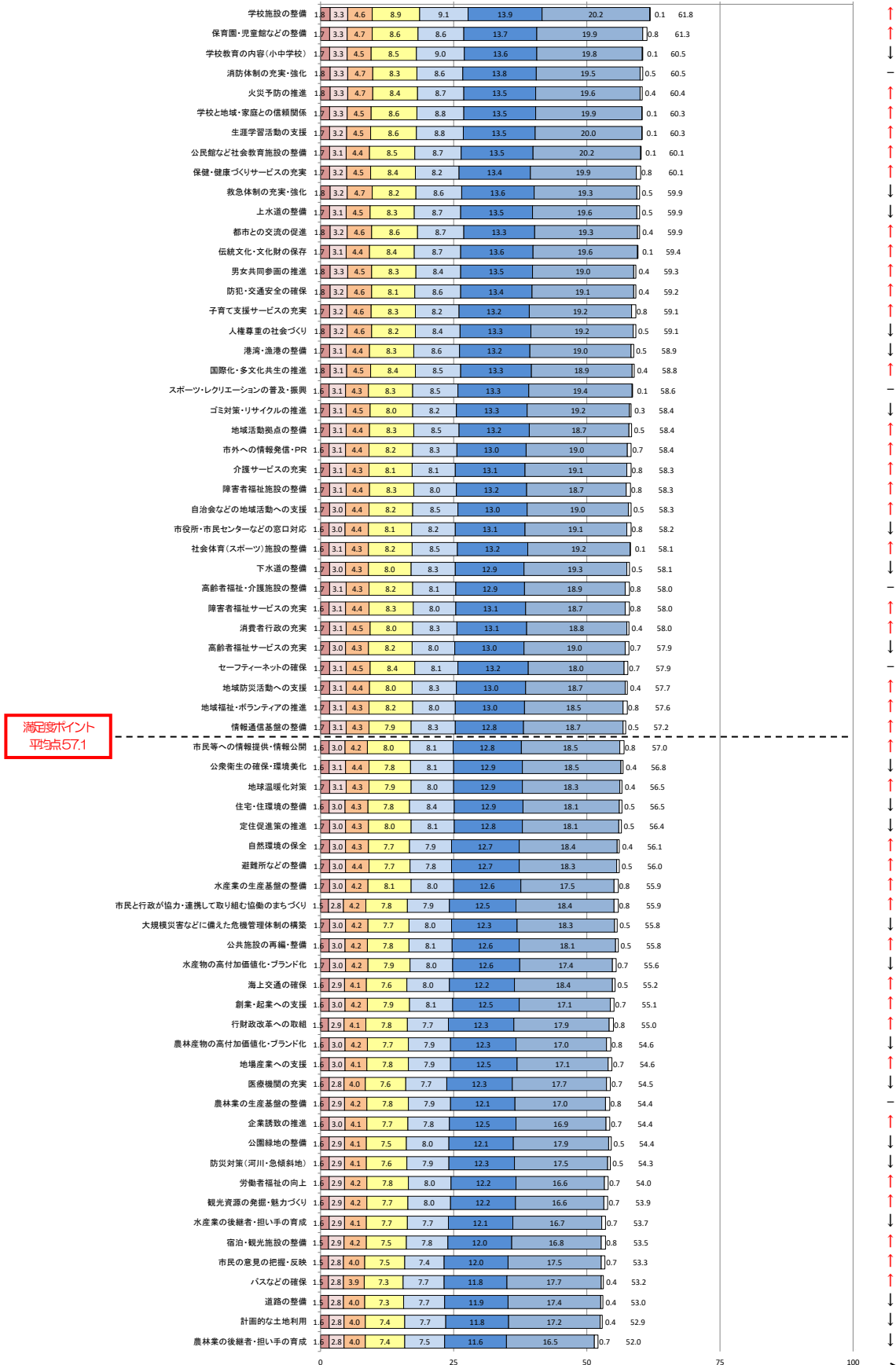


※端数処理の都合上、市全体の合計(11~13頁)と年代別の合計とが一致しない場合があります。

昨年年度調査との比較(増減状況)

図 江田島市における満足度ポイント

□10歳代 □20歳代 □30歳代 □40歳代 □50歳代 □60歳代 □70歳以上 □無回答

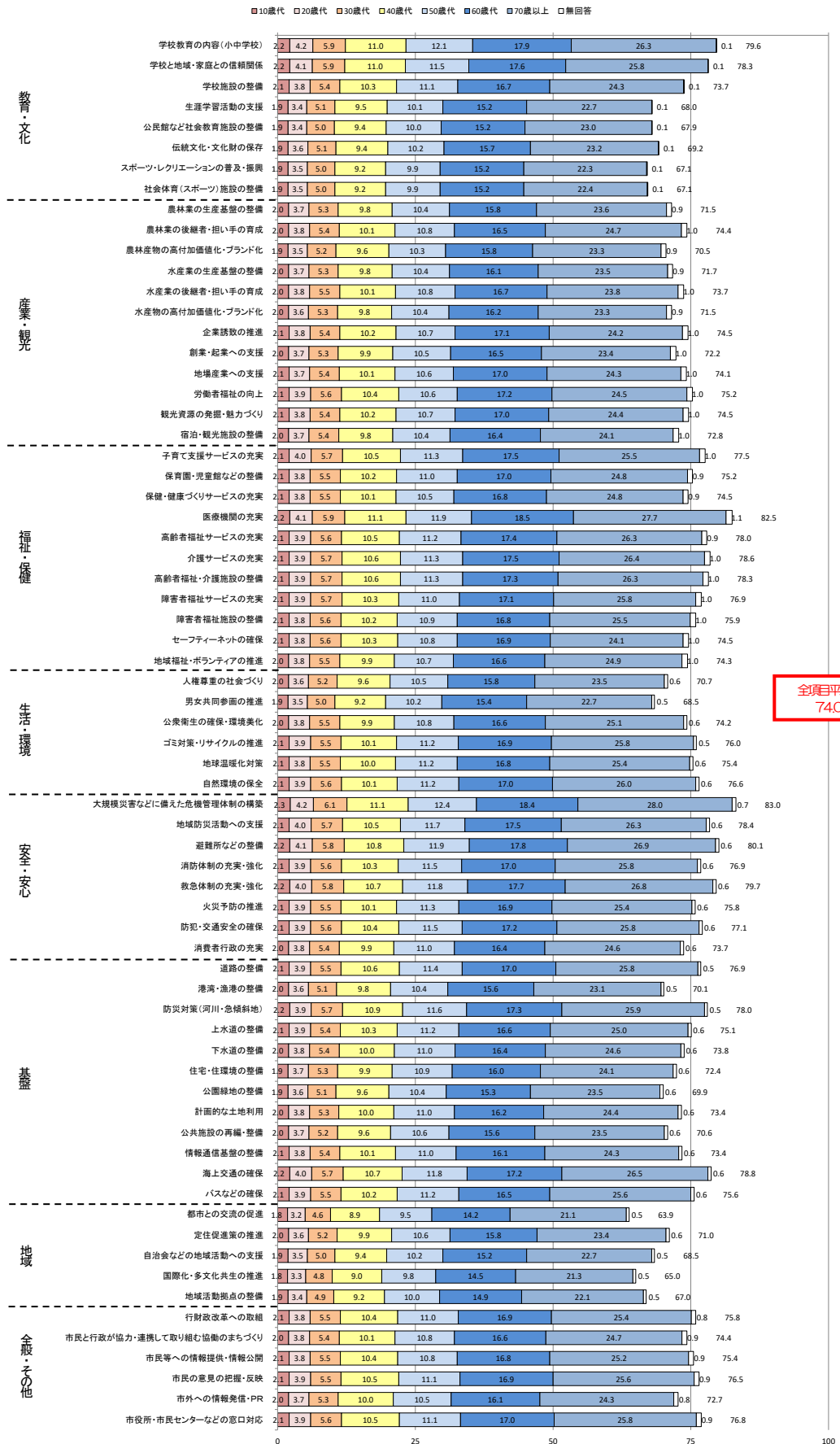


満足度ポイント
平均点57.1

※端数処理の都合上、市全体の合計(11~13頁)と年代別の合計とが一致しない場合があります。

昨年度調査との比較(増減状況)

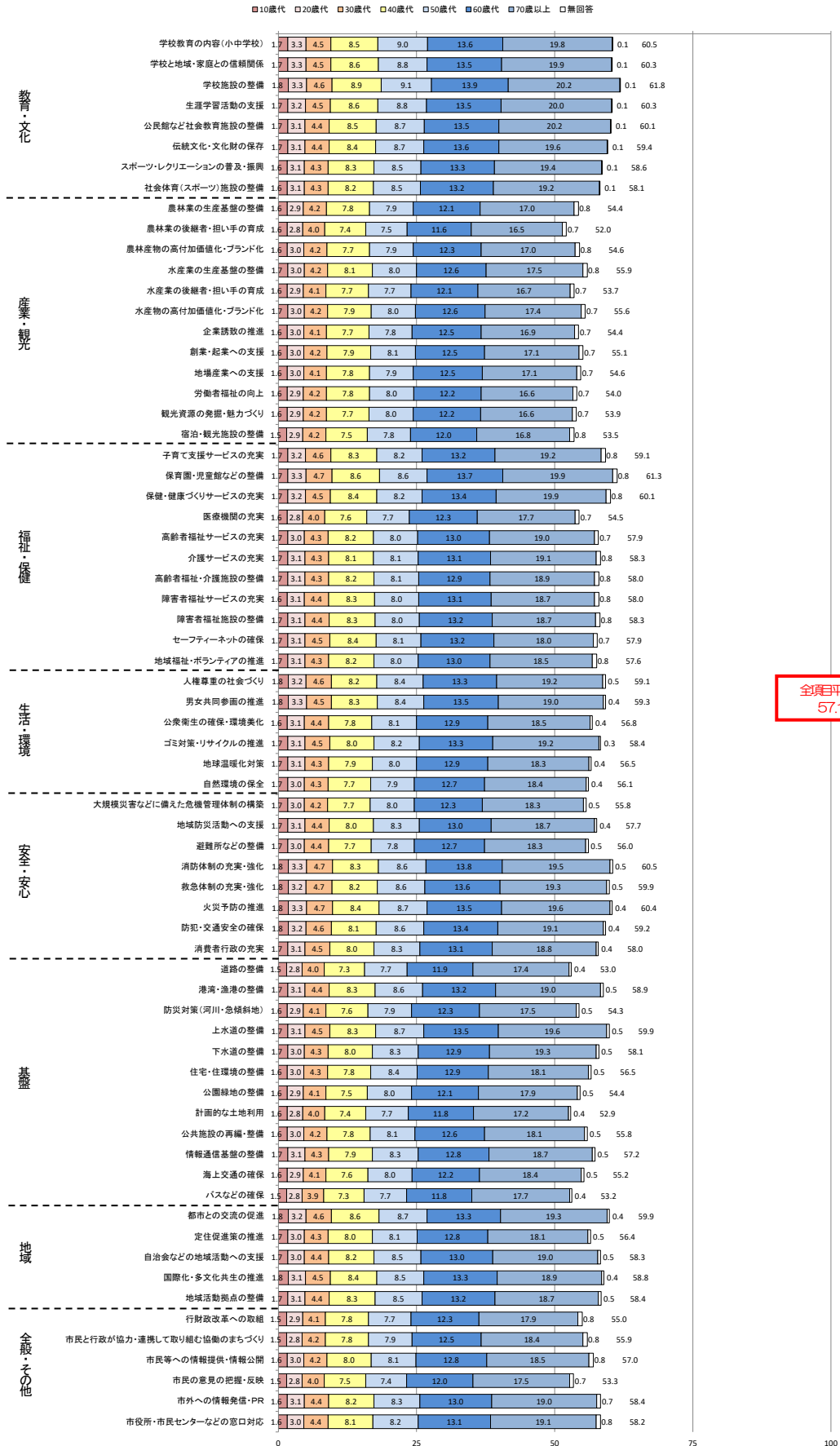
参考図 江田島市における重要度ポイント (市民重要度)・・・部門別



全項目平均点
740

※端数処理の都合上、市全体の合計(11~13頁)と年代別の合計とが一致しない場合があります。

参考図 江田島市における満足度ポイント（市民満足度）・・・部門別



全項目平均点
57.1

※端数処理の都合上、市全体の合計（11～13頁）と年代別の合計とが一致しない場合があります。

(6) 年齢ごとの部門別の重要度ポイント・満足度ポイントの状況
ア 教育・文化

図 10 歳代

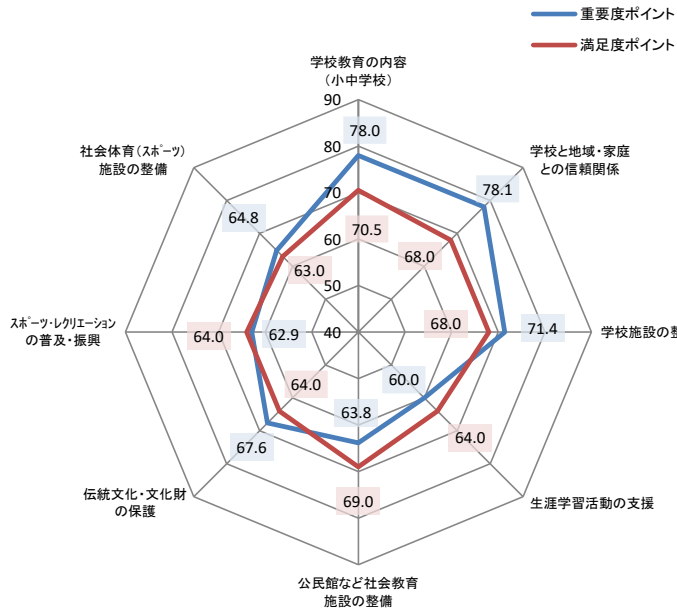


図 20 歳代

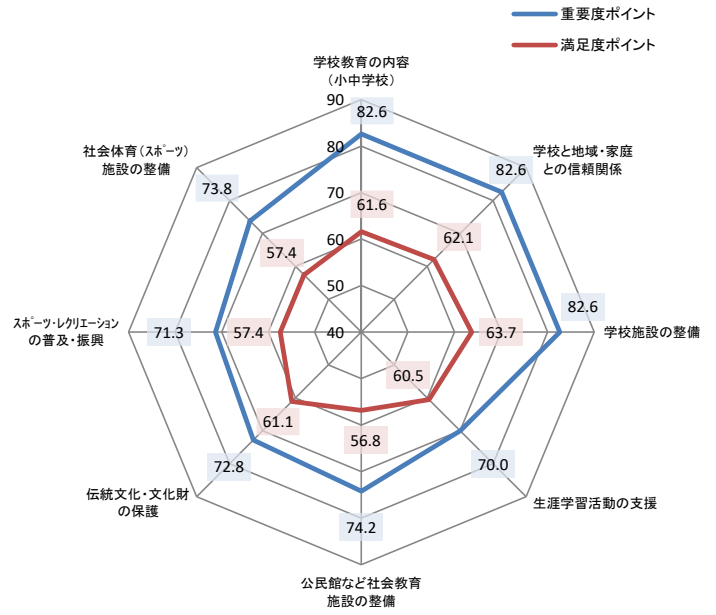


図 30 歳代

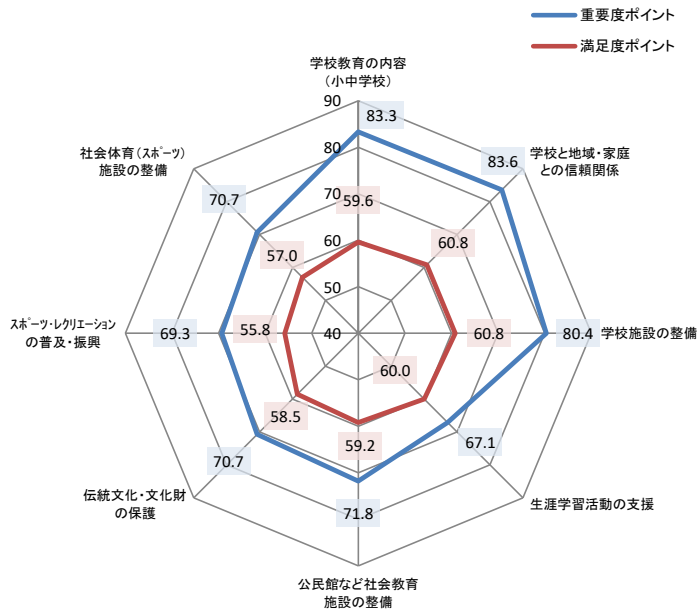


図 40 歳代

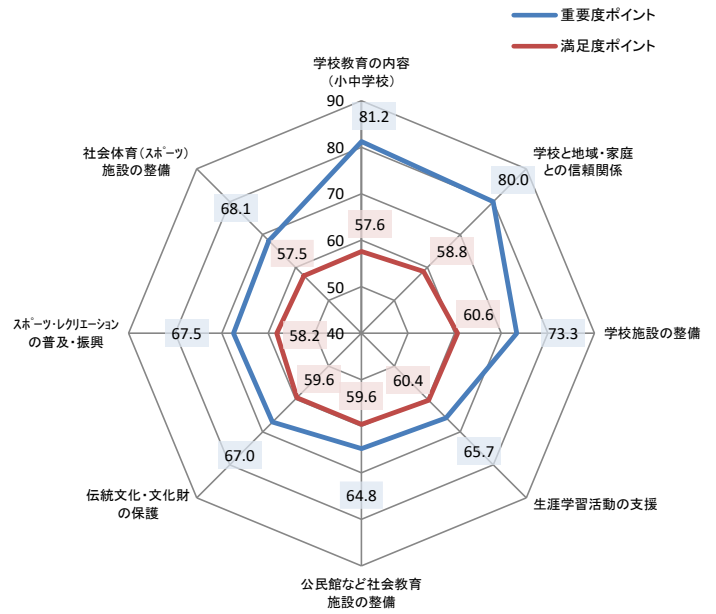


図 50 歳代

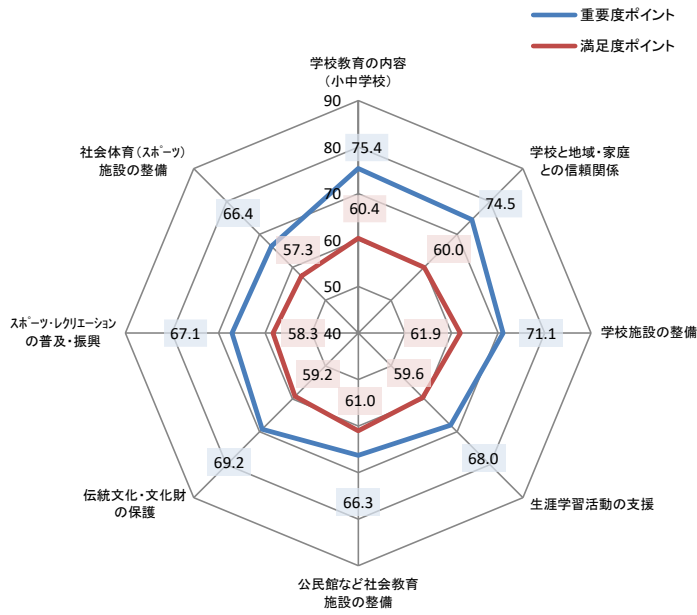


図 60 歳代

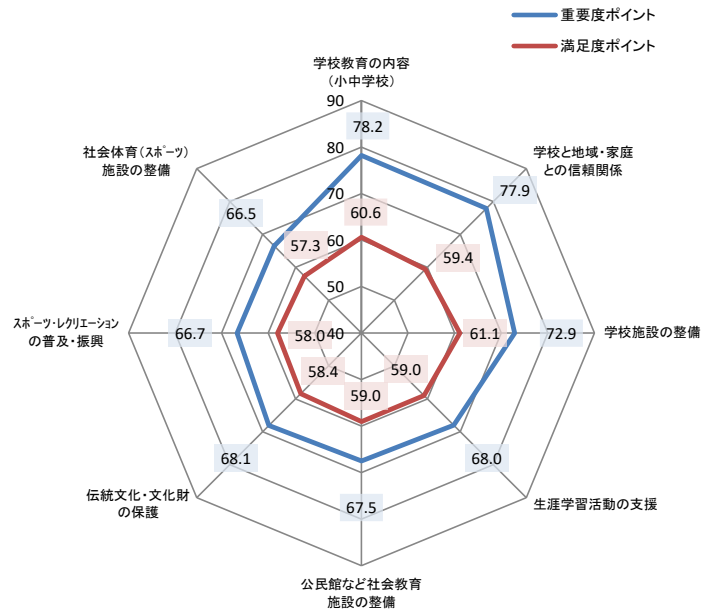
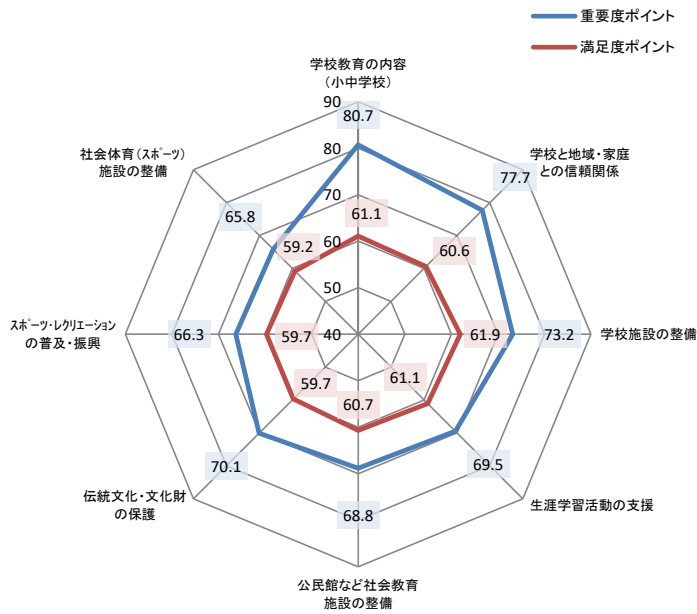


図 70 歳以上



イ 産業・観光

図 10歳代

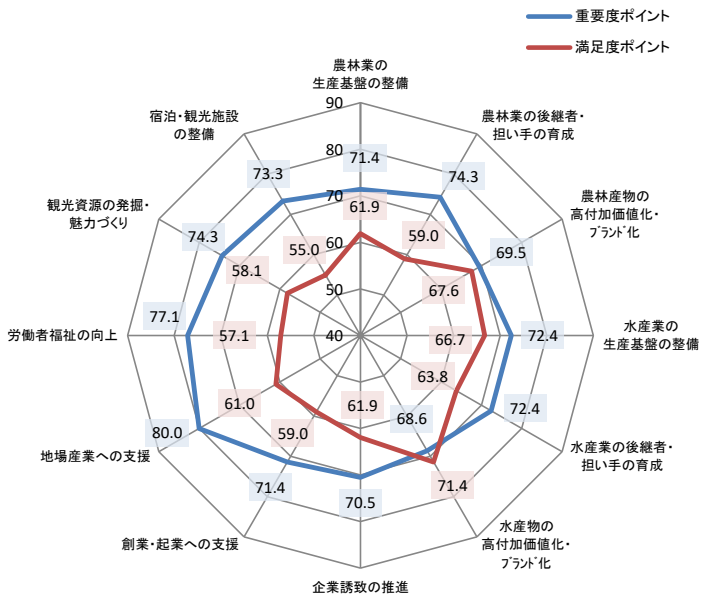


図 20歳代

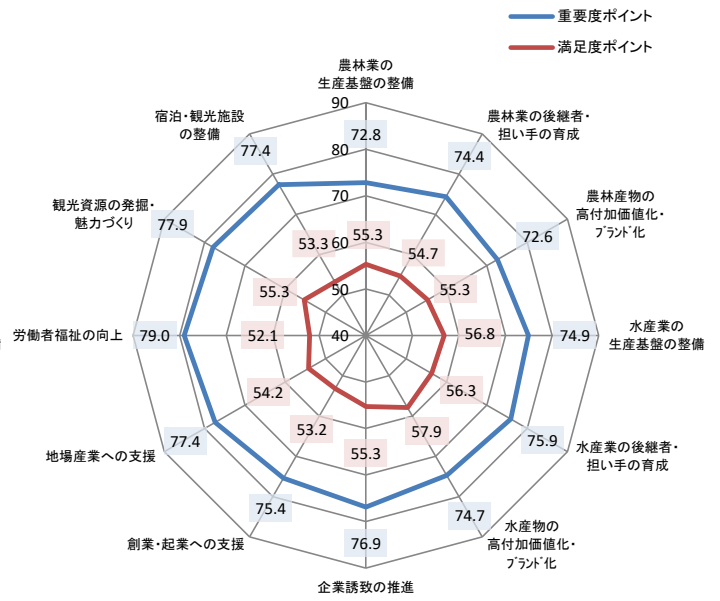


図 30歳代

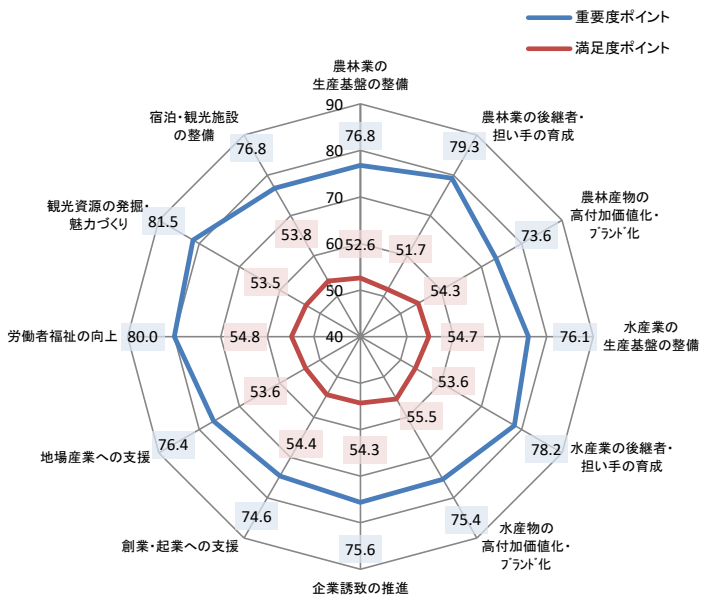


図 40歳代

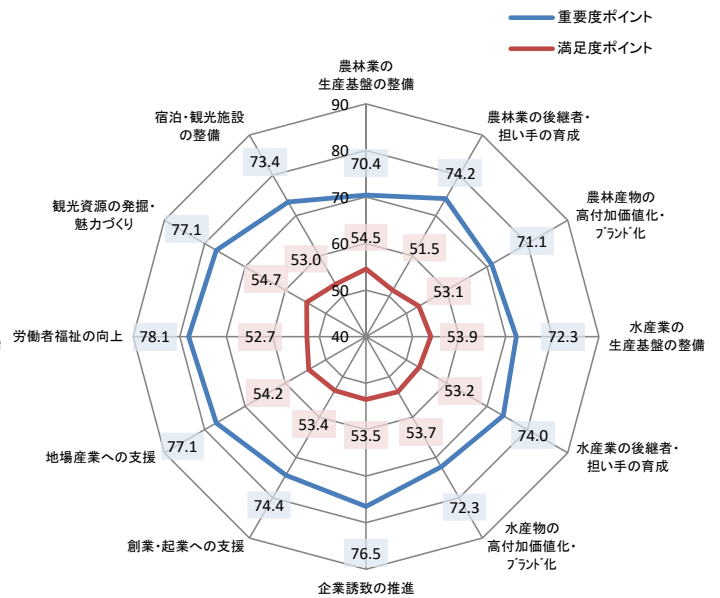


図 50 歳代

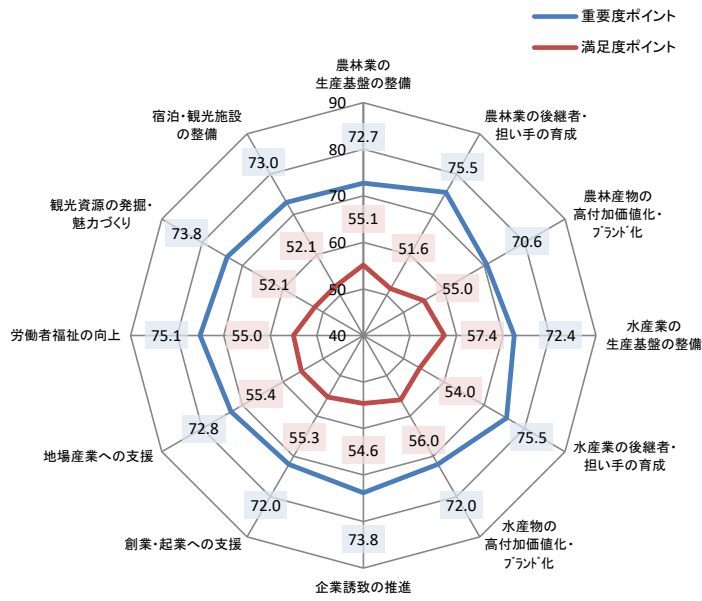


図 60 歳代

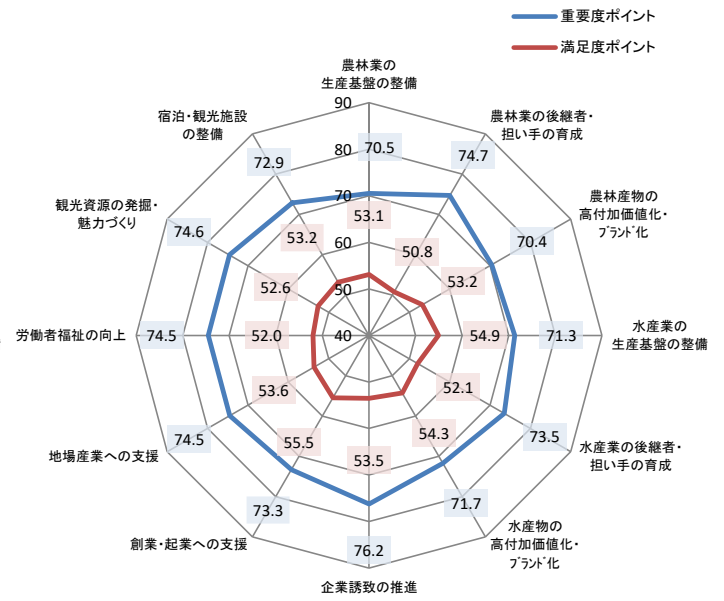
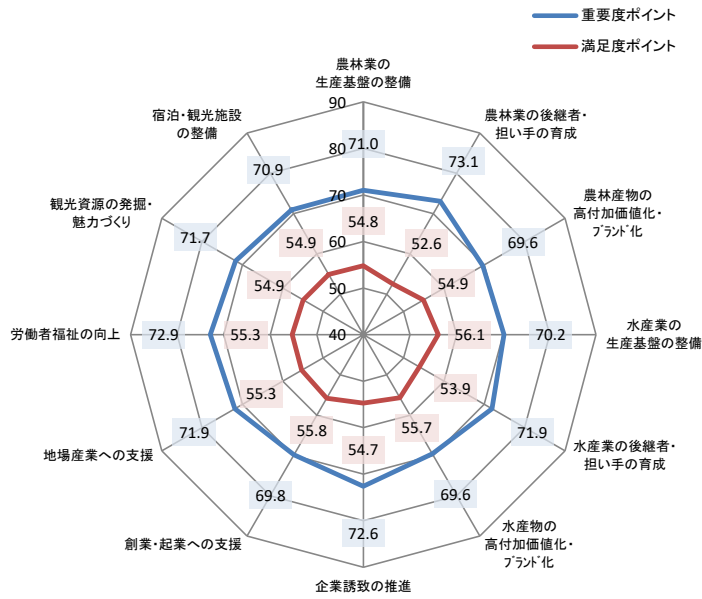


図 70 歳以上



ウ 福祉・保健

図 10歳代

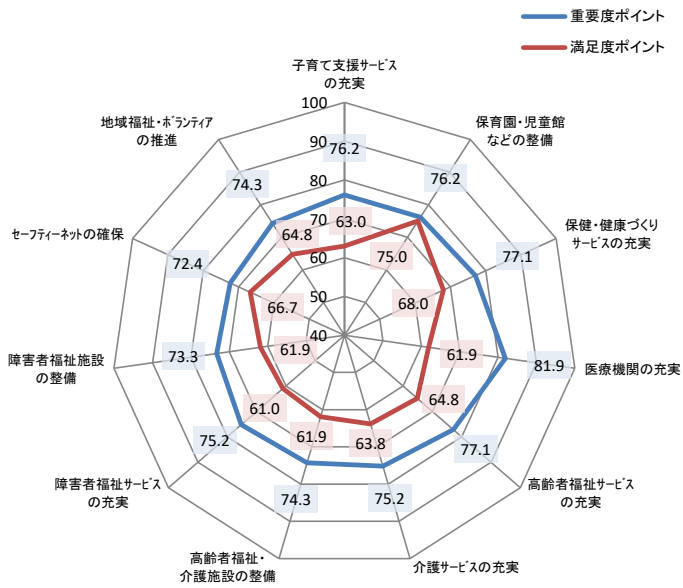


図 20歳代

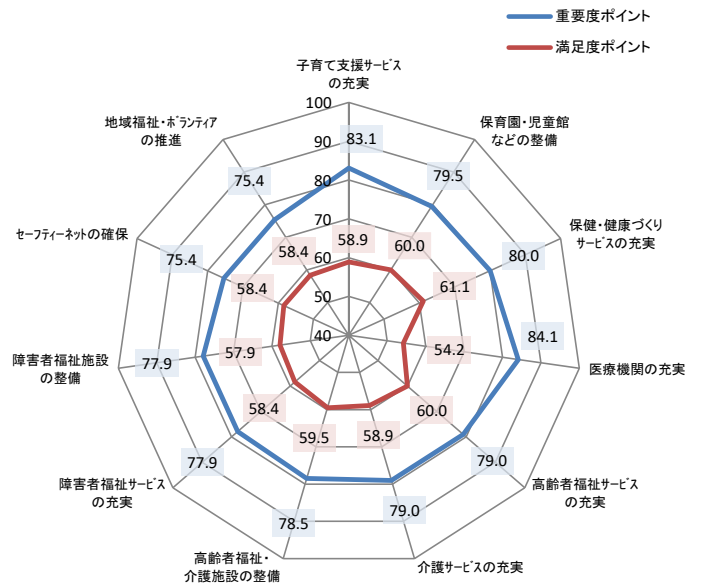


図 30歳代

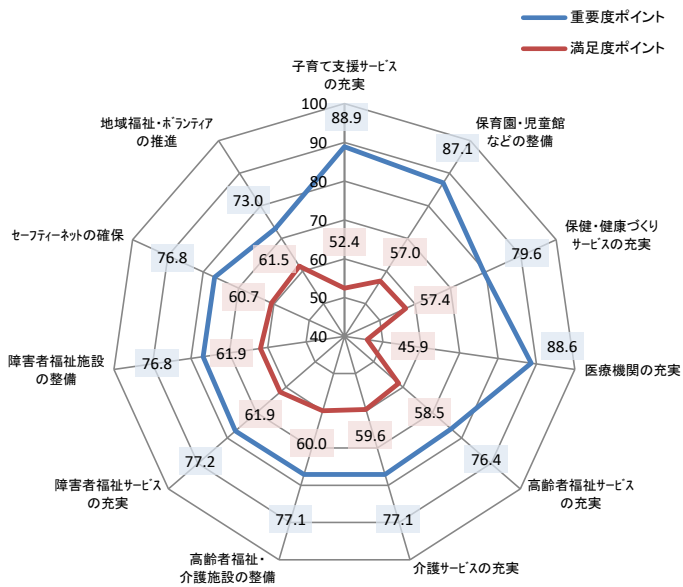


図 40歳代

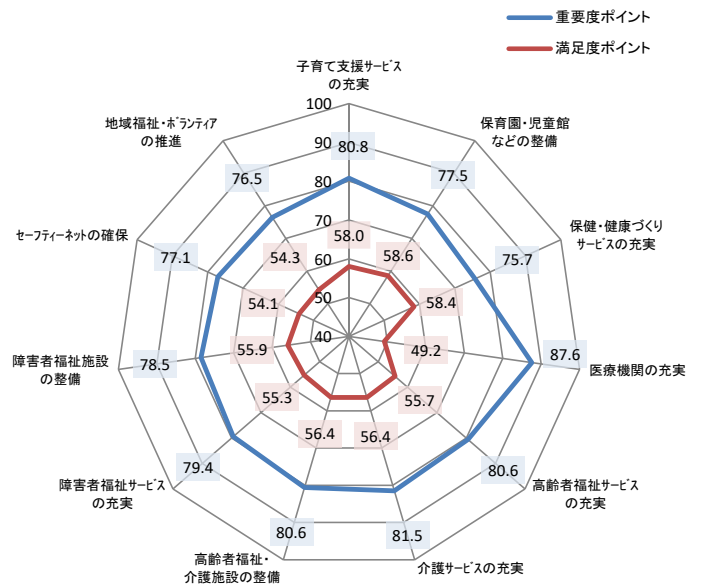


図 50 歳代

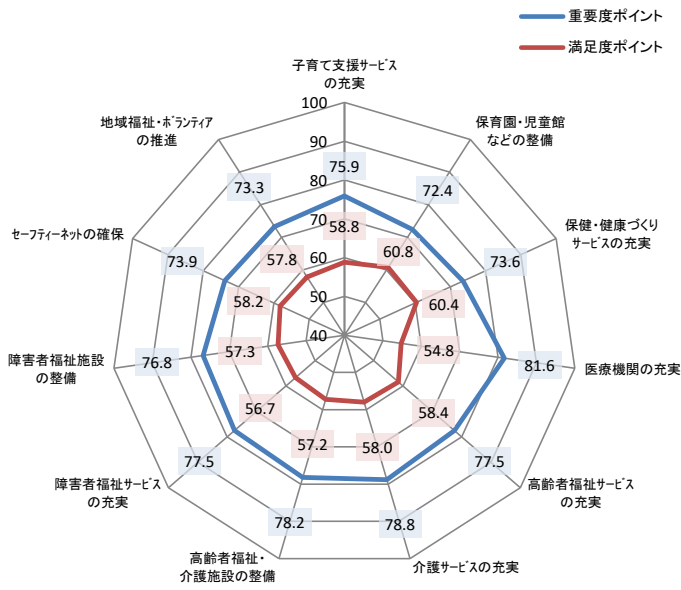


図 60 歳代

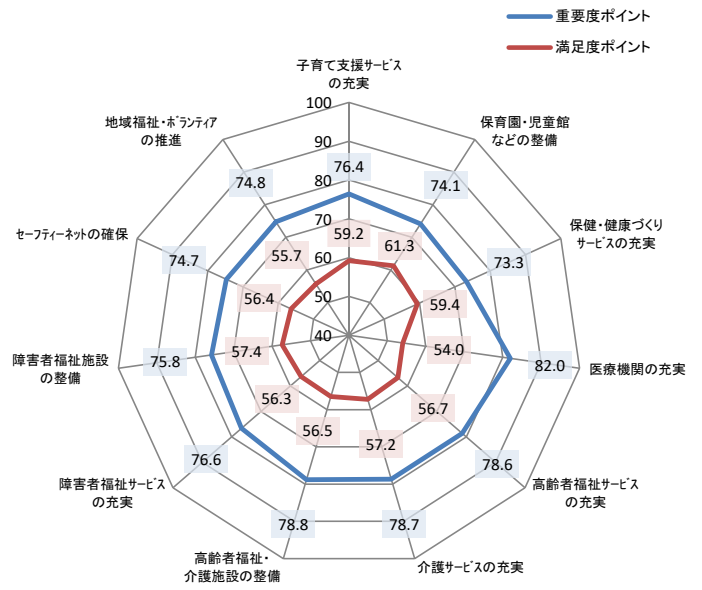
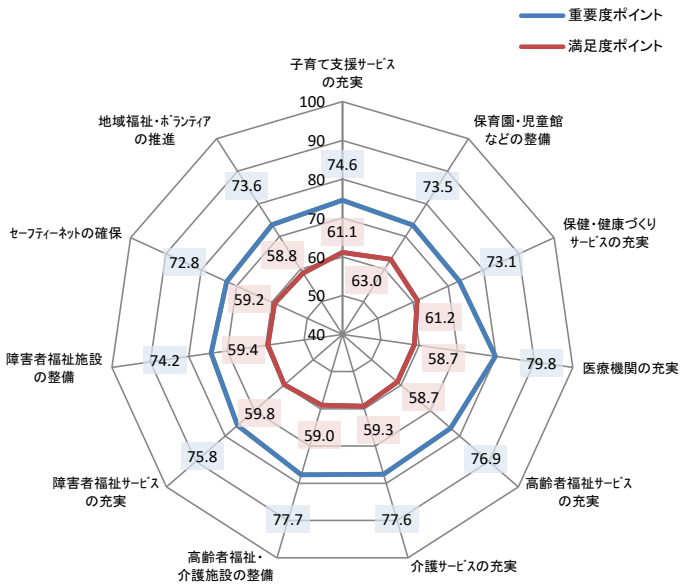


図 70 歳以上



エ 生活・環境

図 10 歳代

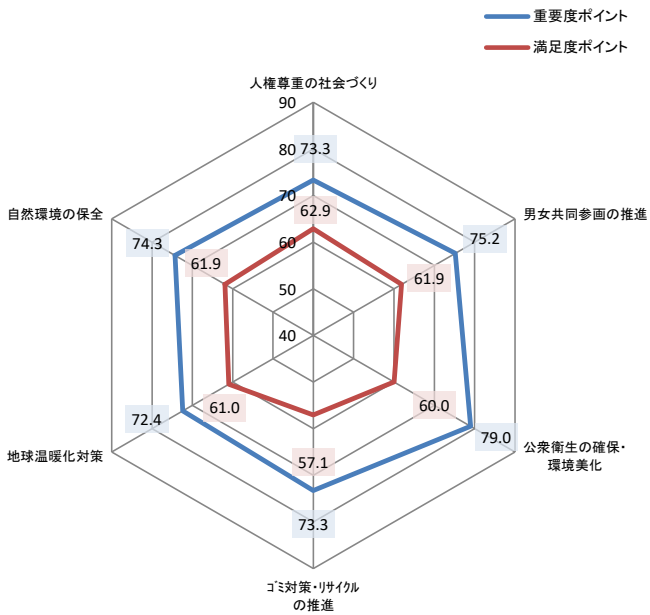


図 20 歳代

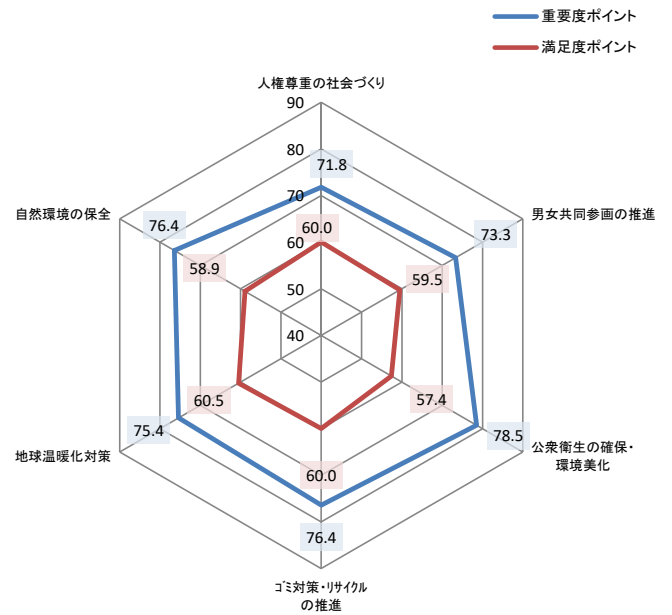


図 30 歳代

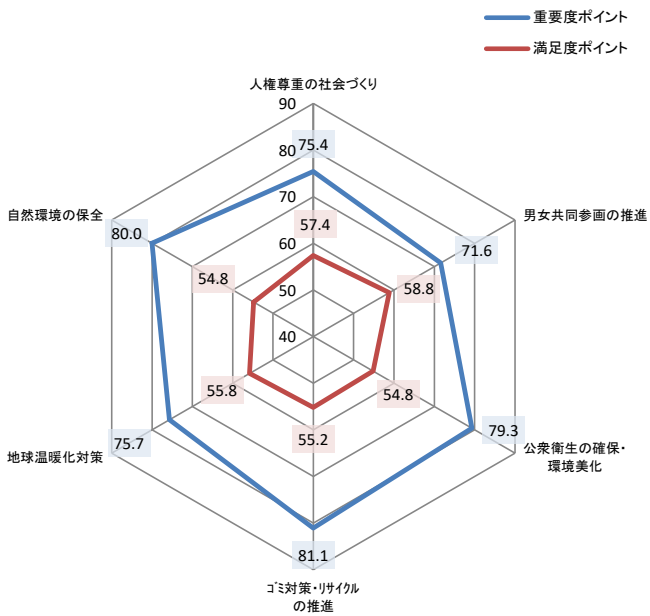


図 40 歳代

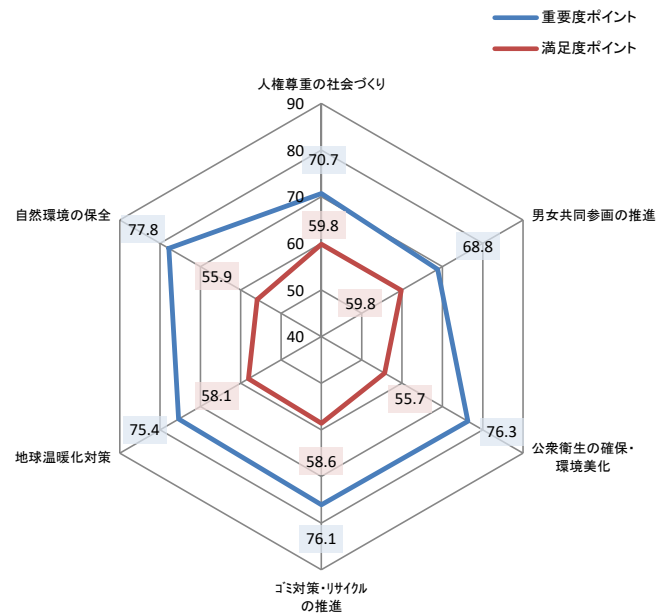


図 50 歳代

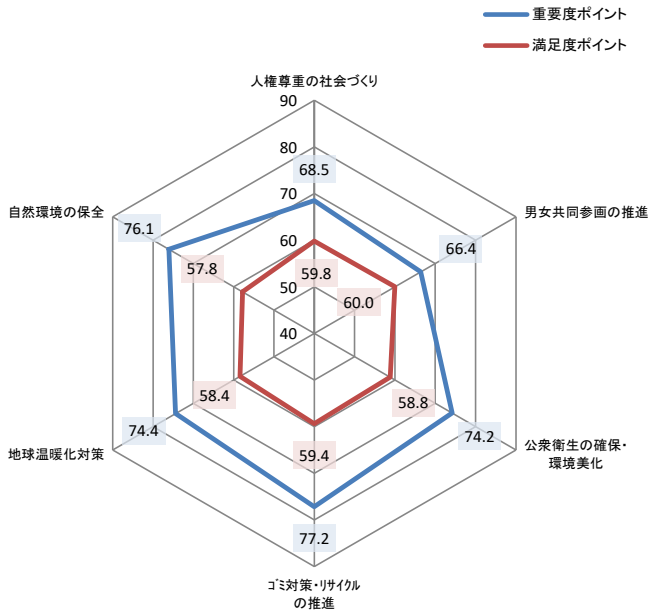


図 60 歳代

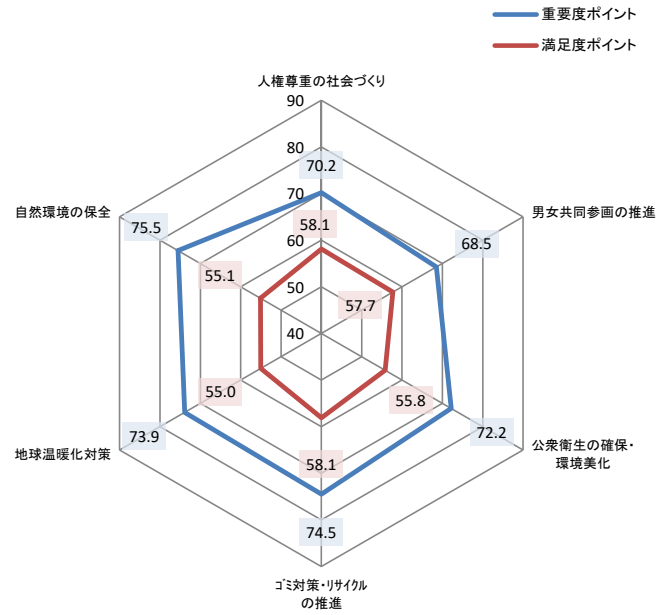
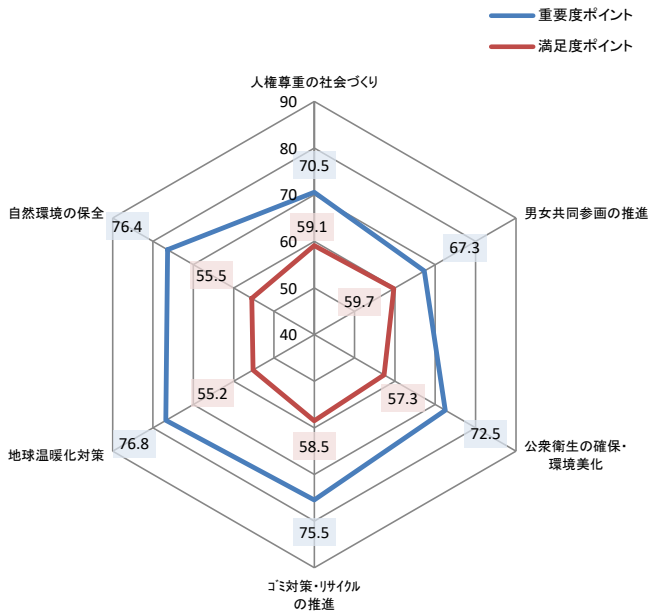


図 70 歳以上



オ 安全・安心

図 10歳代

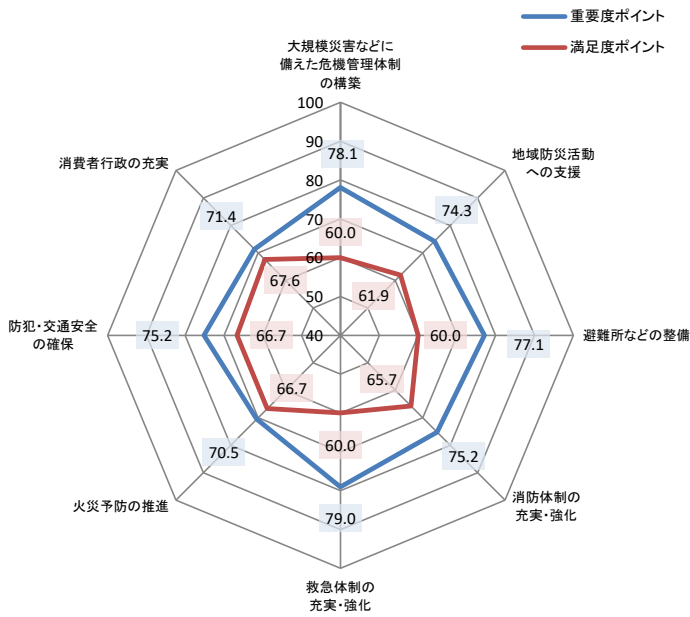


図 20歳代

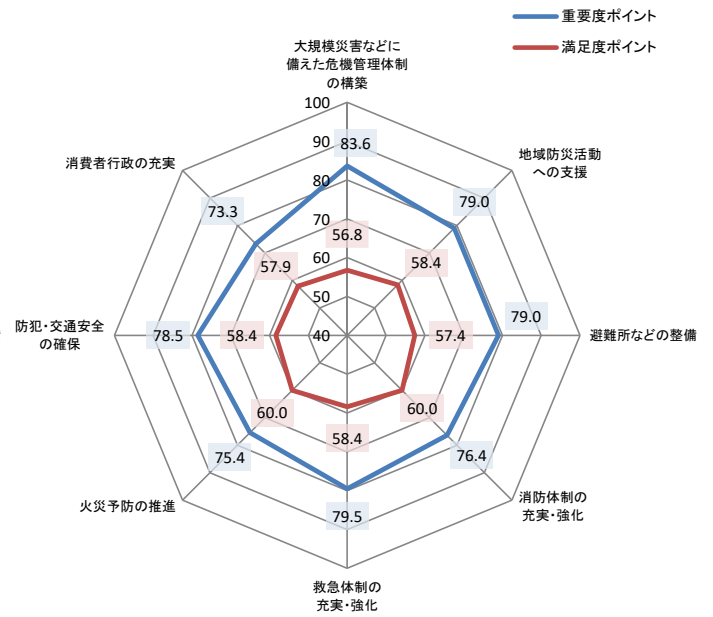


図 30歳代

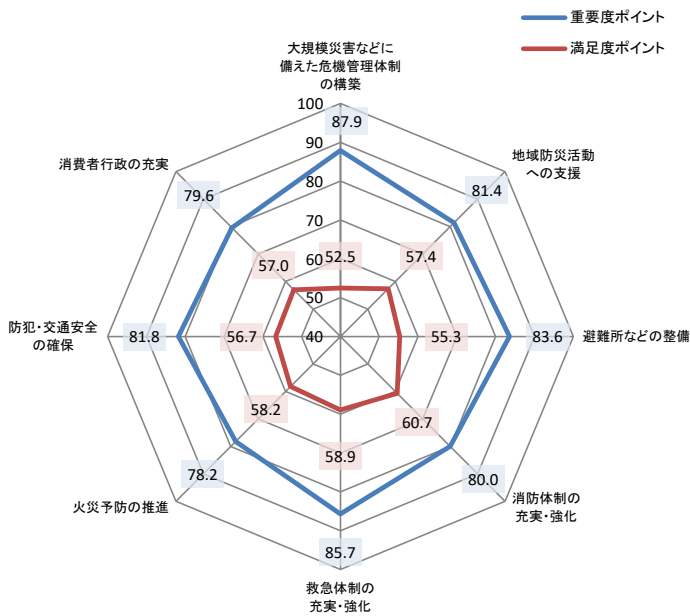


図 40歳代

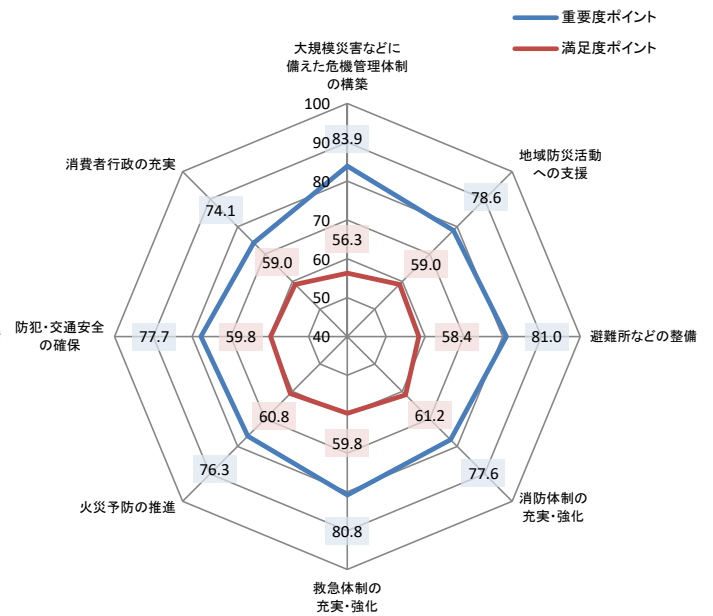


図 50 歳代

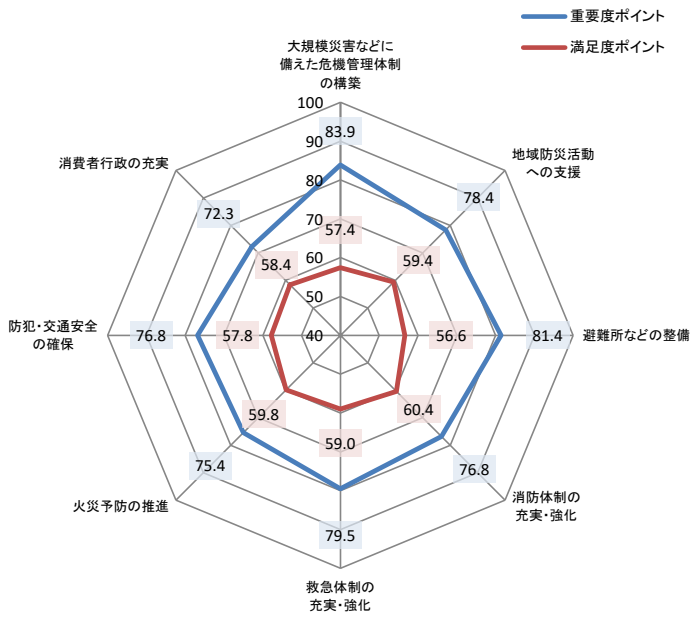


図 60 歳代

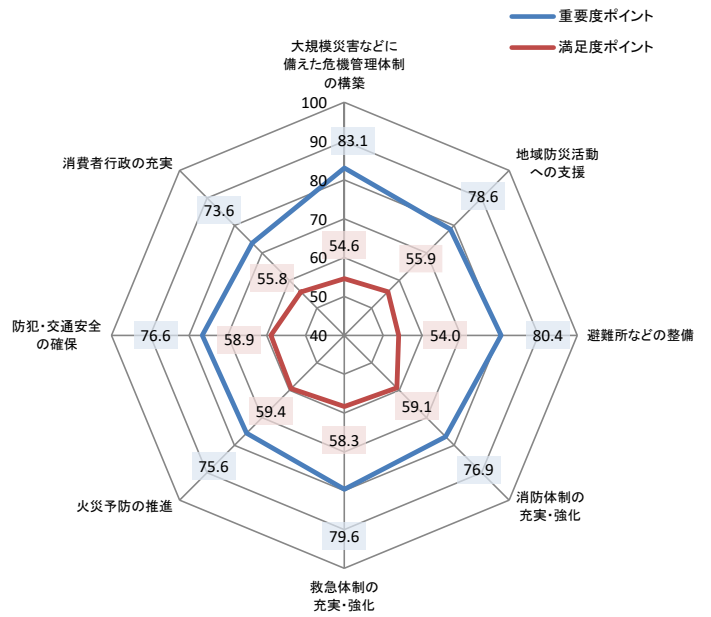
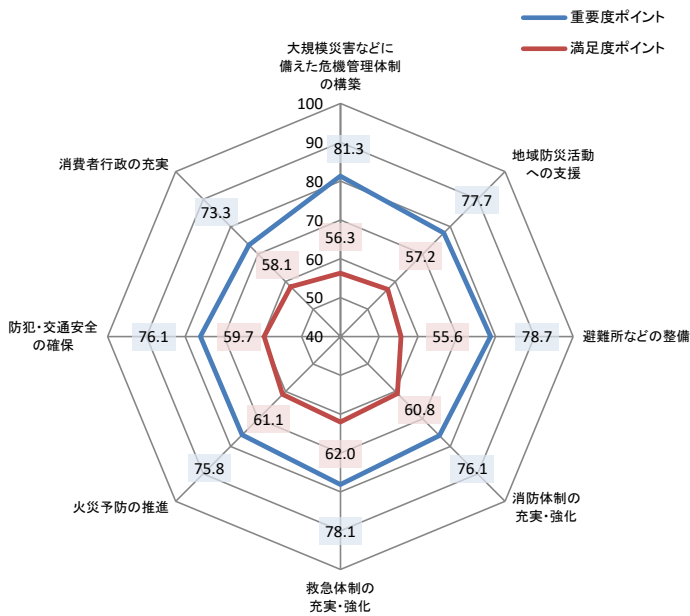


図 70 歳以上



カ 基盤

図 10歳代

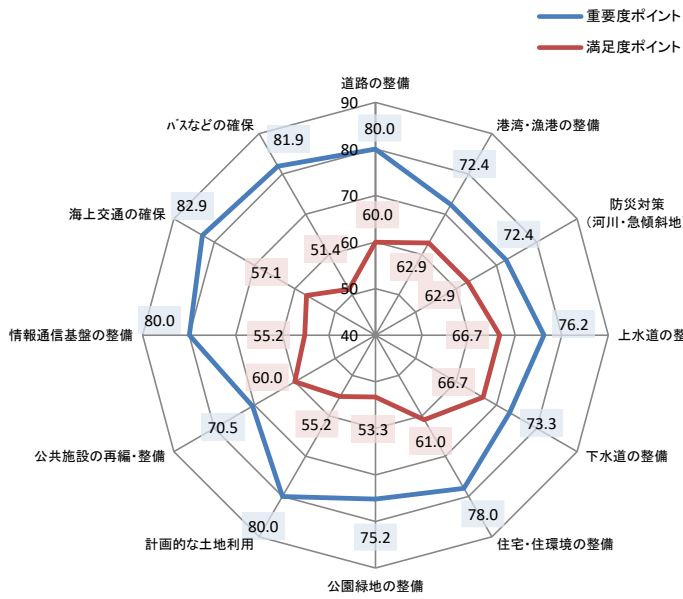


図 20歳代

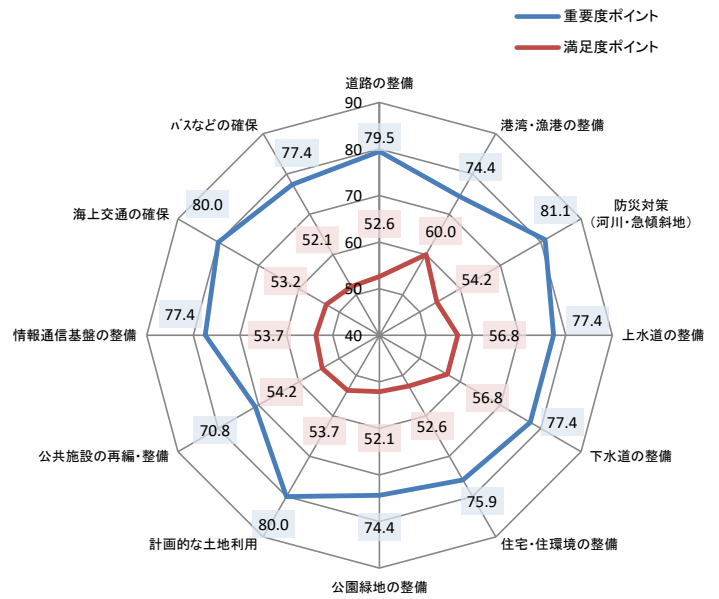


図 30歳代

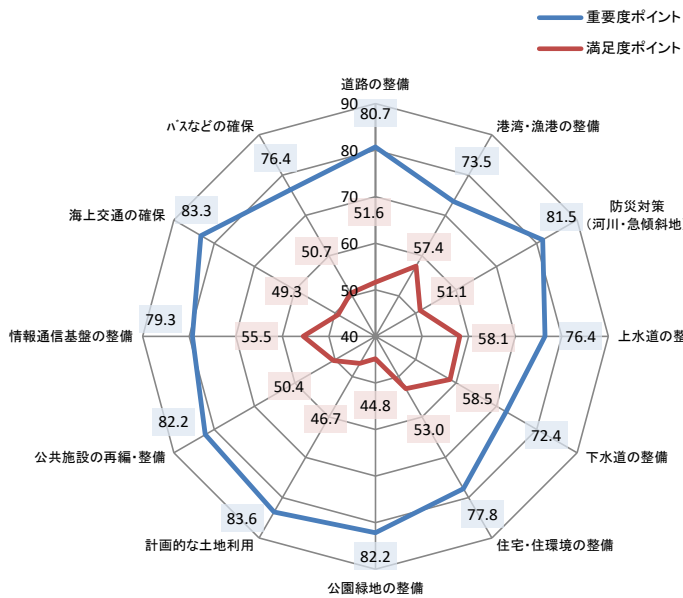


図 40歳代

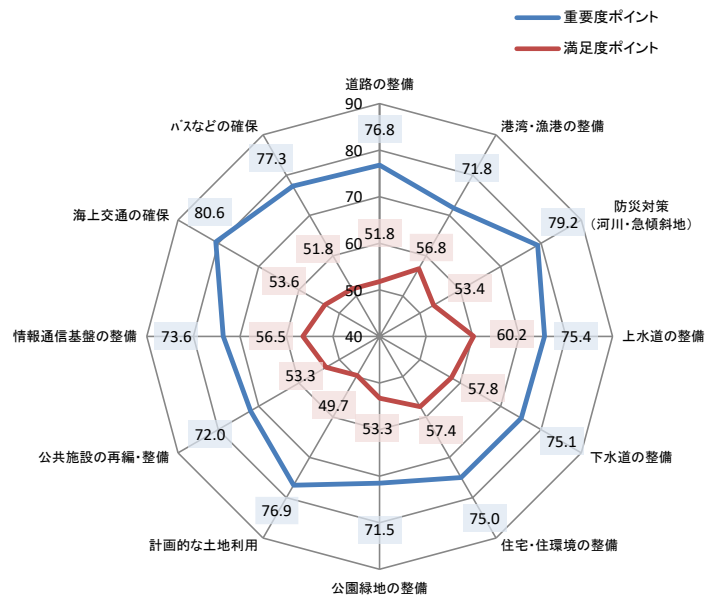


図 50 歳代

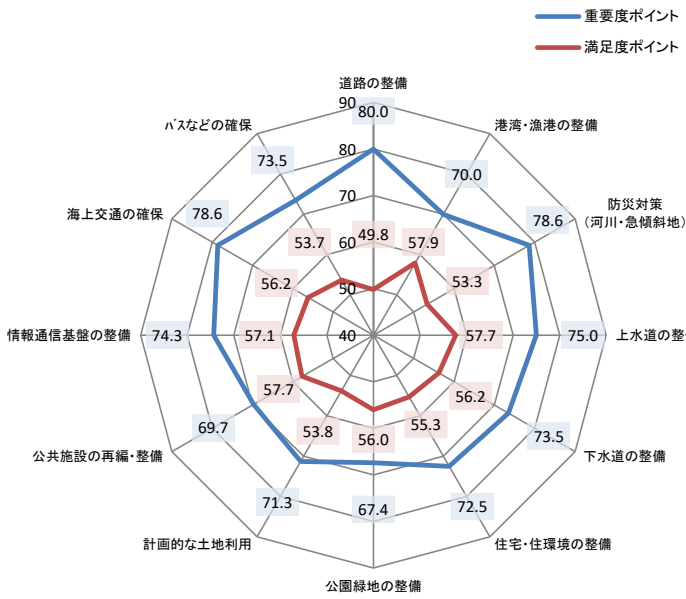


図 60 歳代

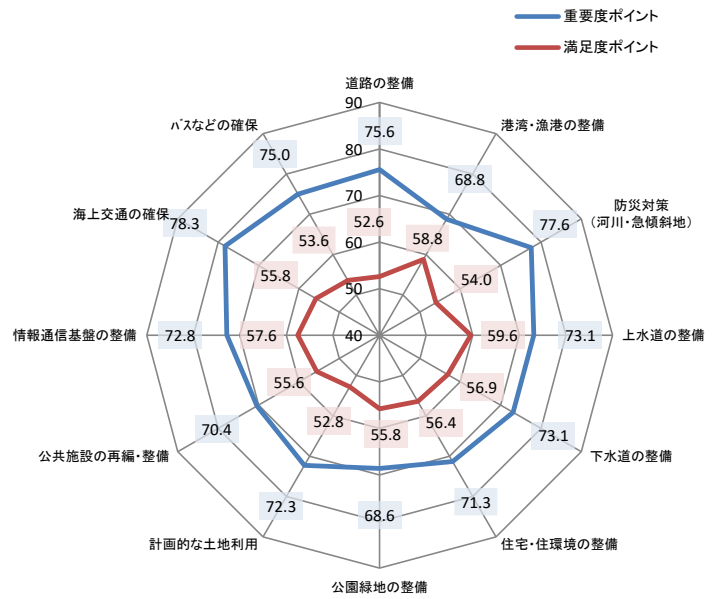
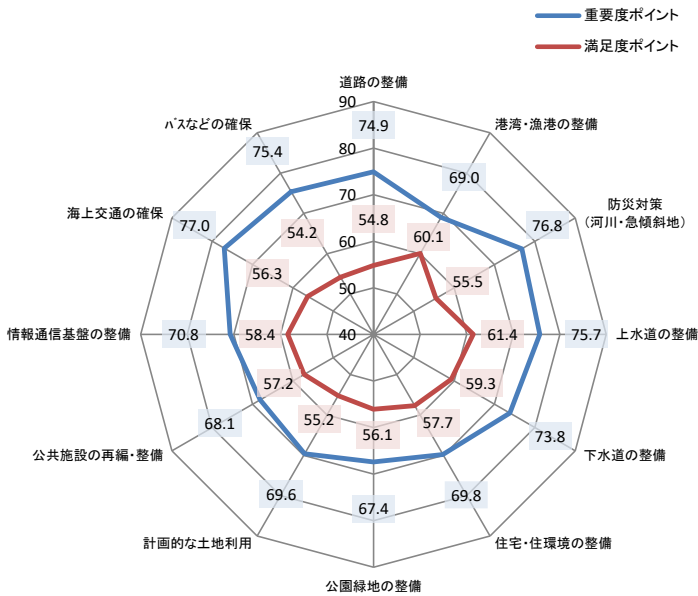


図 70 歳以上



キ 地域

図 10 歳代

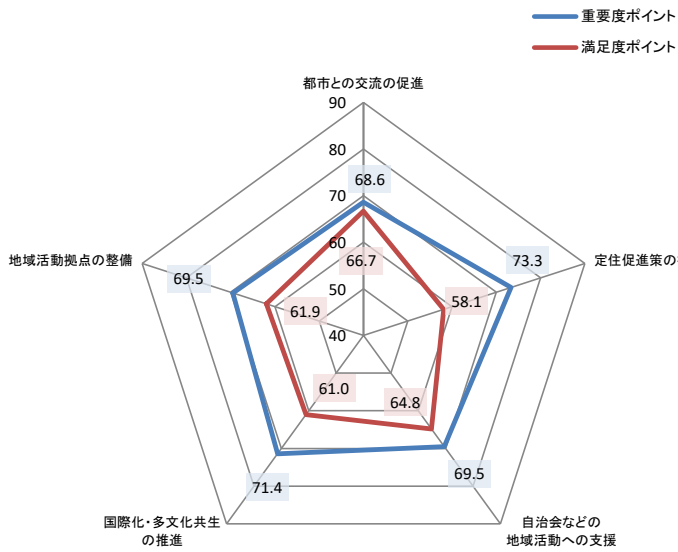


図 20 歳代

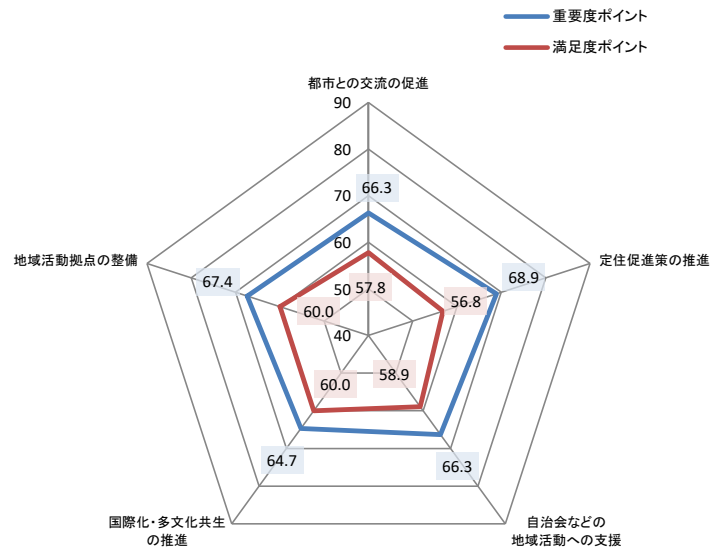


図 30 歳代

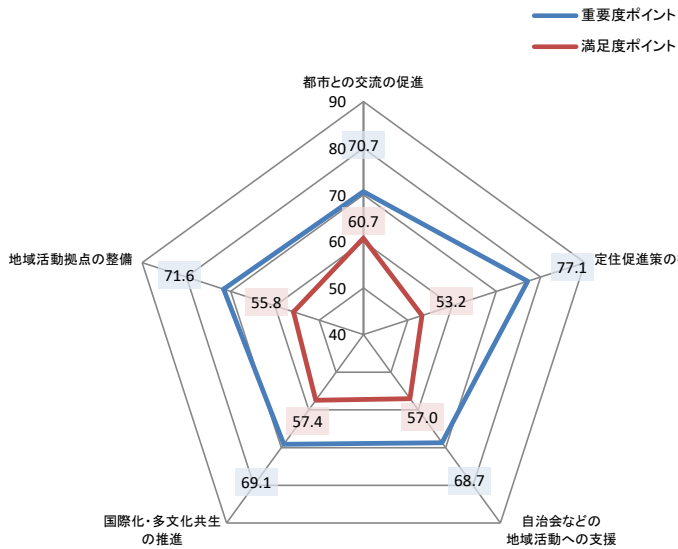


図 40 歳代

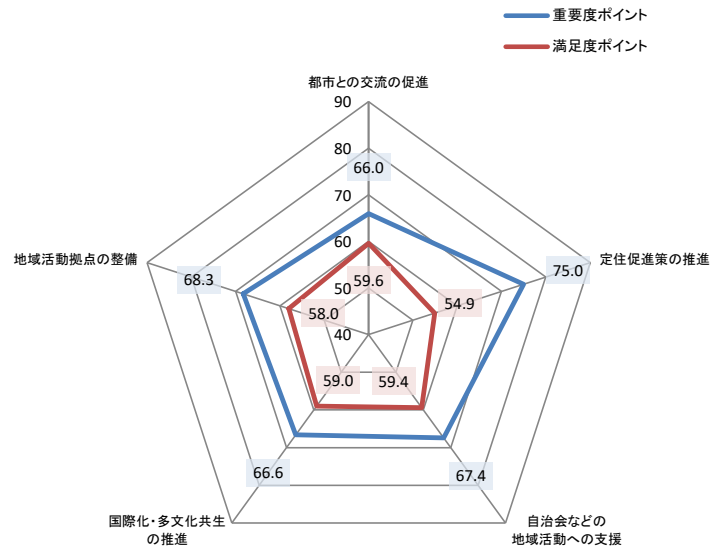


図 50 歳代

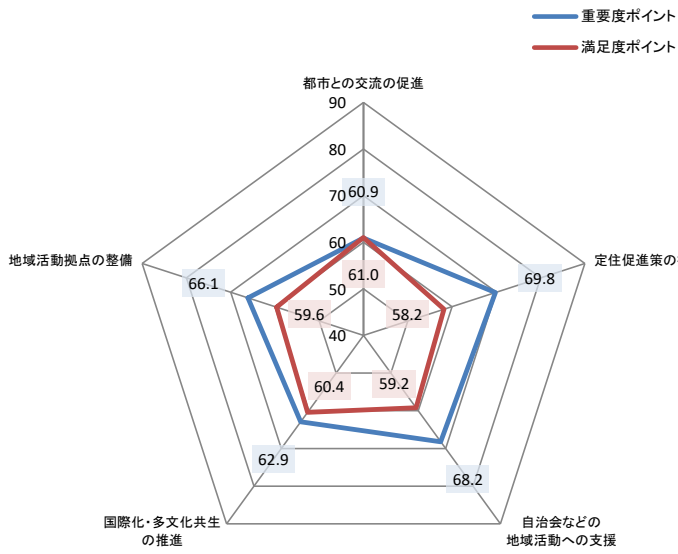


図 60 歳代

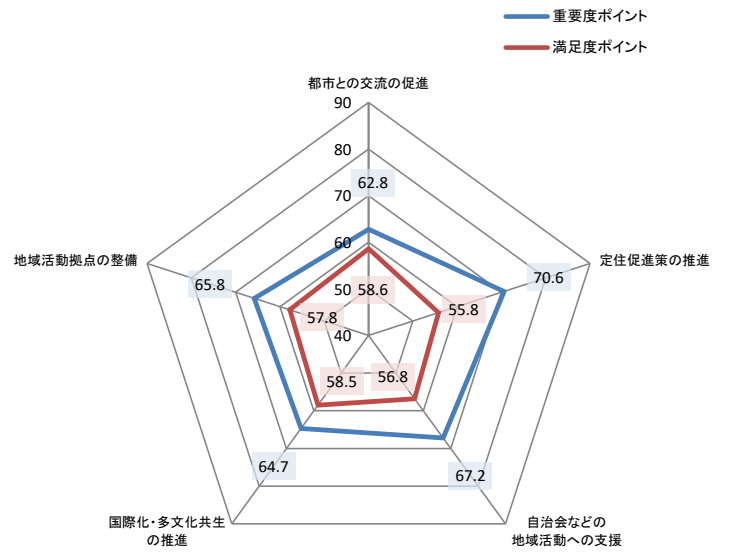
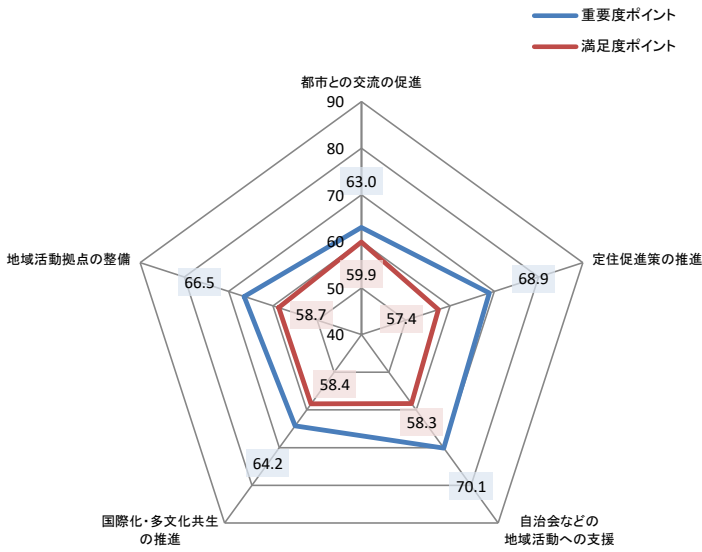


図 70 歳以上



ク その他・全般

図 10 歳代

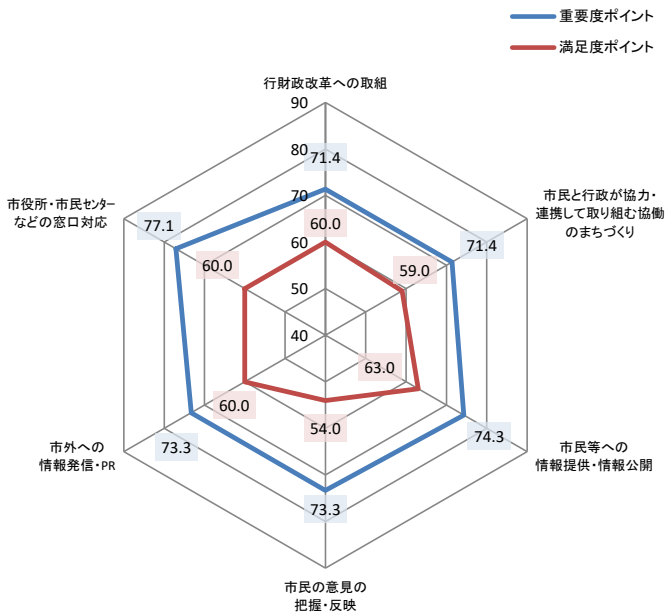


図 20 歳代

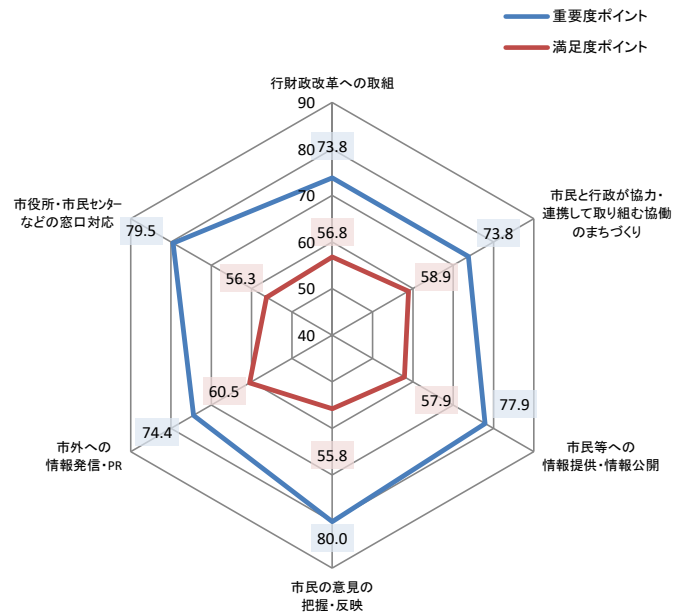


図 30 歳代

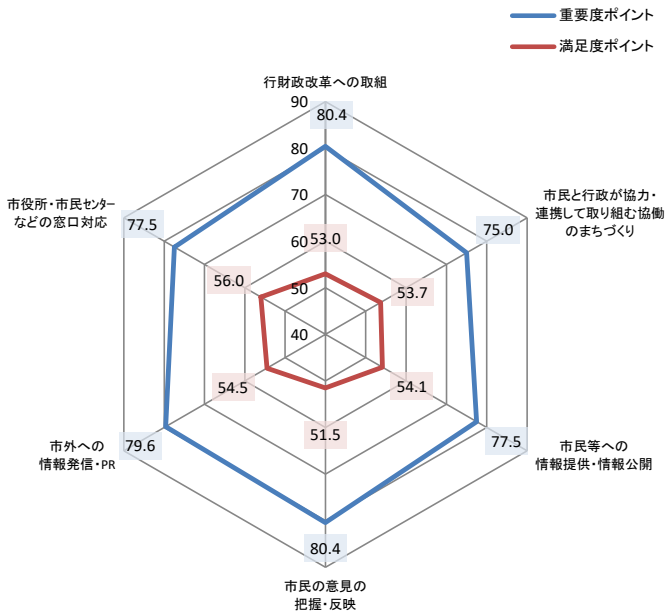


図 40 歳代

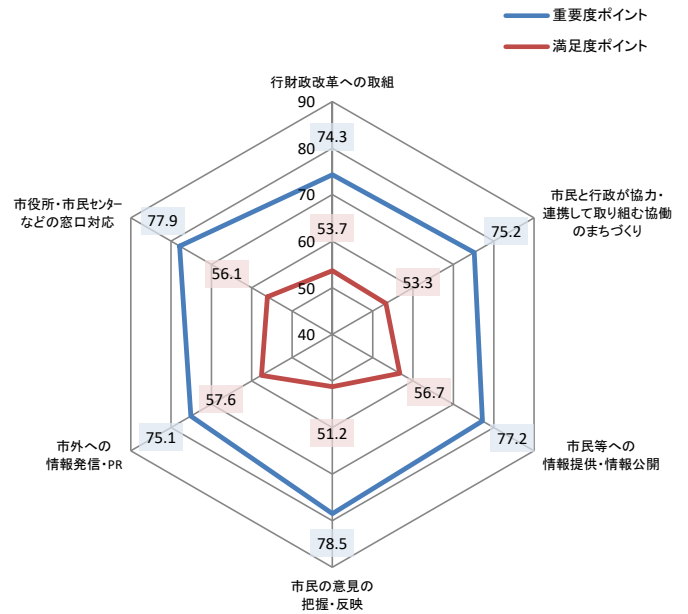


図 50 歳代

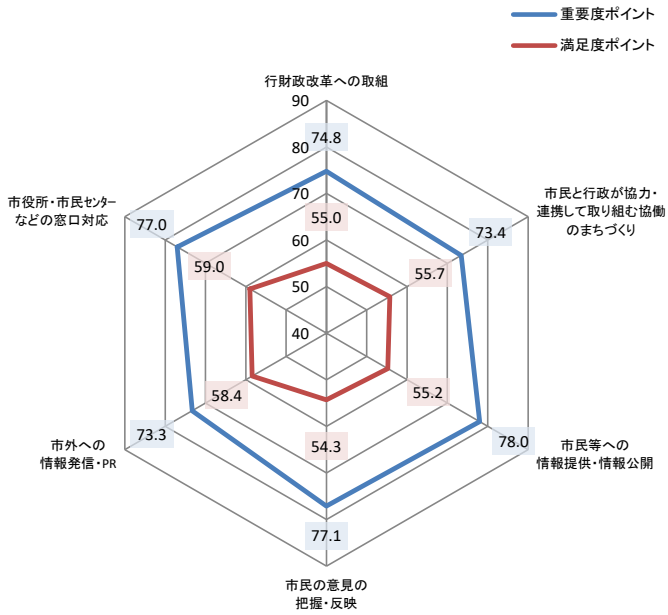


図 60 歳代

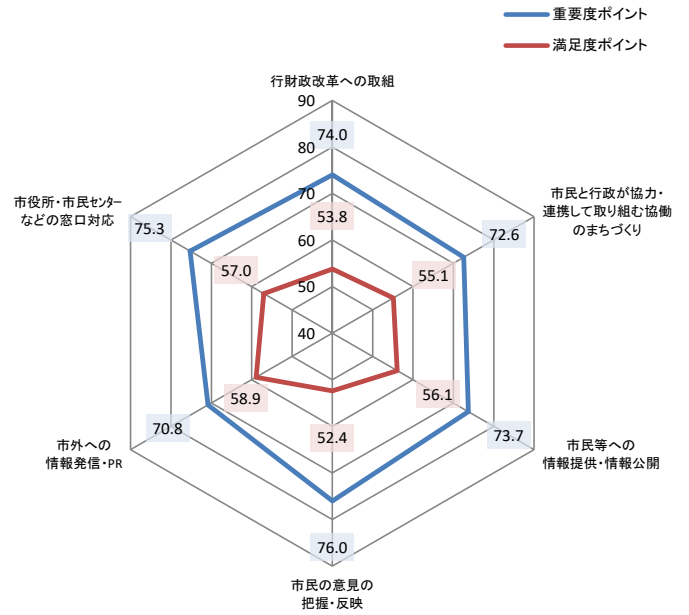
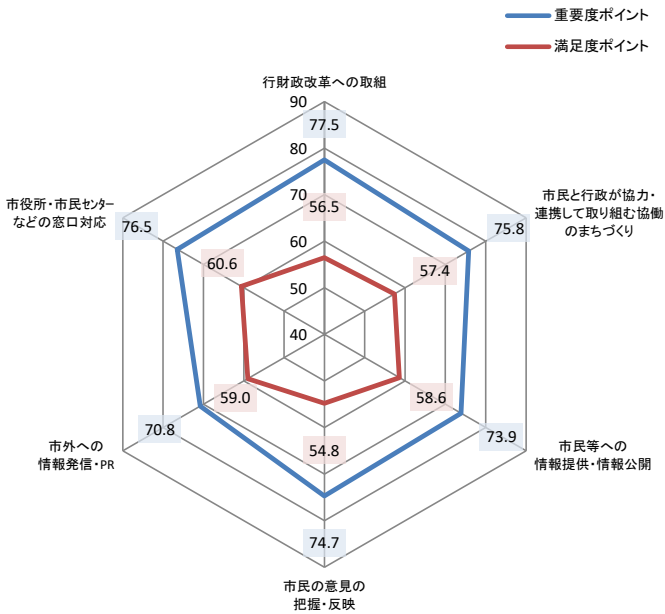


図 70 歳以上



第4 自由意見

アンケート調査の最後の問いである「3 その他（自由記入欄）」への記載について、記入件数は、以下のようになります。

<記載状況>

有効回収調査票 801 票のうち、自由記入欄に記載のあった調査票は 312 票で、記載率は 39.0%となります。居住地別でみると、大柿町に記載率がやや高くなっています。

表 自由意見の記載状況

区 分	回収数 (票)	記載票 (票)	記載率 (%)
江田島町	263	103	39.2
能美町	195	67	34.4
沖美町	107	43	40.2
大柿町	221	89	40.3
無回答	15	10	66.7
合 計	801	312	39.0

<記載分類>

記載された内容は、1 調査票に複数の意見（内容）がある場合があるため、それらを意見ごとに整理すると、全体で 410 票となります。

記載内容を分類すると、「基盤」が 107 票で最も多くなっています。特に道路の整備（例 「道路にはみ出す草木の整備」「路面状態が悪い」「道を拡幅してほしい」など）、交通（例 「バスや海上交通の便数、時刻表の見直し」「運賃の値下げ」など）に関する意見が多くなっています。

次いで「産業・観光」が 74 票、「福祉・保健」が 33 票などとなっています。

表 自由意見の記載分類

分 類	件 数
教育・文化	24
産業・観光	74
福祉・保健	33
生活・環境	17
安全・安心	14
基盤	107
地域	20
アンケート関連	28
広報・宣伝	11
行政サービス	14
行政運営	25
まちづくりの方向	28
現状への評価	15
合 計	410